



* 0027989000 *



0027989-000

CZ-427-2

価格等諸法令蒐録

岡山県物価統制協力会議・編

物価統制協力会議

1942. 1

ADH



シシ3M22

昭和十七年一月

價格等諸法令蒐錄

附 企業許可令、物資統制令

叢書第一五輯

(代 謄 寫)

岡山縣物價統制協力會議

CZ
427
2

はしがき

328 337
(33783)



戦時經濟統制下低物價政策實行の爲物價に關する諸法令發布せられ之が遵守並に盡しつゝあるも法令並に告示は多種多様なるに於て之を蒐録し關係者の爲參考の資に供せんとするものである。

79W54325

目次

一 價格等統制令.....	一	一七 酒稅等ノ増徴ニ關スル法律.....	一〇〇
二 同 施行規則.....	七	一八 物 品 稅 法.....	一〇七
三 改正價格等統制令關係告示(十一種).....	二五	一九 物品稅法施行規則(附、課稅物品表).....	一〇七
四 奢侈品等製造販賣制限規則.....	一九	二〇 物 資 統 制 令.....	一三〇
五 同關係告示(十七種).....	三〇	二一 國家總動員法.....	一三三
六 宅地建物等價格統制令.....	三〇	二二 許可認可等行政事務處理簡捷令ノ適用ノ特例ニ關スル件.....	一四〇
七 同 施行 規 則.....	三〇	三 附 錄	
八 臨時農地價格統制令.....	三〇	一 價格等統制令ニ關スル認可申請書様式(九種).....	一四〇
九 臨時農地管理令.....	三〇	二 宅地建物等價格統制令ニ關スル許可申請書様式(四種).....	一四〇
一〇 同 施 行 規 則.....	三〇	三 奢侈品等製造販賣制限規則ニ關スル許可申請書様式(一種).....	一四〇
一一 同關係通牒(四種).....	三〇	四 企業許可令施行細則.....	一四〇
一二 暴利行為等取締規則.....	三〇	五 企業許可令ニ關スル許可申請書様式(七種).....	一四〇
一三 同關係告示(二種).....	三〇		
一四 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律.....	三〇		
一五 企業業許可令.....	三〇		
一六 同 施 行 規 則.....	三〇		

價格等統制令

(昭和十四年十月十八日勅令第七百三十三號)

改正

昭和十五年九月二十六日勅令第六三五號
昭和十五年十月十九日勅令第六七七號
昭和十六年一月二十一日勅令第六七七號
昭和十六年九月三日勅令第八四一號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ南

洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十九條ノ規定ニ基

キ價格、運送費、保管料、損害保険料、賃賃料、加工賃、修

繕料其ノ他ノ附随的給付(以下價格等ト稱ス)ニ關シ必要ナ

ル命令ヲ發ス(別一定ス)モノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ

依ル

一 價格、運送費、保管料、損害保険料、賃賃料又ハ加工

賃以下價格等ト稱ス)ハ昭和十四年九月十八日(以

下指定期日ト稱ス)ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ

タル受領者ハ其ノ額ヲ超過セシメテ之ヲ契約シ、支拂ヒ



四 保管料、損害保険料又ハ賃賃料ニ付支拂者ガ履行遲滞ニ

在ルモノ

前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格運送費等ノ受領者ニ付テハ

額ニ依リ受領者別ニ定マルモノトシ指定期日ニ爲シタル契約

アル場合ハ其ノ契約額(同ジ事情ノ下ニ於テ數種ノ契約額ア

リタルトキハ其ノ最高額)偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカ

リシ場合ハ契約ヲ爲シタルベキ額トス

價格運賃等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合ニ於テハ關令ノ

定ムルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス但シ關令ノ定ムル

モノガ判定困難ナル場合ニ於テ價格運送費等ノ受領者ノ申請

アルトキハ行政官廳ニ於テ其ノ額ヲ指示シ其ノ指示額ヲ以テ

指定期日ニ於ケル額トス

第三條 商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ關令ノ定ム

ル所ニ依リ前條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行

政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモ

ノ及其ノ構成員(構成員ガ組合其ノ他ガ之ニ準ズルモノナル

場合ハ其ノ構成員モ含ム、以下同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ

指定期日ニ於ケル額ト看做ス

行政官廳必要アリト認ムルトキハ關令ノ定ムル所ニ依リ商工

農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構

成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付

テモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

コトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依



ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額(前條第一項若ハ第二項又ハ第二十條ノ規定ニ依リ看做サルルモノヲ除ク)ガ著シク不當ト認メラルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條ノ二 修繕其料ノ他價格運送賃等以外ノ價格等(以下修繕料等ト稱ス)ニシテ主務大臣ノ指定スルモノハ主務大臣ノ指定スル年月日ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ修繕料等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合及指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 修繕料等ニ對スル給付ヲ爲ス者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタル場合

二 修繕料等ニ對スル給付ヲ爲ス者ガ修繕料等ニ對スル給付ニ著手シタル場合

第四條ノ三 第二條第二項及第三項並ニ第四條ノ規定ハ前條ノヲ規定ニ依リ指定シタル修繕料等ニ之ヲ準用ス

可、認可其ノ他ノ處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ價格運送賃等ニ付テハ本令施行後ノ、修繕料等ニ付テハ第四條ノ二ノ規定ニ依リ指定又ハ第四條ノ四第一項ノ規定ニ依ル認可若ハ同條第三項ノ規定ニ依ル處分アリタル後ノ處分ハ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條ノ二 前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外主務大臣ノ指定スル特殊ノ物ノ價格等ニ付テハ其ノ受領者ニ於テ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ物ノ價格等ハ第二條乃至第四條ノ四ノ規定ニ拘ラズ其ノ認可額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ前項ノ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニハ之ヲ適用セズ

第七條 前二條ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等(有價證券ノ價格及賃料ヲ除ク以下同ジ)ノ額ヲ指定シタルトキハ第二條乃至第四條ノ四ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條ノ四 修繕料等ノ受領者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ閣令ノ定ムル所ニ依リ修繕料等ノ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員ノ給付ニ對スル修繕料等ハ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ修繕料等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

行政官廳必要アリト認ムルトキハ修繕料等ノ額ヲ變更シテ前項ノ認可ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル認可アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ同項ノ規定ノ適用ニ付テハ閣令ノ定ムル所ニ依リ同項ニ規定スル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノヲ其ノ構成員ト看做スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條ノ二及前條ノ規定ハ第一項ノ修繕料等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第五條 第二條乃至第四條及前條ノ規定ハ有價證券ノ價格及賃料、土地及建物ノ價格其ノ他閣令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ四ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更(第六條ニ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク)ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス

第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條、第四條ノ二第四條ノ四又ハ第六條乃至第七條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險、加工若ハ修繕料等ニ對スル給付ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所、其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證券ヲ携帯セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ
一 繭、生絲、棉花又ハ綿布ノ取引所ニ於ケル買買取引ノ價格

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル輸入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運送費

三 其ノ他閣令ヲ以テ定ムルモノ

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ關スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第十五條 本令ノ施行ニ關スル主務大臣ハ左ノ各號ニ定ムル所ニ依ル

一 農林畜水産物飲食料品及農林畜水産業専用物品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣但シ酒稅法ノ適用ヲ受クル酒類ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣及大藏大臣

二 削除

三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及厚生大臣

四 運送貨物ニ運送ニ直接關聯スル保管料、貨料、荷役請負料、作業料、手数料、使用料、運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料其ノ他閣令ヲ以テ定ムル修繕料等ニ關スル事項ニ付テハ陸上運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及航空運送ニ在リテハ遞信大臣

五 田、畑、山林及原野ノ價格及貨料、田、畑、山林及原野ノ賣買又ハ賃貸ノ斡旋手数料、家畜ノ貨料、家畜ノ賣買又ハ賃貸ノ斡旋手数料專ラ農林畜水産物及飲食料品ノ保管ヲ目的トスル倉庫（倉庫營業者ノ倉庫ヲ除ク）ノ保管料

トシ閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附 則

第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 第二條乃至第四條ノ三ノ規定ハ當分ノ内其ノ效力ヲ有ス

第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第三十一號ステールフアイバー及ステールフアイバー線販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則

四

及倉入倉出料、閣令ヲ以テ定ムル農林畜水産物、飲食料品及農林畜水産業専用物品ノ加工費並ニ閣令ヲ以テ定ムル農林畜水産業、飲食料品工業及農林畜水産業専用物品ニ關スル修繕料等ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣

六 船舶ノ價格、貨料（期間備船料ヲ含ム）運航手数料及修繕料並ニ船舶ノ賣買、賃貸（期間備船料ヲ含ム）、又ハ運航委託ノ斡旋手数料ニ關スル事項ニ付テハ遞信大臣但シ總噸數二十噸未満ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料（期間備船料ヲ含ム）並ニ總噸數二十噸未満ノ漁船ノ賣買又ハ賃貸（期間備船料ヲ含ム）ノ斡旋手数料ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣及遞信大臣

七 兵器、彈藥、艦船等ノ價格運送費等ニ關スル第二條ニ規定スル事項及兵器、彈藥、艦船等ノ修繕料ニ關スル第四條ノ二但書ニ規定スル事項ニシテ軍機保護上必要アルモノニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣

八 請負料（手間賃、派出料ノ類ヲ含ム）ニシテ主トシテ勞務ノ供給及提供ニ對スルモノニ關スル事項ニ付テハ厚生大臣

九 前各號ノ場合ヲ除クノ外商工大臣

十 第六條ニ規定スル法令ニ於テ規定スル價格等ニ關スル事項ニ付テハ前各號ニ拘ラズ當該法令ニ於ケル主務大臣

第十六條 前條第七號ニ掲グル場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官

左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條及第十條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一條（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件）第八條及第九條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條及第六條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條及第七條

前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和三十二年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

第二十一條 左ニ掲グル規定ニ依リ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府道知事、臺灣總督府州知事若ハ廳長又ハ南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣價格指定又ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲シタル價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス但シ閣令ヲ以テ別段ノ定メ爲スコトヲ得

昭和三十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則第一條

昭和三十二年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和三十二年商工省令第三十一號ステープルファイバー及ステープルファイバー糸販賣價格取締規則第一條第二項

昭和三十二年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條

昭和三十二年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和三十二年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和三十二年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和三十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則第一條

昭和三十二年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和三十四年朝鮮總督府令第三十一號(昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件)第八條

昭和三十二年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條

昭和三十二年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和三十二年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和三十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條

昭和三十二年南洋廳令第三十八號取洋群島物品販賣價格取締規則第一條

附 則 (昭和十五年十月十九日 勅令第六百七十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十八條ノ改正規定及附則第二項ノ規定ヲ除クノ外朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

價格等統制令第二條第一項但書又ハ第七條第一項但書ノ規定ニ依ル行政官廳ノ許可ニシテ昭和十五年十月十九日ヲ以テ其ノ有效期間ノ滿了スルモノハ昭和十六年四月十八日迄仍其ノ效力ヲ有ス但シ當該行政官廳ガ別段ノ處分ヲ爲シタルトキハ

此ノ限ニ在ラズ

附 則 (昭和十六年九月三日 勅令第八百四十一號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十八條ノ改正規定及附則第二項及第三項ノ規定ヲ除クノ外朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

買金統制令第二十八條ヲ即除ス
價格等統制令第二條第一項但書又ハ第七條第一項但書ノ規定ニ依ル行政官廳ノ許可ニシテ昭和十六年十月十九日ヲ以テ其ノ有效期間ノ滿了スルモノハ昭和十七年四月十八日迄仍其ノ效力ヲ有ス但シ當該行政官廳ガ別段ノ處分ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

價格等統制令施行規則

(昭和十四年十月十九日 勅令第十三號)

改正

- 昭和十五年六月五日 勅令第七號
- 昭和十五年七月八日 勅令第八號
- 昭和十五年七月二十日 勅令第九號
- 昭和十五年十月二日 勅令第十號
- 昭和十五年十月十六日 勅令第十一號
- 昭和十五年十月十九日 勅令第十二號
- 昭和十五年十一月九日 勅令第十三號
- 昭和十六年一月二十五日 勅令第十四號
- 昭和十六年二月九日 勅令第十五號
- 昭和十六年三月二十五日 勅令第十六號
- 昭和十六年五月三日 勅令第十七號
- 昭和十六年九月十六日 勅令第十八號
- 昭和十六年十月二十九日 勅令第十九號
- 昭和十六年十一月二十九日 勅令第二十號
- 昭和十六年十二月二十九日 勅令第二十一號

第一條 價格等統制令(以下統制令ト稱ス)第二條第一項但書、第四條ノ二但書、第四條ノ四第一項但書又ハ第七條第一項但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

一 關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出セララルコト明カナル物ヲ賣買スルトキ
二 輸入價格ノ昂騰特ニ著シキ輸入品ヲ賣買スルトキ
三 其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ

前項ノ許可ハ價格等ノ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ氏名又ハ名稱、住所又ハ主たる事務所ノ所在地及業務ノ種類並ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ニ提出スベシ

一 前條第一項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ者ノ名稱、品種、數量及輸出セララルコト明カナラシムル事項並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先、豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、價格等ノ受領者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

二 前條第二號ノ場合ニ於テハ其ノ輸入品ノ名稱、品種及數量並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先及豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、價格等ノ受領者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先、豫定買受價格其

ノ他ノ豫定買受條件、販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

三 前條第一項第三號ノ場合ニ於テハ前二號ニ準ズル事項及己ムヲ得ザル事由ノ詳細

主務大臣ニ提出スベキ前項ノ申請書ニシテ主務大臣特ニ定ムルモノハ地方長官ヲ經由スベシ

第三條 統制令第二條第三項ノ規定ニ依リ指定期日ニ於ケル價格ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 季節品ニ付テハ最近ノ季節ノ市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付一般物價ノ變動ヲ參酌シタルモノ

二 新製品ニ付テハ之ニ類似スル物ノ指定期日ニ於ケル市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付原價ノ差異ヲ參酌シタルモノ

三 前各號ニ掲グル物以外ノ物ニ付テハ指定期日ニ於ケル市場價格又ハ之ニ準ズルモノ

前項ノ規定ハ物以外ノモノノ價格、運送費、保管料、損害保險料、賃賃料及加工費ノ額ニ付之ヲ準用ス

第三條ノ二 統制令第二條第三項但書ノ指示ハ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)之ヲ爲ス

第三條ノ三 第三條第一項及前條ノ規定ハ統制令第四條ノ三ノ規定ニ依リ同令第二條第三項ノ規定ヲ準用スル場合ニ付之ヲ準用ス

第四條 統制令第三條第一項又ハ第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ハ左ニ掲グル區別ニ依リ主務大臣又ハ地方長官ニ之ヲ爲スベシ

一 道府縣又ハ全國ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニ在リテハ主務大臣

二 道府縣又ハ其ノ一部ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニアリテハ地方長官

前項ニ掲グル組合其ノ他之ニ準ズルモノニシテ主務大臣ノ指定シタルモノニ付テハ前項各號ノ規定ニ拘ラズ主務大臣ノ定ムル行政官廳ニ申請スベシ

第五條 前條ノ申請ヲ爲スニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員(統制令第三條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ)タル資格及構成員ノ概數

三 統制令第二條第二項若ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額又ハ同令第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一定款又ハ規約ノ寫

二 統制令第二條第二項若ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額又ハ同令第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

三 前條ノ申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書又ハ同意書ノ寫

四 統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ニ在リテハ同令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定ムルラ必要トスル事由ヲ明カニスル書面

第六條 統制令第二條第一項但書、第四條ノ二但書、第四條ノ四第一項但書若ハ第七條第一項但書ノ許可又ハ同令第三條第一項、第四條ノ四第一項若ハ第六條ノ二ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第七條 主務大臣又ハ地方長官統制令第三條第一項又ハ第四條ノ四第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ公示ス

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員タル資格

三 統制令第二條第二項若ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額又ハ同令第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ成シタル額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

四 認可ニ附シタル制限又ハ條件

第八條 統制令第三條第二項又ハ第四條ノ四第三項ノ處分ハ同令第三條第一項又ハ第四條ノ四第一項ノ認可ヲ爲シタル主務大臣又ハ地方長官處分ノ旨及前條各號ニ掲グル事項ヲ公示スルコトニ依リ之ヲ爲ス

第九條 統制令第四條ノ規定ニ依ル處分ハ主務大臣又ハ地方長官價格等ノ受領者ニ對シ左ノ事項ヲ通知スルニ依リ之ヲ爲ス

一 價格等ノ引下後ノ額

二 引下實施ノ日

前項ノ規定ハ統制令第四條ノ三ノ規定ニ依リ同令第四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ付之ヲ準用ス

第十條 統制令第二條乃至第四條ノ規定ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ

一 財團、營業及無體財產權ノ價格及賃賃料

二 書畫骨董ノ價格

三 鮮魚介類(冷凍魚介類及鱈ヲ除ク)生蔬菜及生果實ノ價格

四 家畜ノ價格及賃賃料並ニ家禽及立木竹ノ價格

五 輸出品タル綿絲及輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フル綿絲(關東州、滿洲及支那向ノモノヲ除ク)ノ價格

六 生絲(玉絲及野蠶絲ヲ除ク)及繭(玉繭及屑繭ヲ除ク)ノ價格

第十一條 統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ法令ヲ定ムルコト左ノ如シ

アルコール專賣法

阿片法

運河法

運洋航路補助法

家畜保險法

瓦斯事業法

河川法

漁船保險法

軌道法

航空法

航空機製造事業法

小運送業法

業道事業規則(昭和二年逓信省令第三十六號)

蠶絲業統制法

鹽專賣法

鹽專賣規則

飼料配給統制法

重要肥料業統制法

森林火災國營保險法

人造石油製造事業法

自動車製造事業法

自動車交通事業法

水道條例

石炭配給統制法

石油業法

製鐵事業法

製鐵用輸入原料配給等統制令

粗製樟腦油專賣法

倉庫業法

造船事業法第十四條(同令施行令第二十八條及第二十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)

煙草專賣法

煙草專賣規則

第十一條ノ二 統制令第六條ノ二ノ物ノ價格等ノ指定ハ物ノ性質、機能、構造等ニ鑑ミ其ノ價格等ニ付同令第七條又ハ海運

統制令第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ一般ノ指定ヲ爲スヲ著シク不適當又ハ困難ト認メラルモノニ限リ之ヲ爲スモノトス

前項ノ物ノ價格等ノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス

第十一條ノ三 統制令第六條ノ二ノ認可ハ主務大臣之ヲ爲ス

第十一條ノ四 前條ノ認可ノ申請ヲ爲サントスル者ハ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地及業務ノ種類並ニ左ニ掲グル事項(物ノ價格以外ノ場合ニ在リテハ之ニ準ズル事項)ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

一 其ノ物ノ名稱、品種、構造、機能其ノ他其ノ物ノ性質ヲ明カニスル事項

二 販賣先、販賣數量、豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

三 豫定販賣價格見積ノ根據

第十二條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ主務大臣之ヲ爲スモノトス但シ主務大臣ニ於テ地方長官ガ額ノ指定ヲ爲スベキ旨ヲ定メタルモノニ付テハ地方長官額ノ指定ヲ爲スモノトス

第十三條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス但シ軍機保護上告示ヲ不適當トスルモノニ付テハ價格等ノ受領者ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條 統制令第十一條ノ一項ノ行政官廳ハ主務大臣又ハ地方長官トス

中央卸賣市場法

地方鐵道法

電力管理法

電氣事業法

電力調整令

鐵道營業法

鐵道運輸規程

道路法

日本輸出農產物株式會社法

農業保險法

農業倉庫業法

米穀統制法

米穀配給統制法

保稅工場法

保稅倉庫法

水先法

鹽業調整法

臨時肥料配給統制法

硫酸アンモニア増産及配給統制法

臨時船舶管理法

明治四年太政官布告第六百四十八號(修路架橋運輸ノ便ヲ興ス者ニ入費金徵收許可方)

昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律)

同條第二項ノ證券ハ別記様式ニ依ル

第十五條 統制令第十二條第三號ニ掲グル價格等ハ左ニ掲グルモノトス

一 特殊保稅工場ノ工場主ガ關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ貨物ヲ輸出スル爲當該保稅工場ノ作業ニ使用スル物品ヲ買入ルル場合ノ價格

一ノ二 前號ニ掲グル作業ニ依リ生ジタル貨物ヲ關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出スル爲販賣スル場合ノ價格

一ノ三 關稅法第六十三條第一項ノ規定ニ依リ稅關長ガ貨物ヲ買上グル場合ノ價格

二 金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物及產金法ノ含金鋼產物ノ價格並ニ金資金特別會計法ニ依リ金資金ヲ運用スル場合ノ物ノ價格

三 國營ノ鐵道、軌道及自動車並ニ其ノ附帶ノ業務ニ關スル運送賃、賃賃料、保管料、修繕料、荷役請負料、作業料、手数料、使用料其ノ他ノ料金

四 統制令施行地以外ノ地相互間(關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク)ニ於ケル運送ノ運送賃

五 統制令施行地以外ノ地ニ支拂ヒ又ハ統制令施行地以外ノ地ヨリ受領スル保險料(統制令施行地ト關東州、滿洲又ハ支那トノ間ノ運送ニ對スル貨物ノ保險又ハ航海ニ對スル船舶保險ノ保險料ヲ除ク)及統制令施行地以外ノ地(關東州、滿洲及支那ヲ除ク)相互間ノ運送ニ對スル貨物ノ保險又ハ航海ニ關スル船舶ノ保險ノ保險料

五ノ二 損害保険料以外ノ保険料

六 再保険料

七 日本船舶ニ非ザル船舶ノ貨賃料

八 昭和十五年商工省令第六十六號(關東州、滿洲及支那ニ對スル貿易ノ調整ニ關スル件)第一條ノ規定ニ依ル調整機關ノ指定輸出品ノ買取價格及輸出價格、調整機關輸出ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル調整機關ノ受領價格及受託者ノ輸出價格、調整機關ノ同令第六條ノ規定ニ依ル指定輸入品ノ輸入價格並ニ調整機關ガ輸入ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル受託者ノ輸入價格及調整機關ヨリノ受領價格

九 輸出品用原材料配給統制規則(昭和十五年商工省令第六十六號)第一條ノ規定ニ依ル配給機關ノ指定輸出品用原材料ノ買受價格及販賣價格並ニ配給機關ガ指定輸出品用原材料ノ輸入ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル受託者ノ配給機關ヨリノ受領價格

十 昭和十五年商工省令第五十五號(南洋ニ對スル貿易ノ調整ニ關スル件)第一條ノ規定ニ依ル輸出調整機關ノ指定輸出品ノ買受價格、販賣價格及輸出調整機關ガ指定輸出品ノ輸出ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル輸出調整機關ノ受領價格並ニ同令第八條ノ規定ニ依ル輸入調整機關ガ指定輸入品ノ輸入ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル受託者ノ輸入調整機關ヨリノ受領價格

十一 國民更生金庫法ニ依リ國民更生金庫ガ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ヨリ物ヲ買入ルル場合ノ價格

長官トアルハ陸上運送貨並ニ陸上運送ニ直接關聯スル保管料、賃賃料、荷役請負料、作業料、手数料、使用料及運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料ニ關スル事項ニ付テハ第四條第一項第一號ノ場合ヲ除クノ外地方鐵道事業、軌道事業(人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク)、旅客自動車運送事業及事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ニ在リテハ鐵道大臣、人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ニ在リテハ起點所在地ヲ管轄スル地方長官、小運送業ニ在リテハ所管鐵道局長、其ノ他ノ陸上運送事業ニ在リテハ主たる事業地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ於テハ警視總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及警視總監)トス但シ第十四條ノ場合ニ在リテハ地方鐵道事業、軌道事業(人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク)及自動車運送事業ヲ除クノ外鐵道大臣及小運送業ニ在リテハ當該鐵道局長、其ノ他ノ陸上運送事業ニ在リテハ、當該地方長官(東京府ニ於テハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ヲ除クノ外警視總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及警視總監)トス

本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、地方長官トアルハ船舶ノ價格、賃賃料、運航手数料及修繕料並ニ船舶ノ賣買、賃賃又ハ運航委託ノ斡旋手数料並ニ水上運送貨並ニ水上運送ニ直接關聯スル保管料、賃賃料、荷役請負料、作業料、手数料、使用料及運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料ニ付テハ總噸數百噸以上ノ汽船以外ノ船舶ノ賣買價格、賃賃料、運航手数料及運送貨並ニ船舶ノ修繕料並ニ水上運送ニ直接關聯ス

十二 貿易統制令施行規則(商工、農林省令第九號)第十條ノ二ノ規定ニ依ル調整機關指定物品ノ買受價格、販賣價格及輸出機關ガ輸出ノ委託ヲ爲ス場合ニ於ケル調整機關ノ受領價格

第十六條 第二條第一項ノ規程ニ依リ提出スベキ申請書ハ三週ヲ、第五條又ハ第十一條ノ四ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各二週ヲ提出スベシ

第十七條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ價格等ノ支拂者若ハ受領者又ハ組合其ノ他之ニ準ズルモノヲ指定シ其ノ第二條第一項、第五條又ハ第十一條ノ四ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ價格等ノ支拂者若ハ受領者又ハ組合其ノ他之ニ準ズルモノヲ指定シ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

- 第十八條 統制令第十五條第五號ノ加工貨ヲ定ムルコト左ノ如シ
一 米穀其ノ他ノ穀物ノ摺摺質及乾燥質
二 炭燒質
三 生絲挽質
四 肥料ノ加工質
統制令第十五條第五號ノ修繕料等ヲ定ムルコト左ノ如シ
一 農林畜水產業專用物品ノ修繕料

第十九條 本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、地方

ル保管料、賃賃料、荷役請負料、作業料、手数料、使用料及運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料ニ在リテハ所轄海務局長(遞信大臣ノ特ニ指定スルモノニ關シテハ遞信大臣)其ノ他ニ在リテハ遞信大臣トス但シ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未満ノ船舶(艀船曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク)ノ賣買價格、賃賃料、運航手数料、運送費及賣買、賃賃又ハ運航委託ノ斡旋手数料並ニ總噸數五噸未満ノ船舶ノ製造價格及修繕料ニ在リテハ地方長官(東京府ニ於テハ運送費ニ在リテハ東京府知事及警視總監)トス

本令ニ於テ地方長官トアルハ醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ東京府ニ於テハ東京府知事及警視總監トス

附 則 (昭和十六年九月三日) 關令第二十一號
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格B列八番ニ依ルモノトス)

表面

第 號	官 氏 名
年 月 日交付	當 該 官 廳
價格等統制令ニ基テ臨檢検査證 當該官廳印	

(淡紅色)

裏面

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

價格等統制令第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險、加工若ハ修繕料等ニ對スル給付ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

改正價格等統制令關係告示

(十一種)

◎商工省告示第七七十一號
價格等統制令第四條ノ二ノ規定ニ依リ修繕料等及甲月日左ノ通指定ス

昭和十六年九月三日

商工大臣 左近司政三

- | | |
|--|------------|
| 修繕料等 | 年月日 |
| 自動車取締令第二條ニ掲グル自動車及其ノ部分品(附屬品ヲ含ム以下同ジ)ノ修繕料 | 昭和十六年八月十一日 |
| 自轉車(リヤカー及サイドカーヲ含ム)及其ノ部分品ノ修繕料 | 同 |
| 荷車及人力車並ニ其ノ部分品ノ修繕料 | 同 |
| ラヂオ受信機及其ノ部分品ノ修繕料 | 同 |
| 時計及其ノ部分品ノ修繕料 | 同 |
| 度量衡器及其ノ部分品ノ修繕料 | 同 |
| 靴ノ修繕料 | 同 |
| 古綿ノ打直料 | 同 |
| クリーニング料(洗張料、湯熨料及汚洗拔料ヲ含ム) | 同 |
| 染色加工ノ取扱手数料 | 同 |
| 包裝料及荷造料(運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料ヲ除ク) | 同 |

- | | |
|-------------------------|---|
| 増設及接續電話ノ設備料並ニ維持料 | 同 |
| 船舶ニ施設スル無線通信機器ノ裝置料 | 同 |
| 宿泊料(賄附下宿料及旅館ノ席料ヲ含ム)並ニ賄料 | 同 |
| 廣告料及廣告ノ取扱手数料 | 同 |
| 入場稅法第三條第二項ニ掲グル入場料 | 同 |

◎商工省告示第七七十二號

價格等統制令施行規則第二條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ價格等統制令第四條ノ二但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可ノ申請ヲ爲スベキモノ左ノ通定ム

昭和十六年九月三日

商工大臣 左近司政三

- | |
|--|
| 一 自轉車(リヤカー及サイドカーヲ含ム)及其ノ部分品(附屬品ヲ含ム以下同ジ)ノ修繕料 |
| 二 荷車及人力車並ニ其ノ部分品ノ修繕料 |
| 三 時計及其ノ部分品ノ修繕料 |
| 四 古綿ノ打直料 |
| 五 クリーニング料(洗張料、湯熨料及汚洗拔料ヲ含ム) |
| 六 染色加工ノ取扱手数料 |
| 七 包裝料及荷造料(運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料ヲ除ク) |
| 八 宿泊料(賄附下宿料及旅館ノ席料ヲ含ム)並ニ賄料 |
| 九 入場稅法第三條第二項ニ掲グル入場料 |

◎商工省告示第七百七十三號
價格等統制令施行規則第二條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ價格等統制令第四條ノ四第一項但書ノ許可ノ申請ヲ爲スベキ場合左ノ通定ム

昭和十六年九月三日

商工大臣 左近司政三

價格等統制令施行規則第四條ノ規定ニ依リ地方長官ガ價格等統制令第四條ノ四第一項ノ認可ヲ爲シタル場合

◎商工・農林省告示第一號

價格等統制令第四條ノ二ノ規定ニ依リ修繕料等及年月日左ノ通指定ス

昭和十六年九月三日

商工大臣 左近司政三

農林大臣 井野碩哉

修繕料等

年月日
昭和十六年八月十一日

不動産ノ買買及賃貸ノ斡旋手数料

◎商工・農林省告示第二號

價格等統制令施行規則第二條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ價格等統制令第四條ノ二但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可ノ申請ヲ爲スベキモノ左ノ通定ム

昭和十六年九月三日

商工大臣 左近司政三

農林大臣 井野碩哉

修繕料等

年月日
昭和十六年八月十一日

運送業者又ハ運送取扱業者ノ荷造料

◎厚生省告示第三百八十一號

價格等統制令第四條ノ二ノ規定ニ依リ修繕料等及年月日左ノ通指定ス

昭和十六年九月三日

厚生大臣 小泉親彦

修繕料等

年月日
昭和十六年八月十一日

勞務供給ノ請買料(派出婦派出料ヲ含ム)

大工、左官、屋根職、畳職、建具職、賦力職、塗裝職、植木職、鷹職、井戸職、石工、鋸工及木挽職ノ手間賃

◎厚生省告示第四百一號

左ノ請買料ニ關スル價格等統制令第四條ノ二但書又ハ第七條第一項但書ノ許可ノ申請ハ價格等統制令施行規則第二條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ地方長官ニ爲スベキモノト定ム

昭和十六年九月十一日

厚生大臣 小泉親彦

一 勞務供給ノ請買料(派出婦派出料ヲ含ム)

二 大工、左官、屋根職、畳職、建具職、賦力職、塗裝職、植木職、鷹職、井戸職、石工、鋸工及木挽職ノ手間賃

◎厚生省告示第四百二號

左ノ請買料ニ關スル價格等統制令第四條ノ四第一項但書ノ許可

一六

不動産ノ買買及賃貸ノ斡旋手数料

◎通信省告示第八百八十四號

價格等統制令第四條ノ二ノ規定ニ依リ修繕料等及年月日左ノ通指定ス

昭和十六年九月三日

通信大臣 村田省藏

修繕料等

年月日
昭和十六年八月十一日

船舶ノ修繕料

船舶ノ運航手数料(率ニ依ルモノヲ含ム)

船積又ハ陸揚ニ關スル請買料又ハ手数料(荷受荷渡、仕分、藏置、改品、荷造、積卸荷役、檢數其ノ他之ニ附隨スル作業ニ關スル請買料又ハ手数料ヲ含ム)

岩壁離繫及維繫ノ作業料

岩壁、棧橋、上屋又ハ浮標ノ使用料

船舶ノ買買、賃借若ハ運航委託又ハ船舶ニ依リ運送ノ斡旋手数料(率ニ依ルモノヲ含ム)

◎鐵道省告示第七十七號

價格等統制令第四條ノ二ノ規定ニ依リ修繕料等及年月日左ノ通指定ス

昭和十六年九月三日

鐵道大臣 村田省藏

ノ申請ハ價格等統制令施行規則第二條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ地方長官ニ爲スベキモノト定ム

昭和十六年九月十一日

厚生大臣 小泉親彦

價格等統制令施行規則第四條ノ規定ニ依リ地方長官ガ價格等統制令第四條ノ四第一項ノ認可ヲ爲シタル請買料(手間賃、派出料ノ類ヲ含ム)ニシテ主トシテ勞務ノ供給及提供ニ對スルモノ

◎商工省、農林省告示第六號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ物品ノ販賣價格及宿泊料左ノ通指定シ昭和十五年五月商工省告示第二百五十二號ハ之ヲ廢止ス

本告示ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年十一月二十九日

商工大臣 岸信介

農林大臣 井野碩哉

一 價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品稅法第一條第一項ノ物品ニシテ物品稅ヲ課セラルモノノ小賣業者販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ指定期日ニ於ケル額(同令ニ依リ指定期日ニ於ケル額ト看做サルモノヲ含ム以下同ジ)ニ支那事變特別稅法ニ依リ課稅セラルベカリシ物品ニ在リテハ物品稅法第二條ニ規定スル稅率ニ依リ算出シタル稅額ト支那事變特別稅法第三十九條ニ規定スル稅率ニ依リ算出シタル稅額トノ差額ニ相當スル金額ヲ加算シタル額、其ノ他ノ物品ニ在リテ

一七

ハ物品税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ヲ加算シタル額トス

二 價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品税法第一條第二種ノ物品ニシテ物品税ヲ課セラルルモノノ製造者(物品税法ニ依リ製造者ト看做サルモノヲ含ム)及物品税法第四條ノ引取人ノ當該物品ノ販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ指定期日ニ於ケル額ニ支那事變特別税法ニ依リ課税セラルベカリシ物品ニ在リテハ物品税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ト支那事變特別税法第三十九條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額トノ差額ニ相當スル金額ヲ加算シタル額、其ノ他ノ物品ニ在リテハ物品税法第二條ノ規定ニ依リ算出シタル税額ヲ加算シタル額トス

前項ノ規定ニ依リ加算セラレタル額ヲ以テ購入シタル物品ノ順次販賣スル場合ニ於ケル販賣業者販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ指定期日ニ於ケル額ニ該加算額ヲ加算シタル額トス

三 麥芽糖ノ製造者販賣價格及販賣業者販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ指定期日ニ於ケル額ニ百斤ニ付一圓ヲ加算シタル額トス

四 骨牌ノ製造者販賣價格及販賣業者販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ指定期日ニ於ケル一組毎ノ額ニ麻雀ニ在リテハ七圓ヲ、其ノ他ノ骨牌ニ在リテハ一圓ヲ加算シタル額トス

五 食堂、料理店、其ノ他飲食物ヲ自己ノ營業場ニ於テ専ラ飲食ニ供スルコトヲ業トスル者ノ遊興飲食税法ニ依リ課税セララルル場合ニ於ケル飲食物ノ販賣價格ハ價格等統制令第二條ノ

規定ニ依リ算出シタル額ガ錢ニ滿タザル端數ヲ生ジタル額トス

八 本告示ニ指定シタル販賣價格及宿泊料ハ地方長官別ニ販賣價格及宿泊料ヲ指定シタル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

奢侈品等製造販賣制限規則

(昭和十五年七月六日 商工、農林省令第二號)

第一條 物品ノ製造(加工ヲ含ム以下同ジ)ヲ業トスル者ハ主務大臣ノ指定シタル物品ヲ製造スルコトヲ得ズ但シ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ノ許可ヲ受ケタル場合及當該物品指定ノ際現ニ製造中ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 物品ノ生産(製造及加工ヲ含ム以下同ジ)又ハ販賣ヲ業トスル者ハ主務大臣ノ指定シタル年月日以後ハ左ニ掲グル物品及其ノ中古品ヲ賣渡スコトヲ得ズ但シ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル物品

二 他ノ法令ニ依リ製造ヲ禁止セラレタル物品(當該法令ニ依ル製造ノ許可アリタルモノヲ除ク)

三 主務大臣ノ指定シタル物品

前項第二號ノ他ノ法令ハ主務大臣之ヲ定ム

指定期日ニ於ケル額ニ支那事變特別税法ニ依リ課税セラルベカリシ飲食物ニ在リテハ遊興飲食税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ト支那事變特別税法第五十二條ノ三ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額トノ差額ニ相當スル金額ヲ加算シタル額其ノ他ノ飲食物ニ在リテハ遊興飲食税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ヲ加算シタル額トス

六 價格等統制令第四條ノ二ノ適用ヲ受クル旅館ノ宿泊料(賄附下宿料ヲ含ム)ハ遊興飲食税法ニ依リ飲食又ハ宿泊ニ付課税セラル、場合ニ於テハ昭和十六年八月十一日ニ於ケル額ニ其ノ飲食又ハ宿泊ニ付遊興飲食税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ヲ加算シタル額トス、但シ昭和十六年十一月三十日以前ニ於テ同法ニ依リ飲食ニ付課税セラル、モノニ在リテハ昭和十六年八月十一日ニ於ケル額ニ左ノ各號ニ掲グル額ノ合計額ヲ加算シタル額トス

(一) 飲食ニ付遊興飲食税法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額ト昭和十六年法律第八十八號ニ依リ遊興飲食税法改正前ニ於ケル從前ノ同法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額トノ差額ニ相當スル金額

(二) 宿泊ニ付遊興飲食税法ニ依リ課税セラル、場合ニ於テハ其ノ宿泊ニ付同法第二條ニ規定スル税率ニ依リ算出シタル税額

七 一ノ規定ニ依リ加算シタル額ガ錢ニ滿タザル端數ヲ生ジタル額トス

二及三ノ規定ニ依リ小賣業者販賣價格ニ加算セララル、額ガ一

第一項ノ規定ハ前條但書ノ許可ヲ受ケ製造シタル物品ヲ賣渡シ又ハ之ヲ買受ケテ賣渡ス場合及第一項但書ノ許可アリタル物品ヲ買受ケテ賣渡ス場合ニハ之ヲ適用セズ

第三條 主務大臣前條第一項ノ指定ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ物品ノ生産又ハ販賣ヲ業トスル者ニ對シ同條同項ノ指定シタル年月日前ニ於ケル同條同項ニ掲グル物品ノ賣渡ニ關シ賣渡數量又ハ賣渡先ノ制限其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトアルベシ

第四條 物品ノ生産又ハ販賣ヲ業トスル者ハ主務大臣ノ指定シタル物品ニ付テハ主務大臣ノ定メタル規格又ハ品質ニ該當スルモノ(價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル種類ノ物品ニシテ主務大臣ノ指定シタルモノニ付テハ當該額ノ指定ニ於テ定メタル規格又ハ品質ニ該當スルモノ)ヲ除クノ外之ヲ賣渡スコトヲ得ズ但シ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ前項但書ノ許可アリタル物品ヲ買受ケテ賣渡ス場合ニハ之ヲ適用セズ

第五條 第一條但書、第二條第一項但書又ハ前條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸出セラルルコト明カナル物品ヲ製造シ又ハ賣渡ス場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

法令

上掲法令ニ依リ製造ヲ禁止セラレタル物品ニ付テノ年月日
昭和十五年十月七日

同

法令

上掲法令ニ依リ製造ヲ禁止セラレタル物品及其ノ中古品ニ付テノ年月日
昭和十五年十月七日

同

農林省告示第十號

奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項第三號及同條同項ノ規定ニ依リ物品及當該物品ニ付テノ年月日左ノ通指定ス
昭和十五年七月六日

商工大臣 藤原銀次郎

農林大臣 島田俊雄

物

品

年 月 日

果實(メロン及苺ヲ含ム)ニシテ百
勿子付販賣價格二圓ヲ超ユルモノ
昭和十五年十月七日

適合食料品ニシテ一詰合ニ付販賣價
格五圓ヲ超ユルモノ
同

農林省告示第三百四十二號

改正 昭十五年十二月五日商工省告示第七百八十九號
昭十六年九月二十二日商工省告示第八百四十九號
昭十六年九月二十二日商工省告示第八百四十九號
昭十六年十月十六日商工省告示第九百四十四號
昭十六年十月十六日商工省告示第九百四十五號
奢侈品等製造販賣制限規則第二條第二項ノ規定ニ依リ法令左ノ
通定メ同條第一項ノ規定ニ依リ當該法令ニ依リ製造ヲ禁止セラ
レタル物品及其ノ中古品ニ付テノ年月日左ノ通指定ス
昭和十五年七月六日
商工大臣 藤原銀次郎

壽司ニシテ一箇ニ付販賣價格十錢ヲ
超ユルモノ
同

天麩羅ニシテ一箇ニ付販賣價格(一
箇賣スル場合ニ限ル)二十錢ヲ超ユ
ルモノ
同

農林省告示第十二號

奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項第三號及同條同項ノ規
定ニ依リ物品及當該物品ニ付テノ年月日左ノ通指定ス
昭和十五年八月二十七日

上掲物品ニ付テノ年月日

食用生鮮魚介類(切身ヲ含ム)ニシテ
百勿ニ付販賣價格二圓ヲ超ユルモノ
昭和十五年九月一日

農林省告示第五百二號

奢侈品等製造販賣制限規則第一條但書ノ規定ニ依リ地方長官ニ
同條但書ノ許可ノ申請ヲ爲スベキ場合左ノ通定ム
昭和十五年九月二日

- 一 子供用品ノ製造ニ用フル爲裁斷シタル織物生地ニ子供用品
一箇分ニ付刺繡料金又ハ刺繡費五十錢以下ノ刺繡(銀線若ハ
漆線又ハ模造品タル金線、銀線若ハ漆線ヲ用フル場合ヲ除ク
以下同ジ)ヲ施ストキ
- 二 子供用品一箇分ニ付刺繡料金又ハ刺繡費五十錢以下ノ刺繡
ヲ施シタル織物生地又ハ半既製品ヲ以テ子供用品ヲ製造スル
トキ
- 三 織物製品タル子供用品又ハ半既製品ニ一箇分ニ付刺繡料金

白金使用制限規則

皮革使用制限規則

鉛、亞鉛、錫等使用制限規則(第一
條ヲ除ク)

ゴムノ使用制限ニ關スル件

鐵製品製造制限規則

銅使用制限規則(第二條ヲ除ク)

農林省告示第四百八十七號

奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項第三號及同條同項ノ規
定ニ依リ物品及當該物品ニ付テノ年月日左ノ通指定ス
昭和十五年八月二十七日

物

品

上掲物品ニ付テノ年月日

料理(一品料理、一皿料理、辨當、
井物、壽司及天麩羅ヲ含ム)ニシテ
一人ニ對スル販賣價格(酒類及清涼
飲料ノ代金並ニ遊興、飲食稅額ヲ含
マズ)朝食(午前零時ヨリ午前十一
時迄ノ食事)ニ在リテハ一圓ヲ畫食
(午前十一時ヨリ午後四時迄ノ食事)
ニ在リテハ二圓五十錢ヲ、夕食(午
後四時ヨリ午前零時迄ノ食事)ニ在
リテハ五圓ヲ超ユルモノ

一品料理又ハ一皿料理(辨當及井物
ヲ含ム)ニシテ一品又ハ一皿ニ付販
賣價格一圓ヲ超ユルモノ
同

昭和十五年九月一日

又ハ刺繡費五十錢以下ノ刺繡ヲ施ストキ

四 半襟、帶締、袋物、テーブル掛若ハテーブルセンター又ハ
此等ノ半既製品若ハ生地ニ製品一箇分ニ付刺繡料金又ハ刺
繡費一圓以下ノ刺繡ヲ施ストキ

五 製品一箇分ニ付刺繡料金又ハ刺繡費一圓以下ノ刺繡ヲ施シ
タル半既製品又ハ生地ヲ以テ半襟、帶締、袋物、テーブル掛
若ハテーブルセンター又ハ此等ノ半既製品ヲ製造スルトキ

農林省告示第十七號

奢侈品等製造販賣制限規則第一條但書又ハ第二條第一項但書ノ
規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受クベキ場合左ノ通指定ス
昭和十五年十月七日

- 一 關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出セラルルコト明カナル
物品ヲ製造シ又ハ賣渡ス場合
- 二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出スル爲ノ輸出見本ヲ製
造スル場合
- 三 外國航路船舶ニ備付クル爲ノ物品ヲ造船事業者又ハ海運業
者ヨリノ注文ニ基キ製造シ又ハ之ニ賣渡ス場合
- 四 學術、試驗又ハ研究ニ必要ナル物品ヲ學校、試驗所又ハ研
究所ヨリノ注文ニ基キ製造シ又ハ之ニ賣渡ス場合
- 五 試驗所又ハ研究所ニ於テ製造スル場合
- 六 機械工具又ハ時計ノ製造又ハ修繕ニ必要ナル貴石又ハ半貴
石(人造品及模造品ヲ含ム)ヲ機械工具又ハ時計ノ製造業者
又ハ修繕業者ヨリノ注文ニ基キ製造シ又ハ之ニ賣渡ス場合

置時計
置物
桶及桶ノ蓋
押板
帶留及帶挾
オペラグラス (倍率五以上ノモノヲ除ク)
街頭照明柱 (鐵芯ヲ有スルセメントボールヲ除ク)
街路樹保護板
鏡及鏡臺
花器及花止器具
樂器及樂譜臺
角砂糖挾
カクテルシエーカー
額及額受
掛時計ノケース及文字盤
籠類
傘立及傘吊
風窓
菓子籠
菓子器
ガス器具 (醫藥用又ハ工礦業用ノモノヲ除ク)
活字鑄造用機械器具
映畫機、映寫機及映畫用錄音又ハ發聲裝置
カーテン用金具
カードケース
カード立及カード差金具
カードリング
金網 (ラス及工礦業用ノモノヲ除ク)
畫紙ノ匣

カフスポタン
カラー止及カラーボタン
髪飾品
蚊帳ノ釣手及釣具並ニ蚊帳帳ノ骨
蚊遣器 (蚊遣線香臺ヲ含ム)
カレンダー金具
皮制器 (工業用ノモノヲ除ク)
瓦
玩具
看板
徽章 (法令其ノ他之ニ準ズルモノニ依リ制定セラレタルモノヲ除ク)
喫煙用具 (煙管ヲ除ク)
脚立
急須
競技用障害物
酒又ハ遊戯用短艇クランチ
魚類觀賞用容器
霧吹器 (香水吹金具ヲ含ム)
金庫 (手提金庫ヲ含ム)
金錢登錄機及釣錢機
空氣銃
鎖 (工礦業用漁業用又ハ船舶用ノモノヲ除ク)
藥玉裝飾金具
靴洗器
屑入
靴下止金具
靴蓋
類飾
車渡鐵板
掲示板、指示板及標札類

化粧品又ハ齒磨用品ノ容器 (蓋ヲ含ム)
顯板
獻込板 (自動車及電車等ノモノヲ含ム)
建築物ノ柱、壁、天井、庇廻シ等ノ裝飾金物
幻燈機
劍道用面
廣告塔及廣告板
格子
交通標識
香爐
五右衛門風呂
炬燵及燈爐
コップ及碗類並ニ同蓋、袴及臺
五徳
子供用乗物
コヒー挽機械
コヒー沸
水入器
氷挾、氷搦機
米櫃
米磨器
コルセット用金具
ゴルフ用具
コンバクト
杯
皿 (受皿ヲ含ム) 及コンボイ
箱
下類
シガレットケース

仕切用金物 (カウンタースクリンヲ含ム)
七輪及燈爐
自動車立
自動番號機
自動販賣機
燭臺
食卓用ナイフ
漏斗 (工礦業用ノモノヲ除ク) 狀差
寫真引伸機、寫真現像燒附用品及寫真仕上用品
寫真機用三脚及雲臺
寫真立
絞タオル入
シャープペンシル
シャッター用器
シャンドンリヤ
シャンドンクーラー
瞬間湯沸器
書類入箱
賞牌及賞杯
如露
寢臺
炊事用ボール
水筒 (麥茶冷シ類ヲ含ム)
吸取器
水盤
スキヤキ鍋類
スケート用具
硯水入レ
ステッキ金具
ストーブ及同前飾金物

ストロー立
スプーン
止蓋、ブラシコ及棒登リ
止
ズボン伸張器
炭挾
スライドフアスナー
製本用機械器具
石輸入
石炭用バケツ
扇風機 (工礦業用ノモノヲ除ク)
掃除器
足温器
袖丸ミ型板
算盤珠ノ心棒
大根等ノ下金
タイムレコーダーノケース
卓子
卓上日記金具
卓上呼鈴
煙草セツト
玉子燒器 (特殊鋼製品ニ限ル)
扇及扇ノ箱
筆筒金具 (簪香及錠前ヲ除ク)
痰壺及同蓋
煙房用ラヂエター、同カバー及同給濕器
蓄音機及蓄音機用針
茶托、茶壺、茶零シ、茶濾シ及茶濾シ入
茶焙シ機械

茶道用風爐釜
茶挽機械
調味料容器 (調味料容器立ヲ含ム)
調理用又ハ厨房用鍋釜 (特殊鋼製品ニ限ル)
貯金箱
塵取
陳列用器具
圖書用水筒及油壺
机
釣鐘及鐘
手洗器及洗面器並ニ同臺
庭球用ネット
手摺
デインツユカパー
鐵亞鉛
鐵像及鐵碑並ニ同臺
鐵瓶
電氣スタンド
天水桶及天水鉢
天井板
電柱 (鐵芯有スルセメントポールヲ除ク) 及電柱袴
電燈支持具
電熱器 (醫藥用又ハ工礦業用ノモノヲ除ク)
天火
ドアークローザー
銅壺
投擲用砲丸、鐵鎗、圓盤及槍
標槍
戸車及ドアーハンガー
登山用ビツケル

戸棚 (ロッカーヲ含ム)
戸、扉、絞リ戸及シャッター
並ニシャッターケース
戸又ハ扉ノ破損止金具
戸、扉又ハ家具類ノ引手及把手 (交通機關用ノモノヲ除ク)
鳥籠
泥拭器
ナットクラツカー
ナフキンリング
人形 (鐵芯入人形ヲ含ム)
ネオンサイン用具
ネームプレート
灰皿及同臺
履物ノ裏金及座金 (靴用ノモノヲ除ク)
鉄 (鋼製品及可鍛鐵製品ヲ除ク)
梯子 (機械又ハ裝置ト一體ト爲リタルモノヲ除ク)
箸立及箸箱
柱掛
旗竿
バター、ジャム、ミルク、酒類等ノ食卓用容器
齒ブラシ入
パレット
パン立
パンチ
バンドバグ金具
バンド及バンド用金具
ピーチバラソル金具
火起筒

火格子 (工礦業用又ハ交通機關用ノモノヲ除ク)
抽斗箱
火消壺
尾錠
柄杓及杓子 (金網製ノモノヲ含ム) 並ニ同容器
火鉢
日除用金具
フアイル
フインガーポール
風鈴
フオーク
筆洗器
筆立 (ペン立ヲ含ム) 及筆架
布吊掛
ブローチ
噴水金物
文銀
分銅及平衡錘 (衡器用ノモノヲ除ク)
扉
ペーパーナイフ
ペン皿及ペン軸
便所用巻紙器
辨當箱 (特殊鋼製品ニ限ル)
帽子、額縁等ノ掛金具
紡織、編組、染色又ハ整理用機械器具 (針布製造用機械器具ヲ除ク)
墨汁罐
ボスター用又ハピラ用金具
ボタン (スナツプヲ除ク)
ホチキス

調味料容器 (調味料容器立ヲ含ム)
貯金箱
散取
陳列用器具
圖書用水筒及油壺
釣鐘及鐘
吊下洗器
ディッシュユカバ
手提袋金具
手摺
電氣座蒲團
電氣掃除器
電氣足温器
電燈(導入線ヲ除ク)
天水桶
天火
ドアクローザー及フロア
ヒンデ
備及備受金物
トイレットベーパーホルダー
トースター
鍋蓋及柄杓入
銅像(胸像ヲ含ム)及銅牌位
二同置
導電用接地板類
燈籠
戸、扉及絞リ戸
戸、扉又ハ家具類ノ引手及把
手車
戸車
戸欄(ロツカコヲ含ム)
銅鑼

トランプ類金具(蝶番及錠前ヲ除ク)
鳥籠
泥拭器
ナイフ(ペンナイフ及バターナイフヲ含ム)
流臺
ナットクラツカー
ナフキンリンケ
鍋
ネームプレート、コーション
プレート、標札類
ネオンサイン用具
ネクタイ止
ネクタイピン
ネクタイピン
灰落シ
灰振
排氣筒
繩叩
繩張
灰籠
履物ノ裏金及座金
バケツ
箸立
破損止金物
バター、ジャム、ミルク、酒類等ノ容器
バツヂ
齒子入
バナティケース、
バルブ(同蓋ヲ除ク)、スポーク用ニツプル、ベル中心歯車
及ポンプ口金以外ノ自轉車部分品及附屬品

バレット
香盤札
パン立
バンド及バンド用金具
ハンドバツク金具
髭剃用コツプ
柄杓及杓子(金網製ノモノヲ含ム)
尾錠
火錠
火箸
火鉢
紐掛
表示板掲装具
日除用金具
ファイナル
フィンガーポール
フォーク
ブツクベルト金具
佛壇金具(蝶番ヲ除ク)
筆洗器
筆立(ペン立ヲ含ム)及筆架
布用掛
ブローチ
風呂桶及風呂釜
噴水金物
文鏡
ペーパーナイフ
ヘヤーアイロン
ヘヤードライヤー
ペン皿及ペン軸

三三
ホールスタンド及衝立
帯
帽子、類等ノ掛金具
庖丁
墨汁罐
ボタン(スナツプヲ除ク)
ホツク
盆
盆景用具類
本立(ブツクエンドヲ含ム)
マツク類刷込板
窓閉閉調整器
電法瓶
萬年筆金具(ペン先ヲ除ク)
燗寸容器
水差
耳飾
名刺、傳票等ノ刺器
メガホン
目地
メニユー立
メモ挾
持送リ
物干器具
門及門柱
藥罐
燒網
燒串
矢立
矢筈
郵便受口
床磨器
指輪

湯沸器
洋傘裝飾金具
楊枝入
洋服掛
三白金製品

雷害用塞流線輪
欄干
鐵燭立
ワイシャツ袖鈎金具

昭和十二年十二月商工省令第三十六號ノ第一條ニ依リ白金ハ之ヲ裝飾用品、裝身具、身廻品、文房具又ハ什器ノ製造(加工及修理ヲ含ム)ニ使用スルコトヲ得ズ

四 鉛、亞鉛、銅、若ハアンチモン又ハ之等ノ金屬ヲ用ヒタル合金ヲ使用シタル製品又ハ其ノ部分品

昭和十三年七月商工省令第五十一號鉛、亞鉛、銅等使用制限規則第三條ニ依リ左ノ物品又ハ部分品ニシテ輸出品ニ非ザルモノノ製造ニ使用スルコトヲ得ズ

茶器、酒器、菓子器其ノ他ノ飲食用器具
鍋、釜、湯沸其ノ他ノ厨房用器具
火鉢、帽子掛、飾棚、飾臺其ノ他ノ家具什器
手摺、把手、蝶番其ノ他ノ建築用附屬金具
置物、花器、寶壺、團物其ノ他ノ美術裝飾品
煙草セツト、シガレットケース、灰皿其ノ他ノ喫煙用器具
ハンドバツク、化粧用具、化粧品容器其ノ他ノ身廻用品
髪飾、帶止、ブローチ、鈕釦其ノ他ノ裝身具又ハ被服附屬金具
文鏡、インクスタンド、紙切其ノ他ノ文房具
玩具

五 ゴム製品又ハ其ノ材料
昭和十三年七月商工省令第五十三號ゴムノ使用制限ニ關スル件ニ依リ左ノ物品又ハ其ノ材料ハインディアラバー、パララバー、ラテツクス、シロトン、バラタ、ガタパーチヤ又ハ再生ゴムヲ使用シテ之ヲ製造スルコトヲ得ズ

六 皮革製品又ハ其ノ材料
昭和十三年七月商工省令第四十三號皮革使用制限規則第一條ノ規定ニ依リ左ノ物品又ハ其ノ材料ハ牛革(黃牛革)又ハ水牛革ヲ使用シテ製造スルコトヲ得ズ

靴
調帶
革履
馬具
左ノ物品又ハ其ノ材料ハ牛革(黃牛革)、水牛革、馬革、驢革、驢革、緬羊革、山羊革、豚革、鹿革、犴革、犬革、鯨革又ハ鯨革
バツキング
自轉車又ハ自動自轉車用サドル運動用具

ラズ前項ノ規定ニ依ル認可アリタル類ヲ超エテ之ヲ契約シ、
支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ

第一項ノ事由ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 宅地ノ分譲ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ分譲
ヲ爲ス宅地ノ價格ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クベシ宅地以外ノ
土地ヲ宅地ト爲ス目的ヲ以テ分譲ヲ爲ス場合亦同ジ

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ價格ハ第二條ノ規定ニ拘ラズ前項
ノ規定ニ依ル認可アリタル類ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又
ハ受領スルコトヲ得ズ

第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ認可ヲ受
ケタル價格其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ヲ公示スベシ

第六條 宅地以外ノ土地ガ宅地ニ供セラルル爲メ譲渡セラルル場
合ニ於テハ前條第一項ノ場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依
リ譲渡人又ハ譲受人ニ於テ其ノ土地ノ價格ニ付行政官廳ノ認
可ヲ受クベシ譲渡ノ目的ヲ以テ宅地以外ノ土地ヲ宅地ニ變更
シテ之ヲ譲渡スル場合亦同ジ

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ價格ハ前項ノ規定ニ依ル認可アリ
タル類ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ

第七條 行政官廳ハ第二條但書ノ規定ニ依リ許可又ハ前三條ノ
規定ニ依ル認可ニ關スル處分ニシテ重要ナルモノハ宅
地建物評價委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス

宅地建物評價委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條又ハ第四條乃至
第六條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

セズ

前項ノ規定中土地ノ登記ニ關スル部分ハ南洋群島ニ在リテハ
之ヲ適用セズ

第十五條 本令施行ノ際現ニ行ハルル土地ノ分譲ニ關シテハ昭
和十五年十二月三十一日(朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在
リテハ昭和十六年一月三十一日)迄ハ第二條及第四條乃至第
六條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

前項ノ場合ニ於テ昭和十五年十二月三十一日(朝鮮、臺灣、
樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年一月三十一日)迄ニ爲
シタル土地分譲ノ契約ニシテ同日迄ニ其ノ目的物ニ付譲受人
ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ其ノ目的物ノ引渡ヲ完
了シタルモノニ付テハ同日後ト雖モ第二條及第四條乃至第六
條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 前二條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ
土地賃借權ノ價格及土地又ハ建物ノ譲渡契約ニ附隨シテ定メ
ラルル營業權、造作、附屬設備附屬築造物其ノ他財産上ノ利
益ノ價格ニ之ヲ準用ス

七 宅地建物等價格統制令

施行規則(昭和十五年十一月二十一日)
(商工省令第九十五號)

第一條 宅地建物等價格統制令(以下令ト稱ス)第二條但書ノ

三八

第九條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十
一條ノ規定ニ依リ宅地、建物等ノ價格ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ
當該官吏ヲシテ宅地、建物其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ狀況若
ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於
テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十條 前八條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土
地賃借權ノ價格及土地又ハ建物ノ譲渡契約ニ附隨シテ定メラ
ルル營業權、造作、附屬設備、附屬築造物其ノ他財産上ノ利
益ノ價格ニ之ヲ準用ス

第十一條 本令ニ於テ宅地トハ建物所有ノ目的ニ供セラルル土
地ヲ謂フ

本令ニ於テ分譲トハ譲渡セントスル自己又ハ他人ノ土地ヲ分
割シテ譲渡スベキ旨ヲ廣告シ之ヲ譲渡スルコトヲ謂フ

第十二條 宅地建物評價委員會ニ關スル規定ハ朝鮮、臺灣、樺
太及南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附 則

第十三條 本令ハ昭和十五年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス但
シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十二月
二十六日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 第十五條ノ場合ヲ除クノ外本令施行ノ際現ニ土地又
ハ建物ニ付存スル譲渡契約ニシテ其ノ目的物ニ付譲受人ノ權
利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ其ノ目的物ノ引渡ヲ完了シ
タルモノニ付テハ第二條、第四條及第六條ノ規定ハ之ヲ適用

許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ爲スコ
トヲ得

一 譲渡人が當該宅地ニ付著シキ改良工事ヲ爲シタルトキ

二 譲渡人が當該建物ニ付増築又ハ改築ヲ爲シタルトキ

三 其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ

第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載
シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 申請人及譲渡人又ハ譲受人ノ相手方ノ氏名及住所(法人ニ在
リテハ其ノ名稱、主たる事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名
及住所)

二 宅地又ハ建物所在地ノ地番

三 宅地ニ在リテハ其ノ坪數、建物ニ在リテハ其ノ用途、構
造、建坪及延坪

四 對價又ハ建築費

五 第三條第一項ニ規定スル額

六 譲渡又ハ譲受ノ價格

七 價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他譲渡又ハ譲受ニ關スル
條件

八 許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

第三條 令第二條第一號及第二號前段ノ規定ニ依リ對價又ハ建
築費ニ加算スル額ハ左ノ各號ニ該當スルモノニシテ譲渡人ニ
於テ支出シタルモノノ額トス

一 登記ニ要シタル費用

二 不動産取得稅及同附加稅

三九

- 三 建築費
- 四 受益者負擔金
 - 令第二條第二號後段ノ規定ニ依リ加算スル利潤ハ建築費ノ百分ノ七ニ相當スル額トス
- 第四條 令第三條ノ規定ニ依リ對價ノ範圍ヲ定ムルコト左ノ如シ
 - 一 賣買ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ其ノ買入價格
 - 二 交換ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ當該交換ニ供セラレタルモノノ價額
 - 三 代物辨濟ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ當該辨濟ニ因リ消滅セシメラレタル債權ノ價額
 - 四 其ノ他ノ有價行爲ニ依リ取得シタル宅地又ハ建物ニ在リテハ出捐シタル費用但シ登記ニ要シタル費用、不動産取得稅及同附加稅ヲ除ク
- 第五條 令第三條ノ規定ニ依リ建築費ノ範圍ヲ定ムルコト左ノ如シ
 - 一 建物ノ工事費（材料費ヲ含ム）
 - 二 設計費及工事監督費
 - 三 工事中ノ地代（自己ノ土地ニ建物ヲ建築シタル場合ニ在リテハ地代相當額）
 - 四 工事中ノ火災保險料
- 第六條 令第四條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項ノ事由ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ニ付讓渡人ニ於テ權利金其ノ他財産上ノ利益ヲ取得シタル場合
 - 二 令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ニ付讓渡人ニ於テ擔保權ヲ設定シタル場合
 - 三 令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ガ改築其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ坪數ニ減少ヲ來シ又ハ其ノ構造ニ縮少ヲ來シタル場合
 - 四 令第二條第一號ノ宅地若ハ建物又ハ同條第二號ノ建物ヲ分割讓渡スル場合
 - 五 令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ノ對價ガ其ノ宅地又ハ建物以外ノモノノ對價ト結合シテ定メラレタル場合ニ於テ當該宅地又ハ建物ヲ獨立シテ讓渡スル場合
 - 六 交換ニ依リ取得シタル令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ヲ讓渡スル場合ニ於テ當該交換ニ供セラレタルモノガ有價證券以外ノモノナル場合
 - 七 代物辨濟ニ依リ取得シタル令第二條第一號ノ宅地又ハ建物ヲ讓渡スル場合ニ於テ當該辨濟ニ依リ消滅セシメラレタル債權ガ金錢ヲ目的トスル債權以外ノモノナル場合
- 第七條 令第四條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ
- 一 申請人及讓受人ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
 - 二 讓渡スル土地又ハ建物ニ關シ第二條第二號乃至第五號ニ

四〇

- 揭ゲタル事項
- 三 讓渡價格
- 四 價格ノ受領ノ方法其ノ他讓渡ニ關スル條件
- 五 認可ヲ受ケントスル事由ノ詳細
- 第八條 令第五條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ分讓廣告前段メ分讓地所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ
 - 一 申請人ノ氏名、職業及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
 - 二 分讓地所有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
 - 三 分讓地ニ關スル分讓地所有者ト分讓者トノ間ニ於ケル委託其ノ他關係
 - 四 分讓地所在地ノ地番並ニ分讓地ノ地目及坪數
 - 五 分讓地ノ取得原因及取得ノ日
 - 六 分讓地ノ取得價格及申請ノ際ノ評價價格
 - 七 分讓地ニ加ヘタル諸施設及其ノ費用
 - 八 分讓區劃別ノ分讓價格
 - 九 價格ノ受領ノ方法其ノ他ノ賣却條件
 - 十 分讓期間
 - 十一 分讓廣告ノ方法
 - 十二 其ノ他分讓價格ヲ算出スルニ參考ト爲ルベキ事項
- 前項ノ申請書ニハ分讓區劃ヲ明ナラシメ且ツ分讓區劃別ノ分

- 讓渡價格ヲ記載シタル分讓計畫圖面ヲ添附スルコトヲ要ス
- 第九條 令第五條第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ分讓地ノ見易キ箇所ニ左ニ掲グル事項ヲ表示スベシ
- 一 前條第一項第一號、第二號、第四號、第九號及第十號ニ掲ゲタル事項
 - 二 前條第二項ノ分讓計畫圖面
 - 三 分讓地ニ加ヘタル諸施設
- 新聞紙、雜誌其ノ他ノ方法ニ依リ廣告スル場合亦前項ニ同じ但シ前項第二號ニ掲グル圖面ニ付テハ之ニ代ヘ認可ヲ受ケタル分讓價格ノ大要ヲ記載スルヲ以テ足ル
- 第十條 令第六條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ
- 一 申請人及讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名、職業及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
 - 二 讓渡セラルル土地所在地ノ地番並ニ讓渡セラルル土地ノ地目及坪數
 - 三 讓渡セラルル土地ノ取得原因及取得ノ日
 - 四 讓渡セラルル土地ノ取得價格及申請ノ際ノ評價價格
 - 五 讓渡又ハ讓受ノ價格
 - 六 價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他讓渡又ハ讓受ニ關スル條件
 - 七 讓渡セラルル土地ノ使用目的
 - 八 其ノ他讓渡價格ヲ算出スルニ參考ト爲ルベキ事項

四一

第十一條 令第二條但書ノ許可又ハ令第六條第一項ノ認可ハ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

第十二條 第二條、第七條、第八條及第十條ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各二通ヲ提出スベシ

第十三條 地方長官必要アリト認ムルトキハ土地若ハ建物ノ讓渡人若ハ讓受人又ハ土地ノ分譲ヲ爲ス者ヲ指定シ其ノ第二條第七條、第八條又ハ第十條ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ土地若ハ建物ノ讓渡人若ハ讓受人又ハ土地ノ分譲ヲ爲ス者ヲ指定シ本則ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 令第九條第一項ノ行政官廳ハ商工大臣又ハ地方長官トス

同條第二項ノ證書ハ別記様式ニ依ル

第十五條 前十四條ノ規定ハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地賃借權ノ價格及土地又ハ建物ノ讓渡契約ニ附隨シテ定メラルル營業權、造作、附屬設備、附屬築造物其ノ他財産上ノ利益ノ價格ニ之ヲ準用ス

附 則

本則ハ昭和十五年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格B列八番ニ依ルモノトス)

八 臨時農地價格統制令

昭和十六年一月三十日 勅令 第九號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十九條ノ規定ニ基テ農地ノ價格ニ關スル統制ハ宅地建物等價格統制令第五條第一項後段及第六條ノ場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ農地トハ耕作ノ目的ニ供セラルル土地ヲ謂フ

第三條 農地ノ價格ハ當該農地ノ地租法ニ依ル賃賃價格ニ農林大臣ノ定ムル率ヲ乘ジテ得タル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ農地ノ讓渡人又ハ讓受人ニ於テ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

農林大臣前項ノ率ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ前項ノ規定ニ依ル告示アリタル際現ニ農地ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡ヲ完了シタルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ認可ヲ受ケ區域ヲ指定シ前條ノ率ニ代ルベキ率ヲ定ムルコトヲ得

地方長官前項ノ規定ニ依リ前條ノ率ニ代ルベキ率ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

前項ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ告示セラレタル率ヲ以テ前條ノ率ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル際現ニ農地ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡ヲ完了シタルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第五條 地租法ニ依ル賃賃價格ナキ農地ヲ讓渡ス場合ハ其ノ價格ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡人又ハ讓受人ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケタベシ

前項ノ場合ニ於テハ農地ノ價格ハ同項ノ規定ニ依ル認可アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ

第六條 地方長官ハ第三條第一項但書ノ規定ニ依リ許可又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル認可ニ關スル處分ニシテ重要ナルモノニ付テハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス地方長官第四條第一項ノ規定ニ依リ第三條ノ率ニ代ルベキ率ヲ定メントスルトキ亦同ジ

第七條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第三條又ハ第五條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ農地ノ價格ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農地其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證書ヲ携帯セシムベシ

(面 表)

第 號	官 氏 名
宅地建物等 價格統制令	基テ臨檢検査證 商工省又ハ 廳店縣印
年 月 日交付	(商 工 省) (廳 府 縣)

(面 裏)

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

宅地建物等價格統制令第九條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ宅地建物等ノ價格ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ宅地建物其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證書ヲ携帯セシムベシ

第九條 第三條及第四條ノ規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

第六條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ
本令中地租法ニ依ル賃賃價格トアルハ朝鮮ニ在リテハ地稅令ニ依ル地價、臺灣ニ在リテハ臺灣地租規則ニ依ル租率トス
本令中農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附則

本令ハ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
第五條ノ規定ハ本令施行ノ際現ニ農地ニ付存スル讓渡契約ニシテ當該農地ニ付既ニ讓受人ノ權利ニ關スル登記アリタルモノ又ハ當該農地ノ引渡ヲ完了シタルモノニ付テハ之ヲ適用セズ

臨時農地價格統制令施行規則

昭和十六年一月三十日
農林省令第十號

第一條 臨時農地價格統制令（以下令ト稱ス）第三條第一項但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

- 八 當該農地ニ付小作權買賣ノ慣習アル場合ニ於テハ其ノ價格
- 九 當該農地ノ讓渡後ニ於ケル使用目的
- 十 當該農地ノ讓渡又ハ讓受ノ原因及價格
- 十一 價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他讓渡又ハ讓受ニ關スル條件
- 十二 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 第三條 地方長官ガ令第四條第一項ノ規定ニ依リ令第三條ノ率ニ代ル率ヲ定ムルコトヲ得ル場合左ノ如シ
 - 一 區域内ノ農地ガ地租法又ハ耕地整理法ニ規定スル減租年期ヲ有スル農地ナルトキ
 - 二 前號ノ外令第三條ノ率ニ依ルコトガ不適當ト認メラルルトキ
- 第四條 令第五條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第二條第一號乃至第三號及第五號乃至第十二號ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官ニ提出スベシ
- 第五條 令第三條第一項但書ノ許可又ハ令第五條第一項ノ認可ハ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル
- 第六條 令第八條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ臨時農地價格統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四四

- 一 地租法又ハ耕地整理法ニ規定スル減租年期ヲ有スル農地ニシテ其ノ現況ニ比シ地租法ニ依ル賃賃價格ガ著シク低額ナルトキ
 - 二 地租法ニ依ル賃賃價格決定後當該農地ニ付著シキ改良ヲ爲シタルトキ
 - 三 當該農地ガ耕作以外ノ目的ニ供セラルル爲（建物所有ノ目的ニ供セラルル場合ヲ除ク）讓渡セラルルトキ
 - 四 當該農地ニ果樹、桑樹、茶樹其ノ他毛上アルトキ
 - 五 其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ
- 第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官ニ提出スベシ
- 一 申請人及讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名、住所及職業（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主たる事務所ノ所在地、業務ノ種類並ニ代表者ノ氏名及住所）
 - 二 當該農地ノ所在地番、地目（土地臺帳ノ地目ガ土地ノ現況ト異ルトキハ土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目）及面積
 - 三 許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細
 - 四 當該農地ノ賃賃價格並ニ減租年期アル場合ニ於テハ其ノ年期ノ始期及終期
 - 五 當該農地ノ地味、水利及交通ノ良否並ニ利用狀況
 - 六 當該農地ノ普通收穫高並ニ小作地ナル場合ニ於テハ小作料ノ種別及額又ハ率
 - 七 當該農地ガ永小作地ナル場合ニ於テハ永小作權ノ價格

別記様式（用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス）

（表面）

臨時農地價格統制令第八條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號

昭和 年 月 日交付

官
職
氏
名

當該官廳印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

臨時農地價格統制令第八條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ農地ノ價格ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ農地其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

臨時農地價格統制令施行規則第六條 令第八條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

九 臨時農地等管理令

昭和十六年二月一日 勅令第百十四號

四六

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十三條第一項及第三項ノ規定ニ依ル食糧農產物等ノ生産ヲ確保スル爲ニ爲ス農地又ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ノ管理ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ農地トハ耕作ノ目的ニ供セラルル土地ヲ謂フ

第三條 農地ノ所有者、賃借人、永小作人其ノ他權原ニ基キ農地ヲ耕作スルコトヲ得ル者(以下權利者ト稱ス)其ノ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官(農林大臣特ニ定メタルトキハ農林大臣)ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 國又ハ道府縣ガ權利者タル場合
- 二 主務大臣又ハ地方長官ノ命令、免許、許可、認可其ノ他ノ處分ニシテ農林大臣ノ定ムルモノニ依リテ爲ス工事又ハ施設ノ爲ニ農地ヲ使用スル場合
- 三 土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利

ヲ收用又ハ使用シタル場合ニ於テ當該收用又ハ使用ニ係ル農地ヲ其ノ目的ニ供スル場合

第五條ノ規定ニ依ル許可ニ係ル農地ヲ其ノ目的ニ供スル場合

五 前各號ノ外農林大臣ノ定ムル場合

第五條 農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲其ノ所有權、賃借權、地上權、其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル者ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官(農林大臣特ニ定メタルトキハ農林大臣)ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第六條 前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

一 國又ハ道府縣ガ農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

二 主務大臣又ハ地方長官ノ命令、免許、許可、認可其ノ他ノ處分ニシテ農林大臣ノ定ムルモノニ依リテ爲ス工事又ハ施設ノ爲ニ農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

三 土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用セントスル場合

四 前各號ノ外農林大臣ノ定ムル場合

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ農地ノ面積五千坪ヲ超ユルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ニ在リテハ農林大臣ト協議シ、其ノ他ニ在リテハ其ノ事項ノ主務大臣

ヲ經由シ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ但シ軍機保護上支障アル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 行政廳國ガ權利者タル農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合

二 行政廳國ノ事業又ハ施設ニ關シ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

三 行政官廳土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲農地又ハ之ニ關スル權利ノ收用又ハ使用ニ付事業ノ認定ヲ爲シ又ハ許可ヲ爲サントスル場合

四 主務大臣又ハ地方長官第四條第二號又ハ第六條第二號ニ規定スル命令、免許、許可、認可其ノ他ノ處分ヲ爲サントスル場合

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ農地ノ面積五千坪ヲ超ユルトキハ北海道廳長官又ハ府縣知事ハ農林大臣ノ定ムル事項ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

一 道府縣ガ權利者タル農地ヲ道府縣ガ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合

二 道府縣其ノ事業又ハ施設ニ關シ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル爲農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスル場合

前二項ノ規定ニ依ル協議又ハ承認ハ農林大臣ノ定ムル場合ニハ之ヲ要セズ

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ道府縣農地委員會又

四七

ハ市町村農地委員會ヲシテ農地ノ權利者ニ對シ其ノ農地ノ耕作ニ關シ勸告セシムルコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ農地ノ權利者ニ對シ其ノ農地ヲ地方長官ノ適當ト認ムル者ヲシテ耕作セシムル爲賃貸其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ農地ノ權利者ハ賃貸料其ノ他ノ事項ニ關シ前項ノ者ト協議スベシ協議ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第九條 前條ノ規定ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付之ヲ準用ス

第十條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ農地ノ權利者ニ對シ一般ノ農作物ノ種類、地域其ノ他ノ事項ヲ指定シテ耕作ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ特定ノ農地ノ權利者ニ對シ農作物ノ種類其ノ他ノ事項ヲ指定シテ耕作ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 農林大臣又ハ地方長官ハ第三條若ハ第五條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル處分又ハ第八條第二項(第九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル命令ニシテ重要ナルモノニ付テハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽キ之ヲ爲スコトヲ要ス

前條ノ規定ニ依ル命令ニシテ重要ナルモノニ付テハ農林大臣ニ在リテハ農林計畫委員會、地方長官ニ在リテハ道府縣農會其ノ他地方長官ノ適當ト認ムルモノノ意見ヲ聽キ之ヲ

セズ

本令中主務大臣トアルハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ所管事項ニ關シテハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

本令中農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアリ又ハ北海道廳長官又ハ府縣知事トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方官トス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

10 臨時農地等管理令

施行規則

昭和十六年二月一日 農林省令第十一號
昭和十六年六月十四日 農林省令第五十三號改正

第一條 臨時農地等管理令(以下令ト稱ス)第三條及第五條ノ許可ノ申請ハ當該農地ノ面積ガ五千坪ヲ超ユル場合又ハ當該

爲スコトヲ要ス

第十二條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第三條又ハ第五條ノ制限ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第十條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ請求スベシ

第十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農地若ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農地若ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十五條 第八條乃至第十條ノ規定又ハ之ニ基ク命令ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ農地又ハ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ル土地ノ權利者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ効力ヲ有ス

第十六條 第七條第一項及第二項中五千坪トアルハ臺灣ニ在リテハ一甲トス

第八條第一項中道府縣農地委員會又ハ市町村農地委員會トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹又ハ邑面長、臺灣ニ在リテハ市長又ハ街庄長、樺太ニ在リテハ支廳長又ハ市町村長、南洋群島ニ在リテハ支廳長トス

第十一條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用

農地ガ二府縣以上ニ渉ル場合ニ於テハ農林大臣ニ之ヲ爲スベシ

第二條 令第三條及第五條ノ許可ハ一構ノ建築物又ハ同一ノ事業若ハ施設ノ爲ノ工作物其ノ他ノ設備ノ用地ニ供セラルル一團ノ農地ニ付之ヲ受クルコトヲ要ス

第三條 令第三條ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當セザル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ガ時局ニ緊要ナラザルモノナルトキ

二 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ著シク被害ヲ及ボス虞アルトキ又ハ當該農地ノ耕作者ノ生活ノ安定ヲ著シク害スル虞アルトキ

三 當該農地ガ國又ハ道府縣ノ助成ヲ受ケ造成又ハ改良セラレタルモノ又ハ農地調整法ノ規定ニ依ル自作農創設維持事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタルモノナルトキ

第四條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官(第一條ノ場合ニ於テハ農林大臣)ニ提出スベシ

一 申請人ノ姓名、住所及職業(法人ニ在リテハ名稱、主たる事務所ノ所在地、業務ノ種類並ニ代表者ノ姓名及住所)

二 當該農地ノ所在地番、地目(土地臺帳ノ地目ガ土地ノ現況ト異ルトキハ土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目以下同シ)及面積並ニ利用狀況及普通收穫高

三 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ノ概要及建築物其ノ他ノ工作物ヲ設置セントスル場合ニ於テハ其ノ規模ノ概要

四 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル時期及期間

五 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ボスコトアルベキ被害ノ防除施設ノ概要

六 當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對シ採ラントスル處置

七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條 令第四條第二號及第六條第二號ノ處分ハ別表ニ掲グルモノトス

第六條 令第四條第五號ノ場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 當該農地ノ面積五十坪以下ナルトキ

二 當該農地ガ燒畑又ハ切替畑ナルトキ

三 當該農地ガ耕地整理其ノ他土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル爲ニ耕作以外ノ目的ニ供セラルトキ

四 當該農地ガ土地區劃整理ヲ施行シタルモノ又ハ施行中ノモノナルトキ

五 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ一時當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第三條ノ許可ヲ受クル暇ナキトキ

第七條 令第五條ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當セザル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 第三條各號ノ一ニ該當スルトキ

二 所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得シタル後但當期間内ニ當該農地ガ一定ノ目的ニ供セラルル見込ナキトキ

第八條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該農地ノ在ル道府縣ノ地方長官(第一條ノ場合ニ於テハ農林大臣)ニ提出スベシ

一 第四條各號ノ事項

二 當該農地ニ付所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ有スル者ノ氏名、住所及職業(法人ニ在リテハ名稱、主たる事務所ノ所在地、業務ノ種類並ニ代表者ノ氏名及住所)

第九條 令第六條第四號ノ場合ハ第六條第一號乃至第四號ノ一ニ該當スル場合トス

第十條 令第七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ協議シ又ハ承認ヲ受クベキ事項左ノ如シ

一 當該農地ノ所在地番、地目及面積並ニ利用狀況及普通收穫高

二 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ノ概要並ニ時期及期間

三 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ボスコトアルベキ被害ノ防除施設ノ概要

四 當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對シ採ラントスル處置

第十一條 令第七條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項ノ規定ニ依リ協議又ハ承認ヲ要セザル場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ決定ヲ爲サントスルトキ

二 令第七條第一項第一號又ハ第二號ニ該當スル場合ニ於テ其ノ事業又ハ施設ガ既ニ都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ決定又ハ令第七條第一項第三號若ハ第四號ノ規定ニ依リ協議若ハ承認ヲ經タルモノナルトキ

三 令第七條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ同條同項第二號ノ規定ニ依リ協議又ハ承認ヲ經タルモノナルトキ

四 令第七條第一項第三號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ令第五條ノ規定ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキ又ハ令第七條第二項第二號ノ規定ニ依リ農林大臣ノ承認ヲ受ケタルモノナルトキ

五 法令ニ依リ測量、検査、工事等ノ爲ニ一時他人ノ土地ヲ使用スルコトニ付許可ヲ爲サントスルトキ

六 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ一時當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第七條第一項ノ規定ニ依リ協議ヲ爲シ又ハ承認ヲ受クル暇ナキトキ

第十二條 令第七條第三項ノ規定ニ依リ同條第二項ノ規定ニ依リ承認ヲ受クルコトヲ要セザル場合ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 第五條ニ掲グル處分ニ依リテ爲ス事業又ハ施設ノ爲ニ當該農地ヲ使用シ又ハ當該農地ノ所有權、賃借權、地上權其ノ他ノ權利ヲ取得セントスルトキ

二 土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用シタル場合ニ於テ當該收用又ハ使用ニ係ル農地ヲ其ノ目的ニ供シ又ハ土地收用法其ノ他ノ法令ニ依リ農地又ハ之ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用セントスルトキ

三 令第七條第二項第二號ニ該當スル場合ニ於テ既ニ同條同項第二號ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタルモノナルトキ

四 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ一時當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル場合ニ於テ令第七條第二項ノ規定ニ依リ承認ヲ受クル暇ナキトキ

第十三條 令第八條第二項(令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲スベシ

第十四條 令第八條第三項(令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ寫ヲ添ヘ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第十五條 令第八條第三項(令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事由ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相手方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名、住所及職業(法人ニ在リテハ名稱、主たる事務所ノ所在地、業務ノ種類並ニ代表者ノ氏名及住所)

二 申請ノ目的及事由

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付スシ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十六條 地方長官必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラ

又農産物ヲ以テ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十七條 地方長官裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ
當事者ニ送付スベシ

第十八條 令第九條ノ規定ニ依リ令第八條ノ規定ヲ準用スルコ
トヲ得ル土地ハ法令又ハ法令ニ基ク處分ニ依リ耕作ヲ爲スコ
トヲ得ザル土地ヲ除クノ外一定ノ用途ニ供スルコトヲナク放置
セラルル土地ニシテ耕作ノ目的ニ供スルコトヲ得ルモノトス

第十九條 令第十條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ガ作付ヲ命ズ
ルコトヲ得ル農作物ノ種類ハ農林大臣之ヲ指定ス

第二十條 令第十一條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ガ意見ヲ聽
クコトヲ要スルモノハ道府縣農會又ハ道府縣ニ於ケル經濟更
生ニ關スル事項ヲ調査審議スル機關トス

第二十一條 令第十條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル損失ノ補
償ヲ請求セントスル者ハ損失ノ生ジタル日ヨリ六月以内ニ損
失補償請求書ヲ當該農地ノ在ル市町村ノ市農會又ハ町村農會
ヲ經由シ地方長官ニ提出スベシ

地方長官損失補償請求書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ農林
大臣ニ之ヲ申達スベシ

第二十二條 損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一 當該農地ノ所在地番、地目及面積
二 當該農地ノ所有者、賃借人、永小作人其ノ他權原ニ基キ
農地ヲ耕作スルコトヲ得ル者ノ氏名及住所(法人ニ在リテ
ハ名稱、主タル事務所ノ所在地、業務ノ種類並ニ代表者ノ
氏名及住所)

軍用電氣通信法第七條ノ三、第七條ノ六及第七條ノ七

輕金屬製造事業法第三條第一項、第六條及第十八條

結核預防法第六條

下水道法第二條及第十一條

鑛業法第七十二條第一項及第七十四條第一項

航空法第二十一條、第二十三條ノ二第二項、第二十三條ノ三
第一項及第二十四條第一項

航空機製造事業法第二條、第五條第二項及第十七條第一項

工作機械製造事業法第三條第一項、第六條、第十九條第二項
及第二十條

國際電氣通信株式會社法第二條、第十二條第一項及第十二條
ノ五

國立公園法第四條第二項第三項、第八條第二項及第九條第一
項砂礫法第十六條ノ三並ニ第二十三條ノ規定ニ依リ準用セラ
ルル鑛業法第七十二條第一項及第七十四條第一項

砂防法第八條及第二十九條

產金法第三條第一項、第六條及第八條第一項

史蹟名勝天然紀念物保存法第四條第一項

種屬統制法第二條第二項

自動車交通事業法第六條第二項、第七條、第十條第一項、第
十一條、第十六條ノ五、第十九條第一項、第二十一條、第二

十五條、第二十六條及第三十一條第二項並ニ第十六條ノ八ノ
規定ニ依リ準用セラルル同法第七條及第十一條

自動車製造事業法第三條第一項、第十三條、第十六條第二項

三 補償請求ノ事由

四 補償請求額

五 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ損失補償請求書ニハ損失補償額算出明細書ヲ添附スベ
シ

第二十三條 令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ
依ル

第二十四條 本則ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ道
府縣ヨリ提出スルモノヲ除クノ外地方長官ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ臨時農地等管理令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

左ニ掲グル法令ノ規定ニ基ク處分

運河法第二條、第三條第二項、第五條及第九條

河川法第九條、第十條第一項、第十一條第一項、第十七條、
第十八條、第十九條、第二十條、第二十二條、第三十八條、
第四十五條、第四十六條第一項及第五十一條

家畜市場法第二條第一項

花柳病預防法第二條第一項

瓦斯事業法第五條及第六條第二項

軌道法第五條第一項及第八條第一項並ニ第二十六條ノ規定ニ
依リ準用セラルル地方鐵道法第十七條第二項及第七十三條第
二項救護法第七條

漁業法第三十三條及第三十七條第二項

及第十七條

住宅營團法第三十五條

重要礦物増産法第二條第三項、第三條、第十四條及第十六條
第一項

人造石油製造事業法第二條第一項、第十三條、第十六條第二
項及第十七條

水道條例第二條、第三條、第四條第二項、第八條及第二十一
條製鍊業法第三條第一項

製鍊事業法第三條第一項、第五條、第二十條第二項及第二十
一條

石油業法第一條第一項、第二條及第七條第二項

石油資源開發法第八條第一項

造船事業法第二條及第十五條第一項

地方鐵道法第十一條、第十三條、第十六條、第十七條第二項
及第二十三條第二項

中央卸賣市場法第二條、第四條、第五條及第十七條

帝國鑛業開發株式會社法第二十三條及第二十四條第一項

電氣事業法第三條

電氣線電話線建設條例第三條第一項

傳染病預防法第十七條

電力管理法第四條第一項

都市計畫法第三條並ニ第十二條第二項ノ規定ニ依リ準用セラ
ルル耕地整理法第三條第一項第二項、第五十條及第五十四條
屠場法第二條

度量衡法第六條並ニ第二十條ノ規定ニ依リ準用セラルル同法
 第六條
 道路法第二十一條乃至第二十四條、第二十六條、第五十一條
 第一項、第五十二條及第五十三條
 日本產金振興株式會社法第二十四條及第二十五條第一項
 日本發送電株式會社法第二十四條
 農會倉庫業法第六條
 肥料取締法第二條第一項
 不良住宅地區改良法第四條及第七條第一項
 保健所法第三條第三項
 牧野法第一條ノ八
 無線電信法第二條、第七條及第二十八條ノ三
 有機合成事業法第三條第一項、第六條、第十八條第二項及第
 十九條
 鹽業調整法第五條
 陸上交通事業調整法第二條第二項
 硫磺アソミア増産及配給統制法第七條第一項第二項
 臨時資金調整法第四條及第四條ノ二
 明治四年太政官布告第六百四十八號
 河川附近地制限令第一條及第四條
 河川豫定地制限令第四條及第五條
 瓦斯事業法施行令第六條ノ規定ニ依リ準用セラルル瓦斯事業
 法第五條
 高等學校令第六條

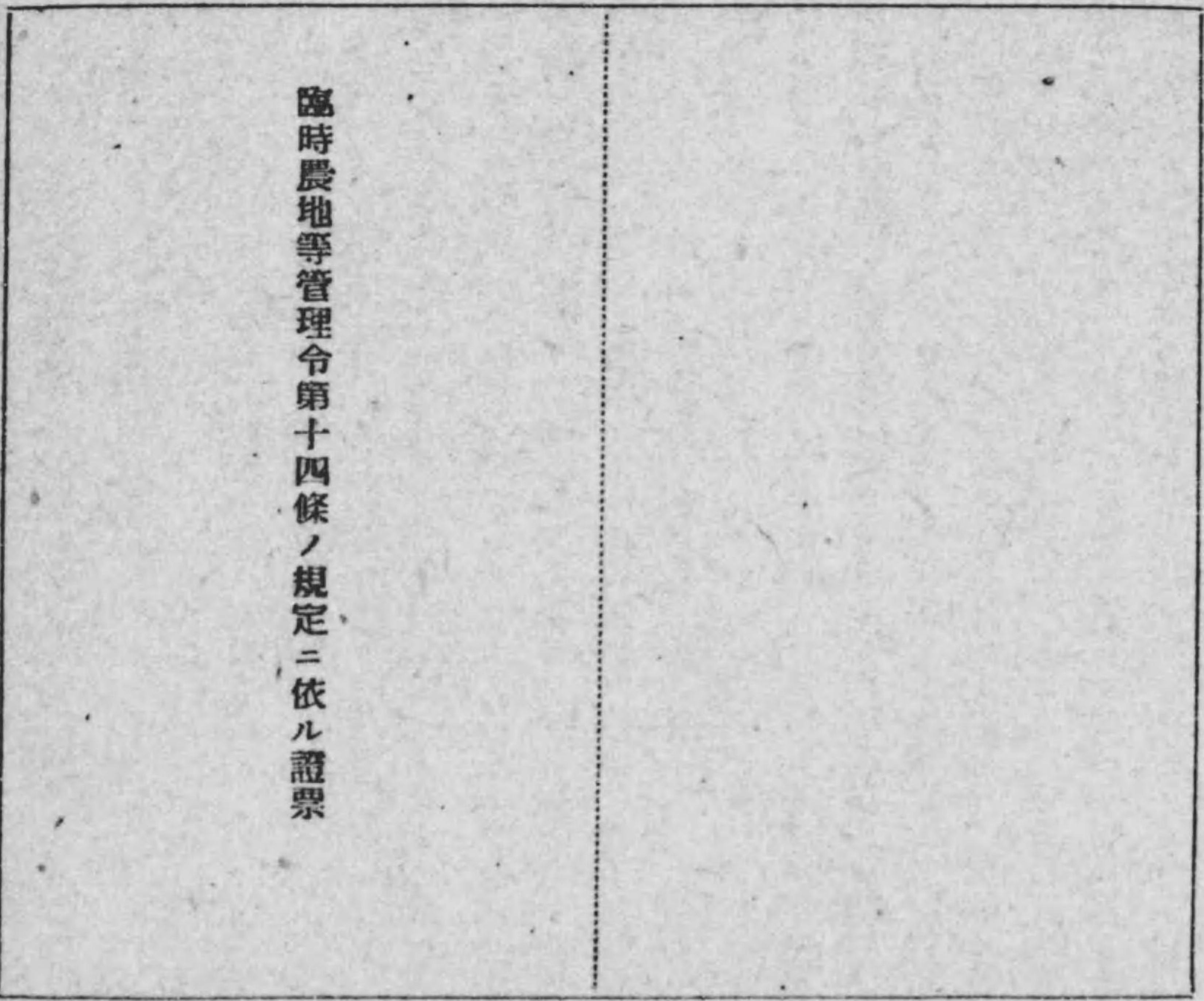
高等女學校令第七條第一項
 私立學校令第二條
 實業學校令第七條第一項
 青年學校令第二十二條第一項
 專門學校令第四條
 大學令第八條第一項
 中學校令第七條第一項
 盲學校及聾啞學校令第六條
 幼稚園令第五條
 軌道法施行規則第十一條
 高等學校規程第三十六條第三項
 高等女學校令施行規則第三十七條第一項及第三十八條第三項
 公立私立專門學校規程第一條第四項
 公立私立盲學校及聾啞學校規程第十八條第二項及第十九條第
 一項
 國民學校令施行規則第六十五條
 索道事業規則第四條、第二十三條及第三十九條
 私設電信規則第四條及第六條
 私設無線電信無線電話規則第五條
 私立學校令施行規則第一條第二項

實業學校設置廢止規則第一條第二項及第二條第一項
 青年學校令施行規則第五十一條第二項及第五十九條
 專用鐵道規程第二條及第十條並ニ第十二條ノ規定ニ依リ準用
 セラルル地方鐵道法第十一條、第十七條第二項及地方鐵道法
 施行規則第十七條
 大正二年內務省令第六號第十三條
 大學規程第一條第三項
 地方鐵道法施行規則第十七條及第二十五條
 中學校令施行規則第三十四條及第三十五條第三項
 度量衡法施行規則第十條
 農會倉庫業法施行規則第七條
 放送用私設無線電話規則第七條
 保健所法施行規則第一條
 墓地及埋葬取締規則第一條
 木造建築物建築統制規則第一條、第二條、第五條及第六條
 幼稚園令施行規則第十七條第二項
 汚物掃除法施行規則第二十四條ノ規定ニ依ル關府縣ノ定メタ
 ル命令

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格A7ト
 シ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
 (表面)



臨時農地等管理令第十四條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日 交付

官 當該官廳印 職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルト...

第一 臨時農地價格統制令ニ關スル事項

- 一、臨時農地價格統制令(以下令ト稱ス)第三條第一項ノ但...

二 農時農地價格統制並ニ臨時農地管理令ニ關スル通牒 (四種)

臨時農地價格統制令並ニ臨時農地管理令實施ニ關スル件 (昭和十六年二月二十二日附一六農政第二〇二三號ヲ以テ農林次官ヨリ地方長官宛通牒)

今般政府ハ國家總動員法第十九條ノ規定ニ基キ臨時農地價格統制令並ニ同令施行規則ヲ又同法第十三條第一項及第三項ノ規定...

普通、最低

- (四) 當該區域内ノ農地ノ地味、水利及交通ノ良否並ニ利用狀況

- ノ確保ヲ期スルハ勿論ナリト雖モ其ノ他産業、交通、厚生政策等施設ノ要請ニ付テモ留意スルコト
- 二、令第三條第二項又ハ令第五條第二項ノ規定ニ依ル許可ニ付スルコトヲ得ル條件ハ左ノ如シ
 - (一) 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル迄ノ期間ニ於ケル其ノ農地ノ耕作利用ニ關スル事項
 - (二) 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スル期間ガ終了セル場合ニ於テ其ノ農地ノ現狀回復ニ關スル事項
 - (三) 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ボスコトアルベキ被害ノ防除施設ニ關スル事項
 - (四) 當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對スル處置ニ關スル事項
 - (五) 其ノ他必要ト認ムル事項
- 三、令第八條第二項(令第九條ノ規定ニ依リ準用ノ場合ヲ含ム)ノ地方長官ノ適當ト認ムル者トハ市町村、農會、産業組合、農事實行組合、青年團、學校及空地利用團體等トスルコト
- 四、令第八條第二項(令第九條ノ規定ニ依リ準用ノ場合ヲ含ム)其ノ他必要ナル措置ニハ請負契約、勞務契約、使用貸借契約等ヲ含ムモノナルコト
- 五、令第八條第三項(令第九條ノ規定ニ依リ準用ノ場合ヲ含ム)ニ依リ地方長官ガ裁定ヲ爲ス場合ニ於テハ當該農地ノ賃賃料ニ付テハ其ノ農地ノ權利者ノ實害ヲ補償スル額ヲ以テ限度トシテ之ヲ爲スコト

- 六、令第十條ノ規定ニ依ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲サントスルトキハ豫メ農林大臣ト打合セテ爲スコト
- 七、臨時農地等管理令施行規則第二十四條ノ規定ニ依リ地方長官ヲ經由シテ提出スベキ書類ニハ副申ヲ添付スルコト
- 第三 農地委員會ニ關スル事項
 - 一、農地委員會ノ選任又ハ選任方内申ニ當リテハ農地價格ノ統制及農地等ノ管理ニ關スル學識經驗アル者ヲモ選任又ハ推薦セラレ度キコト
 - 既ニ農地委員會委員ノ選任ヲ了セルモノニ付テハ右ノ趣旨ニ依リ臨時委員ノ追加選任又ハ追加推薦等適當ニ考慮セラレ度キコト
 - 二、臨時農地價格統制令第六條及臨時農地等管理令第十一條ノ規定ニ依リ道府縣農地委員會ノ意見ヲ徵スベキ事案ニ關シテハ諸般ノ事情ヲ考慮シ貴官ニ於テ重要ナリト認ムルモノヲ諮問セラレタキコト
 - 三、道府縣農地委員會ノ開催ニ當リテハ議案、開催期日等ヲ豫メ通知セラレ度キコト
 - 第四 臨時農地價格統制令及臨時農地等管理令運用事務所管ニ關スル事項
 - 臨時農地價格統制令並ニ臨時農地等管理令ハ小作調停、自作農創設維持、小作料統制等廣ク農地調整事務ト密接不可分ノ關係ニアリテ之等事務ハ綜合的ニ施行スルニ非ザレバ所期ノ效果ヲ期シ得ザルノ虞アルヲ以テ農地調整事務ヲ管掌セル部課ニ於テ之ヲ擔當セシメラレ度キコト

工礦業、土木、公共施設、專賣事業、交通通信施設、都市計畫、區劃整理、住宅等ニ必要ナル土地需要トノ綜合調整ヲ圖ル爲關係官廳トノ連絡及關係部課間ノ連絡ヲ密接ナラシムル様セラレ度キコト

◎臨時農地價格統制令並ニ臨時農地等管理令施行ニ付フ報告ニ關スル件
 (昭和十六年二月二十二日附一六農局第五三三號ヲ以テ農政局長ヨリ地方長官宛通牒)

臨時農地價格統制令並ニ臨時農地等管理令施行ニ付ヒ左記ニ依リ報告相成度此段及通牒候也

- 一 臨時農地價格統制令(以下令ト稱ス)第三條第一項ノ許可又ハ不許可及令第五條第一項ノ認可又ハ不認可ノ決定アリタルモノニ付左ニ依リ報告スルコト
 - 甲 許可(認可)シタルモノ
 - (一) 許可(認可)シタル年月日
 - (二) 當該農地ノ所在、地目別面積
 - (三) 許可(認可)シタル事由
 - (四) 當該農地ノ令第三條第一項ノ率ヲ乘ジテ得タル價格(賃賃價格アル類地ノ令第三條第一項ノ率ヲ乘ジテ得タル價格)及賃賃價格並ニ許可(認可)セル價格
 - (五) 當該農地ノ普通收穫高並ニ小作地ナル場合ニ於テハ小作料ノ種別及額又ハ率
 - (六) 當該農地ガ永小作地ナル場合ニ於テハ永小作權ノ價

格

- (七) 當該農地ニ付小作權賃買ノ慣習アル場合ニ於テハ其ノ價格
 - (八) 其ノ他參考トナルベキ事項
- 乙 不許可(不認可)ト決定シタルモノ
 - (一) 不許可(不認可)ト決定シタル年月日
 - (二) 當該農地ノ所在、地目別面積
 - (三) 不許可(不認可)ト決定シタル事由
- 二 臨時農地等管理令(以下令ト稱ス)第三條第一項及令第五條第一項ノ許可又ハ不許可ノ決定アリタルモノニ付左ニ依リ報告スルコト
 - 甲 許可シタルモノ
 - (一) 許可シタル年月日
 - (二) 當該農地ノ所在、地目別面積
 - (三) 許可シタル事由
 - (四) 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル事業又ハ施設ノ概要及建築物其ノ他ノ工作物ヲ設置セントスル場合ニ於テハ其ノ規模ノ概要
 - (五) 當該農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供スルコトニ因リ附近ノ農地又ハ作物ニ及ボスコトアルベキ被害ノ防除施設ノ概要
 - (六) 當該農地ノ耕作者ノ離作ニ對シ探ラントスル處置
 - (七) 條件ヲ附シテ許可ヲナシタルトキハ其ノ要旨
 - (八) 其ノ他參考トナルベキ事項

三 令第八條第二項及第三項(令第九條ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ基キテナシタル命令又ハ裁定ニ關シテハ左ニ依リ報告スルコト

(一) 令第八條第二項ノ規定ニ基キテナシタル命令
イ、發令年月日
ロ、受命者ノ住所氏名

ハ、當該農地ノ所在、地目別面積
ニ、命令ヲナシタル事由

ホ、命令ノ内容

ヘ、其ノ他參考トナルベキ事項

(二) 令第八條第三項ノ規定ニ依ル地方長官ノ裁定
イ、裁定ヲ爲シタル年月日
ロ、當事者ノ住所氏名

ハ、當該農地ノ所在、地目別面積
ニ、裁定ヲ爲スニ至リタル事由

ホ、裁定ノ内容

ヘ、其ノ他參考トナルベキ事項

四 各報告ハ自一月至四月ノ分ハ五月十日迄、自五月至八月ノ分ハ九月十日迄、自九月至十二月ノ分ハ十一月十日迄ニ夫々取纏メ報告スルコト

但シ重要ナルモノニ付テハ其ノ都度別途報告スルコト

◎臨時農地等管理令第十條第一項ノ規定ノ適用ニ關スル件

(昭和十六年三月二十四日附一六農政第五二六七號ヲ以テ農林次官ヨリ地方長官宛通牒)

モノトスルコト

◎臨時農地等管理令第十條第一項ノ規定ノ適用ニ關スル件

(昭和十六年四月十日附ヲ以テ農林省農政局農政課長ヨリ地方長官宛宛通牒)

臨時農地等管理令第十條第一項ノ運用方針ニ付三月二十四日附農政第五二六七號ヲ以テ次官依命通牒相成候處之ガ實施ニ當リテハ左記事項御留意相成度此段申進候也

記

一、通牒記第一項但書ノ實績ニ付テハ當該作物ノ前年ノ栽培面積ヲ標準トシ其ノ栽培地ノ變更ハ之ヲ妨ゲザルモノナルコト

一、通牒記第三項但書ノ改植ニ付テハ當該作物ノ作付セラレ在ル農地ニ同一種類ノ作物ヲ改植スル場合ノ外當該耕作者ガ其ノ實績ノ範圍内ニ於テ同一種類ノ作物ヲ換地スル場合モ含ムモノナルコト

筒桑樹、果樹、茶樹、桐樹、竹等ハ指導獎勵ニ依リ之ヲ平坦地ヨリ傾斜地等ニ換地改植セシメ或ハ整理セシムル様圖ルベキモノナルコト

一、通牒記第四項ノ特別ノ事情トハ左ノ如キ場合ヲ謂フモノナルコト
イ、農地ノ特殊狀況ニ因リ他ニ適當ナル作物ヲ作付シ得ザル

場合

ロ、極度ニ農家ノ經營經濟ヲ破壊スル虞アル場合

ハ、其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合

今般臨時農地等管理令實施相成同令第十條第一項ノ規定ニ依リ不急ノ農作物ノ作物ヲ制限又ハ禁止シ以テ重要農産物ノ増産ヲ期スルハ極メテ緊要ノコトニ有之右規定ノ發動ニ付テハ夫々既ニ配慮中ノコトト被存候モ隣接府縣ト密接ナル連絡ノ上左記ニ依リ之ガ適切ナル運用ヲ期セララル様致度依命此段及通牒候也
追而貴道府縣ニ於テ右規定發動ノ場合ニ於テハ事前ニ打合相成度申添候

記

一、田ノ主作トシテハ稻以外ノ作物ヲ新ニ栽培スルコトハ之ヲ禁止スルコト但シ既往ニ於テ稻以外ノ作物ノ繼續栽培ノ實績ヲ有スル者ガ其ノ範圍内ニ於テ當該作物ヲ栽培スル場合、早害ノ發生等已ムヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

二、田ニ作付スル西瓜、甜瓜、花卉等ノ不急ナル作物ハ既往ノ實績如何ニ不拘之ヲ制限スルコト
田ニ作付スル蘭、七島蘭、杞柳等ハ當該田ニ之等ヲ作付スルコトニ依リ主作トシテノ稻ノ作付ニ支障アル場合ニ於テハ之等ノ作付ヲ制限スルコト

三、畑作ニ關シテハ果樹、茶樹、桑樹、桐樹、竹等ノ新植ヲ禁止スルコト但シ改植ハ此ノ限ニ在ラザルコト
畑ニ作付スル西瓜、甜瓜、絲瓜、落花生、花卉等ノ不急ナル作物ハ之ヲ制限スルコト

四、前各號ノ場合ニ於テ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ得タル場合ニ於テハ右ノ制限禁止ニ不拘作付ヲ爲スコトヲ得ル

二三 暴利行爲等取締規則

昭和十四年十二月二十六日
商工省令第一號
農林省令第一號
昭和十五年六月二十四日改正
昭和十六年七月十五日改正

第一條 何人ト雖モ暴利ヲ得テ物品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ

何人ト雖モ主務大臣又ハ地方長官ノ指示アリタル場合其ノ他正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外營利ノ目的ヲ以テ又ハ自己ノ業務ニ關シ物品ノ買占又ハ賣借ヲ爲スコトヲ得ズ

何人ト雖モ主務大臣又ハ地方長官ノ指示アリタル場合其ノ他正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外他ノモノヲ併セ又ハ負擔ヲ附シテ物品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ

何人ト雖モ不當ノ報酬ヲ得テ物ノ賣買ノ媒介ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條 物品ノ販賣ヲ爲ス者ハ其ノ價格及左ノ各號ニ掲グル物品ニ付テハ其ノ旨ヲ物品ノ見易キ部分ニ記載シ店頭ニ揭示シ其ノ他容易ニ之ヲ了知シ得ル方法ヲ以テ表示スベシ但シ主務大臣又ハ地方長官ニ於テ特別ノ事情アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品但シ第一號第三號及第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

二 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品ニシテ同令施行規則第三條第一項第二號ニ掲グルモノ

三 價格ニ付價格統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ

同條第二項ノ規定ニ依ル處分アリタル物品

四 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品及同令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル物品但シ第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

五 價格ニ付價格等統制令第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可アリタル物品

前項各號ニ掲グル物品ナル旨ノ表示ハ主務大臣ノ定ムル様式ニ依リ之ヲ爲スベシ

主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ第一項ノ表示ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ價格ノ届出ヲ命ズルコトアルベシ

第三條 主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ物品ノ名稱銘柄、規格品質等級寸法容量、重量若ハ數量ノ表示又ハ之ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトアルベシ

第五條 第一條第一項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ

一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品又ハ同令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル物品ヲ販賣スルトキ

二 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル

書ノ改正規定ハ昭和十六年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

三 暴利行為等取締規則

關係告示 (二種)

◎商工省 農林省 告示第九號

暴利行為等取締規則第二條第二項ノ規定ニ依リ様式左ノ通り定メ昭和十五年七月八日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十五年六月二十四日

商工大臣 藤原銀次郎

農林大臣 島田俊雄

一、價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品(第二號第三號及第五號ニ掲グル物品ヲ除ク)ニ在リテハ價格停止品又ハ

二、價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品ニシテ同令施行規則第三條第一項第二號ニ掲グル物ニアリテハ新製品又ハ

三、價格ニ付價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ許可又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル處分アリタル物品ニ在リテハ協定價格品又ハ

四、價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品及同令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル物品(第五號ニ

ル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品ヲ販賣スルトキ

第五條ノ二 本則ニ於テ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス

第六條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル表示ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ表示ヲ爲シタル者

二 第二條第三項又ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第四條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

第八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前二條ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ行為者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第六條ノ罰金刑又ハ前條ノ科料刑ヲ科ス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ハ本令施行前ニ爲シタル行為ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其効力ヲ有ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二條、第三條及第七條ノ改正規定ハ昭和十五年七月八日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條、第二項及第二條但

掲グル物品ヲ除ク)ニ在リテハ公定價格品又ハ

五 價格ニ付價格等統制令第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可アリタル物品ニアリテハ許可價格品又ハ

◎商工省 農林省 告示第五號

暴利行為等取締規則第二條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通り定メ昭和十六年十二月八日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十六年十一月二十九日

商工大臣 岸 信介

農林大臣 井野 碩哉

物品ノ販賣ヲ爲ス者(第一號ニ掲グル物品ニ付テハ小賣業者ニ限ル)ハ其價格ノ表示ニ際シ左ノ事項ヲ明示スベシ

一 物品稅法第一種物品ニシテ物品稅ヲ課セラルモノニ付テハ其物品稅ノ額及率

二 物品稅法第一條第二種又ハ第三種ノ物品ニシテ物品稅ヲ課セラルモノニ付テ其旨

四 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律

時措置ニ關スル法律

昭和十二年九月十日
法律第九十二號
昭和十三年第八十五號改正
昭和十六年第二十二號改正

第一條 放府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指

定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲
特ニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ
需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ
得

一 命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ原料トスル製品ノ製造
ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限ヲ爲スコト

二 當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又
ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第二條ノ二 前條ノ物品ノ需給ニ關係アル産業ヲ營ム者又ハ其
ノ組織スル團體ハ當該物品ノ需給關係ヲ調整スル爲政府ノ認
可ヲ受ケ需給調整協議會ヲ組織スルコトヲ得

前項ノ者需給調整協議會ヲ組織セザル場合ニ於テ政府支那事
變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ム
ルトキハ前項ノ者ニ對シ需給調整協議會ノ組織ヲ命ズルコト
ヲ得前項ノ規定ニ依リ組織ヲ命ゼラレタル者其ノ認可ヲ申請
セザルトキハ政府ハ規約ノ作成其ノ他組織ニ關シ必要ナル處
分ヲ爲スコトヲ得需給調整協議會ノ成立アリタルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ其ノ會員ト
ス

第二條ノ三 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保ス
ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ需給調整協議會ニ對シ當該
物品ノ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スベキコトヲ
命ジ又ハ需給調整協議會ノ會員ニ對シ需給調整協議會ノ決定

第七條 前五條ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ
他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第四條、第五條又
ハ第六條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其
ノ法人又ハ人ニ對シ亦第四條、第五條又ハ第六條ノ罰金刑ヲ
科ス

第八條 前五條ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主たる事務所ヲ
有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法
施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住
所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法
施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

第九條 本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ
役員又ハ使用人其ノ擔當スル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又
ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ
不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下
ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部
又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第十條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約
束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除
スルコトヲ得

附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六四

ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二條ノ四 本法ニ定ムルモノノ外需給調整協議會及需給調整
協議會ニ依リ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ第二條ノ命令若ハ處
分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲
スコトヲ得

第四條 第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸
出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又
ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル
物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ
得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ
價額ヲ追徴スルコトヲ得

第五條 第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キ
テ爲ス處分ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下
ノ罰金ニ處ス

第五條ノ二 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰
金ヲ併科スルコトヲ得

第六條 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲
シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮
又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ設スル命令ニ依リ
政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲
シタル者亦同ジ

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一五 企業許可令

昭和十六年十二月十日
勅令第千八百四十四號

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依
ル場合ヲ含ム以下同ジ）第十六條ノ規定ニ基キ事業ニ關スル
設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ制限及國家總動員法第十六條ノ
三ノ規定ニ基キ事業ノ開始又ハ委託ニ關スル命令ハ別ニ定ム
ルモノヲ除ク外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ハ國民經濟ノ總力發揮ニ資スル爲企業ノ整備統制
ノ基礎ヲ確立スルコトヲ目的トス

第三條 閣令ヲ以テ指定スル事業（以下指定事業ト稱ス）ヲ開
始セントスル者ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ
重要産業團體令ニ依ル統制會ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ
（以下指定統制會ト稱ス）ノ承認ヲ受クベシ

前項ノ許可又ハ承認ハ工場、事業場、店舗其ノ他ノ事業ヲ行
フ場所（事業ヲ行フ場所一定セザル業態ノ事業ニ付テハ事業
ヲ行フ區域ヲ含ム）毎ニ之ヲ爲ス但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲
シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

行政官廳又ハ指定統制會必要アリト認ムルトキハ第一項ノ許

六五

可又ハ承認ニ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條 指定事業ヲ行フ者其ノ事業ヲ他人ニ委託セントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ指定統制會ノ承認ヲ受クベシ

第五條 相續人が被相續人ノ行フ指定事業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ第三條ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ相續人ハ主務大臣ノ定ムル期間ヲ限リ第三條ノ規定ニ拘ラズ其ノ承繼シタル事業ヲ行フコトヲ得前項ニ掲グル相續人前項ノ期間内ニ第三條ノ許可又ハ承認ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ對スル處分ノ日迄亦前項ニ同ジ

第六條 指定事業ニ屬スル設備ニシテ主務大臣ノ指定スルモノノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可又ハ指定統制會ノ承認ヲ受クベシ

第七條 指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ行フ旨ヲ行政官廳ニ報告スベシ

第八條 指定事業ヲ行フ者其ノ事業ノ全部若ハ一部ヲ廢止シタルトキ又ハ其ノ事業ヲ他人ニ委託シタル場合ニ於テ其ノ委託終了シタルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ閣令

ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ制限若ハ禁止シ又ハ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命スルコトヲ得

第十六條ノ三 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ開始、委託、共同經營、讓渡、廢止若ハ休止又ハ法人ノ目的變更、合併若ハ解散ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

昭和十三年五月四日 公布勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

一六 企業許可令施行規則

一六 企業許可令施行規則

昭和十六年十二月十一日

第一條 企業許可令(以下令ト稱ス)第三條第一項ノ事業(以下指定事業ト稱ス)別表ノ通指定ス

第二條 本令ニ於テ即賣業トハ業トシテ左ニ掲グル者(主務大臣ノ指定スル者ヲ除ク)ニ物資ヲ販賣スル事業ヲ謂フ

- 一 買受ケタル物資ヲ販賣スルコトヲ業トスル者
二 買受ケタル物資ヲ使用シテ物資ノ製造、加工又ハ修理ヲ爲スコトヲ業トスル者

ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ行政官廳ニ報告スベシ

第九條 本令ニ依リ許可又ハ承認ヲ要スベキ事項ニ付他ノ法令ニ依リ行政官廳ノ許可、認可其ノ他ノ處分アリタルトキハ本令ニ依リ許可又ハ承認アリタルモノト看做ス

第十條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ指定事業ヲ行フ者ヨリ其ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十一條 本令中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附 則

本令ハ昭和十六年十二月十三日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 昭和十三年四月一法律第五十五號國家總動員法抄錄 第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅

三 前號ノ外買受ケタル物資ヲ業務用ノ原料又ハ材料トシテ使用スル者 本令ニ於テ小賣業トハ物資ヲ販賣スル事業ニシテ即賣業ニ非ザルモノヲ謂フ

第三條 物資ノ生産、加工又ハ修理ノ事業ヲ行フ者ガ其ノ生産、加工又ハ修理シタル物資ヲ即賣業ヲ行フ者ニ即賣スル場合ニ於テハ當該物資ノ即賣ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ得

別表ニ掲グル一ノ事業ノ範圍ノ全部又ハ一部ガ他ノ事業ノ範圍ニ屬スルトキハ一ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ハ他ノ事業ニ付同條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ得

小賣業ヲ行フ者ガ其ノ小賣スル物資ヲ其ノ事業ニ附帶シ從トシテ即賣スル場合ニ於テハ當該物資ノ即賣ノ事業ニ付令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ得

第四條 令第三條第一項ノ規定ニ依リ主務大臣統制會ヲ指定セントスルトキハ當該統制會ノ承認ヲ受クベキ事業ヲ指定シ統制會ノ名稱ト共ニ之ヲ告示ス

第五條 令第三條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所又ハ區域ヲ管轄スル行政官廳(其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會)ニ提出スベシ

- 一 開始セントスル事業
 - 二 工場、事業場、店舗其ノ他ノ事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域
 - 三 物資ノ生産、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ニ在リテハ其ノ取扱物資ノ種類
 - 四 事業開始ノ豫定期間
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 團體ニ在リテハ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準ズルモノ、財産目録、貸借對照表及損益計算書、個人ニ在リテハ履歴書
 - 二 當該事業以外ノ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書面
 - 三 物資ノ生産、加工、修理、保管又ハ運送ノ事業ニ在リテハ其ノ事業ニ關スル主要設備及其ノ能力ヲ記載シタル書面
 - 第六條 臨時資金調整法第四條ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ受クベキ事項ニ付認可又ハ許可ヲ受クル場合ニ於テハ令第三條ノ許可又ハ承認ハ之ヲ受クルコトヲ要セズ
 - 第七條 令第四條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ委託者ノ事業ヲ行フ場所(事業ヲ行フ場所一定セザル業態ノ事業ニ付テハ事業ヲ行フ區域ヲ含ム)第八條、第十一條、第十三條又ハ第十七條ニ於テ以下同ジ)ヲ管轄スル行政官廳(其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會)ニ提出スベシ
 - 一 委託セントスル事業ノ範圍

- 二 委託ノ豫定期間及期間
 - 三 委託セントスル事由
 - 四 委託者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 委託者ノ行フ事業ノ概要ヲ記載シタル書面
 - 二 團體タル受託者ニ在リテハ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準ズルモノ、財産目録、貸借對照表及損益計算書、個人タル受託者ニ在リテハ履歴書
 - 第一項ノ申請書ハ受託者ノ連署ヲ要ス
 - 第八條 相續人が被相續人ノ行フ指定事業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ相續ノ事實ヲ知リタル日ヨリ六十日以内ニ相續アリタルコトヲ證スル書面ヲ添付シ其ノ旨ノ報告書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スベシ
 - 第九條 令第六條ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該設備ノ屬スル事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳(其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該統制會)ニ提出スベシ
 - 一 新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル設備及其ノ能力
 - 二 新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル設備ニ依リ生産、加工、修理又ハ保管ヲ爲スベキ物資ノ種類
 - 三 工事ノ著手及完成ノ豫定期間
 - 四 設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル事由
 - 第十條 事業ニ關スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ付臨時資金調整法第四條ノ二ノ規定ニ依リ許可ヲ受クル場合及同條但書

- ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルコトヲ要セザル場合ニ於テハ令第六條ノ許可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要セズ
- 第十一條 指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人ハ其ノ指定アリタル日ヨリ六十日以内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ其ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スベシ
 - 一 現ニ行フ事業
 - 二 工場、事業場、店舗其ノ他ノ事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域
 - 三 物資ノ生産、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ニ在リテハ其ノ取扱物資ノ種類
 - 四 當該事業ヲ開始シタル時期
 - 第十二條 指定事業ヲ行フ者其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル報告書ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付シ遲滞ナク之ヲ廢止シタル事業ヲ行ヒタル場所(事業ヲ行フ場所一定セザル業態ノ事業ニ付テハ事業ヲ行ヒタル區域ヲ含ム)ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スベシ
 - 第十三條 指定事業ヲ行フ者其ノ事業ヲ他人ニ委託シタル場合ニ於テ其ノ委託終了シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ記載シタル報告書ヲ委託者ノ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スベシ
 - 第十四條 指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者又ハ其ノ相續人第十一條ニ掲グル期間内ニ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル事業ニ付テハ同條ノ

- 至前條ノ報告書ハ之ヲ提出スルコトヲ要セズ
- 第十五條 令第九條第二項ノ規定ニ依リ法令ヲ定ムルコト左ノ如シ
 - 藥品營業並藥品取扱規則第二十一條
 - 賣藥法施行規則第十三條第二項
 - 第十六條 令第十條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル
 - 第十七條 本令ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ書類ハ事業ヲ行フ場所ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)ヲ經由スベシ但シ主務大臣別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
 - 第十八條 本令ニ依リ行政官廳ニ提出スベキ報告書ハ其ノ事業ニ付指定統制會アルトキハ當該指定統制會ヲ經由スベシ
 - 第十九條 令及本令ニ於テ行政官廳トアルハ別表指定事業ノ欄ニ掲グル事業ニ付各同表所管行政官廳ノ欄ニ掲グルモノトス
 - 第二十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書又ハ報告書ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
 - 第二十一條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外令及本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム
- 附 則
- 本令ハ企業許可令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

分類	事業	指定事業 (備考ニ掲グル事業ヲ除ク)	業	所管行政官廳
一 礦業	石炭鑛業 (試掘ヲ除ク)		商	工大臣
二 工業 (1) 金屬工業	一 輕金屬板製造業		商	工大臣
	二 輕金屬管製造業		商	工大臣
	三 輕金屬線製造業		商	工大臣
	四 輕金屬棒製造業		商	工大臣
	五 輕金屬條製造業		商	工大臣
	六 輕金屬箔製造業		商	工大臣
	七 輕金屬粉製造業		商	工大臣
	八 輕金屬再生業		商	工大臣
	九 輕金屬板製品製造業		商	工大臣
	一〇 輕金屬鑄物業 (航空機製造事業法ノ適用アルモノヲ除ク)		商	工大臣
	一一 非鐵金屬 (輕金屬ヲ除ク) 鑄物業		商	工大臣
	一二 非鐵金屬ダイ鑄物業 (航空機製造事業法ノ適用アルモノヲ除ク)		商	工大臣
	一三 輕金屬酸化皮膜加工業		商	工大臣
	一四 輕合金製造業 (航空機製造事業法ノ適用アルモノヲ除ク)		商	工大臣
	一五 銅又ハ銅合金ノ板ノ製造業		商	工大臣

一六 銅又ハ銅合金ノ管ノ製造業	商	工大臣
一七 銅又ハ銅合金ノ線ノ製造業	商	工大臣
一八 銅又ハ銅合金ノ棒ノ製造業	商	工大臣
一九 銅又ハ銅合金ノ條ノ製造業	商	工大臣
二〇 鉛板製造業	商	工大臣
二一 鉛管製造業	商	工大臣
二二 鉛線製造業	商	工大臣
二三 鉛條製造業	商	工大臣
二四 硬鉛バルブ製造業	商	工大臣
二五 鉛再生業 (鉛製鍊業ヲ行フ者ノ行フモノヲ除ク)	商	工大臣
二六 亞鉛板製造業	商	工大臣
二七 亞鉛末製造業	商	工大臣
二八 亞鉛再生業 (亞鉛製鍊業ヲ行フ者ノ行フモノヲ除ク)	商	工大臣
二九 プリキ屑電解業	商	工大臣
三〇 錫再生業 (錫製鍊業ヲ行フ者ノ行フ錫再生業及プリキ屑電解業ヲ除ク)	商	工大臣
三一 ハンダ製造業	商	工大臣
三二 減摩合金製造業	商	工大臣
三三 活版地金製造業	商	工大臣
三四 活字製造業	商	工大臣
三五 釘製造業	商	工大臣
三六 蹄釘製造業	商	工大臣
三七 針金製造業	商	工大臣
三八 鐵線製造業	商	工大臣

- 三九 鑄接棒（被覆熔接棒ヲ含ム）製造業
- 四〇 鋼索製造業
- 四一 亞鉛鐵板製造業
- 四二 プリキ製造業
- 四三 王冠製造業
- 四四 シヤベル又ハスコツブノ製造業
- 四五 ツルハシ又ハハンマーノ製造業
- 四六 鐵製サツシユ製造業
- 四七 粉砕用ボール製造業
- 四八 硬鋼線製造業
- 四九 鉄線釘製造業
- 五〇 五ガロン罐製造業
- 五一 ドラム罐製造業
- 五二 食料品罐詰用空罐製造業
- 五三 プリキ罐（五ガロン罐及食料品罐詰用空罐ヲ除ク）製造業
- 五四 ビアノ線製造業
- 五五 電氣抵抗線又ハ電氣抵抗帶ノ製造業（電氣用品取締規則ノ適用アルモノヲ除ク）
- 五六 磨練鋼製造業
- 五七 磨練鋼製造業
- 五八 磨練鋼製造業
- 五九 金屬モリブデン製造業
- 六〇 金屬タンダステン製造業
- 六一 ニツケル製造業

商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商
 工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大
 臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣

(2) 機械器具工業

- 六二 コバルト製造業
- 六三 金屬シリコン製造業
- 六四 金屬マンガン製造業
- 六五 超硬質合金製造業
- 六六 金屬クロム製造業
- 六七 カルシウムシリサイド製造業
- 六八 ニツケル合金製造業
- 六九 金屬メッキ業
- 七〇 石油代用燃料使用装置製造業（造船事業法ノ適用アルモノヲ除ク）
- 七一 石油代用燃料使用装置取附業（造船事業法ノ適用アルモノヲ除ク）
- 七二 石油代用燃料使用装置修理業

商商商商商商商商商商商商
 工工工工工工工工工工工工
 大大大大大大大大大大大大
 臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣

(3) 化學工業

- 七三 試驗用藥品製造業
- 七四 工業用藥品（鹽專賣法、アルコール專賣法又ハ酒税法ノ適用アルモノ並ニプロム及否汁カリ鹽ヲ除ク）製造業
- 七五 醫藥品（鹽專賣法、アルコール專賣法、酒税法、阿片法、賣藥法、痘苗及血清其他細菌學的豫防治療品製造取締規則又ハ麻藥取締規則ニ適用アルモノ及醫藥品及衛生材料生産配給統制規則第二條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル醫藥品ヲ除ク）製造業
- 七六 人造研磨材製造業
- 七七 酸化コバルト製造業
- 七八 漆精製業
- 七九 製革業（革再生業ヲ含ム）
- 八〇 ゴム製品製造業（ゴム製品加工業ヲ含ム）

厚 商 商 地 商 商
 生 工 工 方 方 工
 大
 臣

- 八一 ゴム再生業
- 八二 糖革製造業
- 八三 鞣劑製造業
- 八四 塗料製造業
- 八五 石鹼製造業
- 八六 蠟燭製造業
- 八七 セルロイド生地製造業
- 八八 セルロイド生地再生業
- 八九 セルロイド製品製造業
- 九〇 ゼラチン(寫眞用ゼラチンヲ除ク)製造業
- 九一 硬化油製造業
- 九二 蠟燭製造業
- 九三 蠟燭製品(蠟燭ヲ除ク)製造業
- 九四 油脂製品(脂肪酸ヲ含ミ石鹼及蠟燭ヲ除ク)製造業
- 九五 香料製造業
- 九六 大豆グルー製造業
- 九七 大豆カゼイン製造業
- 九八 カゼイン纖維製造業
- 九九 ミルクカゼイン製造業
- 一〇〇 高級アルコール製造業(有機合成事業法ノ適用アルモノヲ除ク)
- 一〇一 高級アルコール製品製造業(有機合成事業法ノ適用アルモノヲ除ク)
- 一〇二 エステルゴム製造業
- 一〇三 膠製造業

商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商商
 工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大
 臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣臣

- 一〇四 寫眞感光材料製造業
- 一〇五 寫眞用ゼラチン製造業
- 一〇六 合成染料製造業
- 一〇七 タール系中間物製造業
- 一〇八 合成樹脂製造業
- 一〇九 合成樹脂加工業
- 一一〇 防蟲劑(粗製樟腦、樟腦油專賣法又ハ賣薬部外品取締規則ノ適用アルモノヲ除ク)製造業
- 一一一 防臭劑(粗製樟腦、樟腦油專賣法ノ適用アルモノヲ除ク)製造業
- 一一二 カーバイド製造業
- 一一三 化粧品類(賣薬部外品取締規則ノ適用アルモノヲ除ク)製造業
- 一一四 齒磨(賣薬部外品取締規則ノ適用アルモノヲ除ク)製造業
- 一一五 顔料製造業
- 一一六 浮游選礦劑製造業
- 一一七 活性炭製造業
- 一一八 人造石油製造業(人造石油製造事業法ノ適用アルモノヲ除ク)
- 一一九 黒鉛製鍊業
- 一二〇 ピッチコークス製造業
- 一二一 電極製造業
- 一二二 電氣刷子製造業
- 一二三 炭素棒製造業
- 一二四 黒鉛坩堝製造業
- 一二五 鉛丹製造業
- 一二六 亞鉛華製造業

商商地商商商商地商商地地地地商商地地地商商商商
 工工方工工工方工工方方方方方工工方方方工工工工
 大大長大大長大大長長長長長大大長長長長大大大大
 臣臣官臣臣臣官臣臣官官官官官官官官官官官官官官

⑧ 其ノ他ノ工業

① 三商 業
衣料品類販賣業

- 一九一 孵卵業（孵卵器ヲ使用スルモノニ限ル）
- 一九二 冷凍冷蔵業（倉庫營業ヲ除ク）
- 一九三 飼料製造業
- 一九四 漆器製造業
- 一九五 革製品製造業
- 一九六 塗裝業
- 一九七 履物（革製品及ゴム製品ヲ除ク）製造業
- 一九八 鉛筆製造業
- 一九九 蓄音機レコード製造業
- 二〇〇 和傘製造業
- 二〇一 洋傘製造業
- 二〇二 土木建築工事請負業
- 二〇三 印刷業又ハ製本業
- 一 絲、針、釦等裁縫用手藝用品小賣業
- 二 綿（真綿ヲ含ム）及履具類小賣業
- 三 吳服織物和裝既成品小賣業
- 四 男子註文服仕立小賣業
- 五 婦人子供註文服仕立小賣業
- 六 洋服生地小賣業
- 七 婦人子供既成服小賣業

農農農 農農農 農農農 農農農 農農農 農農農
 地地地 地地地 地地地 地地地 地地地 地地地
 方方方 方方方 方方方 方方方 方方方 方方方
 長長長 長長長 長長長 長長長 長長長 長長長
 官官官 官官官 官官官 官官官 官官官 官官官

- 一六八 飴（水飴ヲ除ク）製造業
- 一六九 水飴製造業
- 一七〇 佃煮製造業
- 一七一 煮豆製造業
- 一七二 煎豆製造業
- 一七三 穀粉（小麥粉ヲ除ク）製造業
- 一七四 漬物製造業
- 一七五 納豆製造業
- 一七六 豆腐製造業
- 一七七 凍豆腐製造業
- 一七八 罐詰食品製造業（輸出水産物罐詰製造業許可規則又ハ酪農業調整法第五條ノ規定ノ適用アルモノヲ除ク）
- 一七九 嗜好飲料（コーヒー、ココア、果汁、乳酸飲料等）製造業
- 一八〇 製茶業（荒茶製造業ヲ除ク）
- 一八一 食料魚粉（フリカケ食ヲ含ム）製造業
- 一八二 菌蕈製造業
- 一八三 湯藥製造業
- 一八四 カラメル製造業
- 一八五 膠金粉製造業
- 一八六 チーズ製造業
- 一八七 アイスクリーム製造業
- 一八八 食料用水産物加工業（罐詰食品製造業及佃煮製造業ヲ除ク）
- 一八九 食肉加工業（罐詰食品製造業ヲ除ク）
- 一九〇 卵製品（冷凍卵、粉卵、ヨークチーズ、マヨネーズ等）製造業

農農農 農農農 農農農 農農農 農農農 農農農
 地地地 地地地 地地地 地地地 地地地 地地地
 方方方 方方方 方方方 方方方 方方方 方方方
 長長長 長長長 長長長 長長長 長長長 長長長
 官官官 官官官 官官官 官官官 官官官 官官官

一七 酒稅等ノ増徴ニ關スル

法律(法律第八十八號) 昭和十六年十一月二十二日

第一條 酒稅法中左ノ通改正ス

第二十七條 各酒類ニ課スベキ酒稅及其ノ稅率左ノ如シ

一 清 酒 造石稅 一石ニ付 四拾五圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアルコール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ五圓五拾錢ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 五拾五圓

二 合成清酒 造石稅 一石ニ付 四拾八圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアルコール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ五圓七拾錢ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 五拾五圓

三 濁 酒 造石稅 一石ニ付 四拾五圓

庫出稅 一石ニ付 拾 五圓

四 白 酒 造石稅 一石ニ付 四拾五圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアルコール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ六圓ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 六拾五圓

五 味 淋 造石稅 一石ニ付 四拾五圓

アルコール分二十八度ヲ超ユルトキハアルコール分二十八度ヲ超ユル一度毎ニ四圓四拾錢ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 六拾五圓

六 燒 酎

第一種 アルコール分四十五度ヲ超エザルモノ

甲 連續式蒸餾機ニ依リ製造シタルモノ 造石稅 一石ニ付 四拾八圓

アルコール分三十度ヲ超ユルトキハアルコール分三十度ヲ超ユル一度毎ニ參圓八拾錢ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 五拾五圓

乙 其ノ他ノモノ 造石稅 一石ニ付 四拾五圓

アルコール分三十度ヲ超ユルトキハアルコール分三十度ヲ超ユル一度毎ニ參圓七拾錢ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 五拾五圓

第二種 アルコール分四十五度ヲ超ユルモノ

造石稅 一石ニ付 貳百拾五圓

ニアルコール分四十五度ヲ超ユル一度毎ニ六圓ヲ加ヘタル金額 庫出稅 一石ニ付 五拾五圓

七 麥 酒 庫出稅 一石ニ付 八拾七圓八拾錢

八 果實酒 庫出稅 一石ニ付 五拾圓

九 雜 酒 造石稅 一石ニ付 五拾圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアルコール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ六圓ヲ加フ

庫出稅 一石ニ付 七拾圓

第二十七條ノ二 命令ヲ以テ定ムル清酒、味淋、果實酒及雜酒

ノ酒類庫出稅ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル價格ニ左ノ割合ヲ乘ジテ算出シタル金額ヲ前條ノ規定ニ依ル酒類庫出稅額ニ加算ス

一 清酒、味淋及果實酒 百分ノ二十

二 雜 酒 百分ノ三十

第三十五條第一項及第二項中「(濁酒ヲ除ク)」ヲ削リ同條第一項及第三項中「石數」ノ下ニ「(第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ニ付テハ數量及價格)」ヲ加フ

第五十一條第二項及第六十四條第三項中「酒類造石稅」ノ下ニ「及酒類庫出稅」ヲ加フ

第六十八條第二項中「第二十七條ノ稅率ニ依リ」ヲ「第二十七條及第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ」ニ改ム

第八十三條第一項第二號中「貳拾圓」ヲ「四拾圓」ニ改ム

第八十四條第一項中「貳圓拾錢」ヲ「參圓貳拾錢」ニ、「百壹圓」ヲ「百六拾壹圓」ニ、「貳圓八拾錢」ヲ「四圓八拾錢」ニ改ム

第二條 清涼飲料稅法中左ノ通改正ス

第二條中「八圓五拾錢」ヲ「拾貳圓」ニ、「貳拾圓」ヲ「參拾圓」ニ、「六圓」ヲ「拾壹圓」ニ改ム

第三條 砂糖消費稅法中左ノ通改正ス

第一條中「糖水」ノ下ニ「(甘蔗又ハ甜菜ヲ原料トシテ製造シタル糖汁ヲ含ム)」ヲ加フ

第三條 消費稅ノ稅率左ノ如シ

一 砂 糖

第一種 分蜜セサル砂糖

甲 糖入黒糖及糖入白下糖但シ黒糖及白下糖以外ノ砂糖ニ加工シテ製造シタルモノ並ニ全部又ハ一部ノ新式機械ニ依リ製造シタルモノヲ除ク 百斤ニ付 五圓

乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 七圓參拾錢

第二種 其ノ他ノ砂糖但シ氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノヲ除ク

甲 蔗糖ノ重量全重量ノ百分ノ八十六ヲ超エサルモノ 百斤ニ付 八圓

乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 拾貳圓

第三種 氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノ

甲 氷 砂糖 百斤ニ付 拾五圓

消費稅ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタルモノニ在リテハ百斤ニ付貳圓

乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 拾六圓

消費稅ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタルモノニ在リテハ百斤ニ付四圓

二 糖 蜜

第一種 氷砂糖ヲ製造スルトキニ生スル糖蜜 百斤ニ付 八圓

第二種 其ノ他ノ糖蜜 百斤ニ付 四圓五拾錢

三 糖 水 百斤ニ付 拾圓

第四條 物品稅法中左ノ通改正ス

第一條第一項第一種第十四號中「トランク」ノ下ニ「鏡」並ニ「行李」ヲ、同種第十八號中「玩具」ノ下ニ「遊戲具、搖籃及乳母車類」ヲ加ヘ同種第十五號中「靴及」ヲ削ル
同種ニ左ノ如ク加フ

三十二 庭木並ニ庭園用ノ石材及石工品

三十三 簾、釣燈籠及提灯類

三十四 鐵瓶並ニ茶道及香道用具

三十五 扇子及團扇

三十六 花輪及花束類

三十七 釣用具類

丙類

三十八 靴

三十九 事務用器具

同項第二種第十七號中「受信用真空管、」ノ下ニ「マイクロホン、」ヲ、同種第二十三號中「紅茶、」ノ下ニ「烏龍茶、包種茶、」ヲ加フ
同種ニ左ノ如ク加フ

二十五 煙火類

二十六 薰物及線香類

二十七 大理石及之ヲ原料トスル擬石並ニ陶磁器製タイ

丙類

二十八 電球類

二十九 携行用ノ電燈、同ケース及電池

三十 魔法板、水筒類及同部分品

三十一 計算機

三十二 タイプライター、同部分品及附屬品

三十三 輪轉寫機及同附屬品

三十四 金錢登錄機

三十五 タイムスタンブ及同附屬品

三十六 ミシン及ミシン用針

三十七 板硝子

三十八 紙及セロファン

三十九 齒磨

四十 綠茶

四十一 調味料

同項第三種ニ左ノ一號ヲ加フ

三 サツカリ

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

同一物品ニシテ第一種及第二種ニ該當スルモノハ之ヲ第一種トシ甲類及乙類若ハ甲類及丙類又ハ甲類、乙類及丙類ニ該當スルモノハ之ヲ甲類トシ乙類及丙類ニ該當スルモノハ之ヲ乙類トス

第二條 物品稅ノ稅率左ノ如シ

第一種

甲 類 物品ノ價格百分ノ五十

乙 類 物品ノ價格百分ノ二十

第五條ノ規定ニ依ル場合ニ在リテハ百分ノ三十

丙 類 物品ノ價格百分ノ十

第二種

甲 類 物品ノ價格百分ノ五十

乙 類 物品ノ價格百分ノ二十

丙 類 物品ノ價格百分ノ十

第三種

一 罎 寸 千本ニ付 五 錢

二 貽、葡萄酒及麥芽糖 百斤ニ付 貳圓五拾錢

イ 麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル貽

ロ 其ノ他ノ貽並ニ葡萄酒及麥芽糖 百斤ニ付 參 圓

三 サツカリ 一罎ニ付 拾 圓

第五條 第一種第十六號ニ掲グル物品ガ入札其ノ他競爭ノ方法ニ依リ賣買セラル、場合(強制賣買又ハ之ニ準ズベキ場合ヲ除ク)ハ其ノ札元又ハ之ニ準ズベキ者ガ小賣業者トシテ當該物品ヲ販賣スルモノト看做ス

第六條中「又ハ嗜好飲料」ヲ「嗜好飲料、薰物類、線香類、齒磨又ハ調味料」ニ改ム

第五條 遊興飲食稅法中左ノ通改正ス

第一條中「及飲食」ヲ「飲食及宿泊」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場所以外ノ場所ニ於テ飲食スル場合ニ於テ其ノ飲食物ガ料理店又ハ旅館ヨリ供給ヲ受タルモノナルトキハ其ノ

飲食ハ之ヲ料理店又ハ旅館ニ於ケル飲食ト看做ス

第二條 遊興飲食稅ノ稅率左ノ如シ

一 藝妓ノ花代 料金ノ百分ノ百

二 藝妓ノ花代ニ類スル料金ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ(以下其ノ他ノ花代ト稱ス) 料金ノ百分ノ五十

三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金但シ藝妓ノ花代及其ノ他ノ花代ヲ除ク 料金ノ百分ノ三十

四 命令ヲ以テ定ムル料理店ニ於ケル遊興飲食ノ料金但シ藝妓ノ花代其ノ他ノ花代ヲ除ク 料金ノ百分ノ三十

五 前各號以外ノ遊興飲食ノ料金 料金ノ百分ノ二十

イ 一人一回參圓ニ滿タザルモノ 料金ノ百分ノ二十

ロ 一人一回參圓以上ノモノ 料金ノ百分ノ三十

六 旅館ニ於ケル宿泊ノ料金 料金ノ百分ノ二十

イ 一人一泊拾圓ニ滿タザルモノ 料金ノ百分ノ二十

ロ 一人一泊拾圓以上ノモノ 料金ノ百分ノ三十

前項ノ遊興飲食又ハ宿泊ノ料金ハ前條ニ規定スル場所ノ經營者ガ遊興、飲食又ハ宿泊ヲ爲シタル者ヨリ其ノ遊興、飲食又ハ宿泊ニ付領收スベキ金額ヲ謂フ

遊興飲食又ハ宿泊ノ料金ノ算定ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 遊興飲食ノ料金ガ一人一回壹圓五拾錢ニ滿タザル場合及旅館ニ於ケル宿泊ノ料金ガ一人一泊五圓ニ滿タザル場合ニハ遊興飲食稅ヲ課セズ但シ左ニ掲グル遊興飲食ノ料金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 藝妓ノ花代
- 二 其ノ他ノ花代
- 三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金
- 四 命令ヲ以テ定ムル料理店ニ於ケル遊興飲食ノ料金
- 三條ノ二 前二條ノ一人一回ノ遊興飲食ノ料金及一人一泊ノ宿泊ノ料金ノ計算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 五條及第七條中「遊興飲食料金」ヲ「遊興飲食又ハ宿泊ノ料金」ニ改ム

第六條 通行稅法中左ノ通改正ス

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

- 通行稅ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ課ス
- 乗車船區間四十軒以下ナルトキ
 - 一 等 二 等 三 等
 - 參 拾 錢 拾 五 錢 一
- 乗車船區間八十軒以下ナルトキ
 - 五 拾 錢 貳 拾 五 錢 五 錢
- 乗車船區間百二十軒以下ナルトキ
 - 壹 圓 五 拾 錢 七 拾 五 錢 拾 五 錢
- 乗車船區間百六十軒以下ナルトキ
 - 參 圓 壹 圓 五 拾 錢 參 拾 錢
- 乗車船區間三百軒以下ナルトキ
 - 五 圓 貳 圓 五 拾 錢 五 拾 錢
- 乗車船區間五百軒以下ナルトキ
 - 七 圓 參 圓 五 拾 錢 七 拾 錢

乗車船區間五百軒ヲ超ユルトキ

- 拾 圓 五 圓 壹 圓

同條第五項ヲ左ノ如ク改ム
貸切乗車船ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ課ス

- 一 等 貸切運賃ノ百分ノ二十
- 二 等 貸切運賃ノ百分ノ十五
- 三 等 貸切運賃ノ百分ノ十

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

急行車船又ハ寢臺車船ニ乗車船ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ稅率ニ依リ通行稅ヲ課ス

- 一 等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ三十
- 二 等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ二十
- 三 等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ十
- 第四條中「三等乗客」ノ下ニ「及定期乗車船ノ契約ニ依ル三等乗客」ヲ加フ
- 第八條中「又ハ急行料金」ヲ「急行料金又ハ寢臺料金」ニ改ム

第七條 入場稅法中左ノ通改正ス

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

- 入場稅ノ稅率左ノ如シ
- 第一種ノ場所
 - 入場料ガ一人一回五拾錢未滿ナルトキ 入場料ノ百分ノ二十

四 旅館ノ用ニ供スル家屋

五 撞球場、麻雀場其ノ他命令ヲ以テ定ムル遊技場ノ用ニ供スル家屋

六 俱樂部、會館其ノ他名稱ノ何タルヲ問ハズ會員其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ親睦ヲ圖リ又ハ其ノ慰安若ハ娛樂ノ用ニ供スル家屋

第四條中「百分ノ十」ヲ「百分ノ二十」ニ改ム

第九條 骨牌稅法中左ノ通改正ス

第四條中「五圓」ヲ「十圓」ニ、「七拾錢」ヲ「壹圓五拾錢」ニ改ム

第十條 印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條第一項第六號中「參錢」ヲ「五錢」ニ、「拾錢」ヲ「貳拾錢」ニ、「參拾錢」ヲ「六拾錢」ニ、「六拾錢」ヲ「壹圓貳拾錢」ニ、「九拾錢」ヲ「壹圓八拾錢」ニ、「壹圓五拾錢」ヲ「參圓」ニ、「參圓」ヲ「六圓」ニ改ム

第十一條 地方分與稅法中左ノ通改正ス

第二條第二項及第六條第一項中「百分ノ五十」ヲ「百分ノ十五・一八」ニ改ム

第四十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條第二項中百分ノ十五・一八トアルハ昭和十六年度ニ於テハ百分ノ二十九・三五トス

第四十八條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六條第一項中百分ノ十五・一八トアルハ昭和十七年度分ニ付テハ百分ノ五十、昭和十八年度分ニ付テハ百分ノ二十

第八條 建築稅法中左ノ通改正ス
第一條ニ左ノ三號ヲ加フ

- 特別入場料ガ一人一回壹圓以上ナルトキ
- 特別入場料ノ百分ノ二十
- 回数、定期又ハ貸切ニテ入場ノ契約ヲ爲シタルトキ
- 特別入場料ノ百分ノ三十

第二種ノ場所

- 撞球場、スケート場 入場料ノ百分ノ二十
- 麻雀場 入場料ノ百分ノ三十
- 舞踏場、ゴルフ場 入場料ノ百分ノ五十

第十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

特別入場稅ノ稅率左ノ如シ

特別入場料ガ一人一回壹圓未滿ナルトキ

特別入場料ノ百分ノ二十

特別入場料ノ百分ノ三十

第一條 本法ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ規定施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 酒類ノ製造者又ハ販賣業者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ各種類ヲ通シ合計五石以上ノ酒類ヲ所持スル場合及其ノ所持スル酒類ガ合計五石ニ滿タザルモ酒稅法第二十七條ノ二ノ改正規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ガ合計一石以上ナル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ其ノ所持スル酒類ニ對シ酒類庫出稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ酒類ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ濁酒ニ付テハ一石ニ付十五圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額、其ノ他ノ酒類ニ付テハ酒稅法第二十七條ノ改正稅率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ稅率ニ依リ算出シタル金額トノ差額ヲ以テ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收ス但シ同法第二十七條ノ二ノ改正規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ニ付テハ同條ニ規定スル價格ニ同條ニ規定スル割合ヲ乘ジテ算出シタル金額ヲ本文ノ規定ニ依リ算出シタル酒類庫出稅額ニ加算シタルモノヲ以テ其ノ稅額トス

東京府小笠原島及伊豆七島ニ於テ製造シタル清酒及燒酎ニ付前項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ一石ニ付貳拾圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ稅額トス

第一項ノ製造者又ハ販賣業者ハ其ノ所持スル酒類ノ種類毎ニ

數量、價格及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第三條 本法施行ノ際製造場ニ現存スル酒類ニシテ戻入又ハ移出シタルモノニ付テハ酒稅法第三十八條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一項後段及第二項ニ規定スル稅額ヲ以テ其ノ稅額トス

第四條 本法施行ノ際製造場以外ノ場所ニ於テ同一人ガ五石以上ノ第二種ノ清涼飲料ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ清涼飲料稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ清涼飲料ヲ製造場外ニ移出シタルモノト看做シ一石ニ付拾圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額ヲ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ清涼飲料ノ所持者ハ其ノ所持スル清涼飲料ノ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第五條 改正前ノ稅率ニ依リ消費稅ヲ課セラレタル砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ原料トシテ製造シタル砂糖(第三種ノ砂糖ヲ除ク)、糖蜜又ハ糖水ニシテ本法施行後製造場ヨリ引取ラル、モノニ付テハ砂糖消費稅法第十二條ノ規定ニ拘ラズ砂糖消費稅ヲ徵收ス此ノ場合ニ於テハ同法第三條ノ改正稅率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ稅率ニ依リ算出シタル金額トノ差額ヲ以テ其ノ稅額トス改正前ノ稅率ニ依リ消費稅ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタル第三種ノ砂糖ニシテ本法施行後製造場ヨリ引取ラル、モノニ付テハ改正後ノ砂糖消費稅

法第三條ニ規定スル氷砂糖ノ稅率百斤ニ付貳圓ハ之ヲ百斤ニ付四圓トシ其ノ他ノモノ、稅率百斤ニ付四圓ハ之ヲ百斤ニ付六圓トス

第六條 本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ同一人ガ各種類ヲ通シ合計一萬斤以上ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ者ガ本法施行ノ日ニ於テ之ヲ製造場ヨリ引取リタルモノト看做シ砂糖消費稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ砂糖消費稅法第三條ノ改正稅率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ稅率ニ依リ算出シタル金額トノ差額(第三種ノ砂糖ニ在リテハ氷砂糖百斤ニ付貳圓五拾錢、其ノ他ノモノハ百斤ニ付參圓五拾錢ノ割合ニ依リ算出シタル金額)ヲ以テ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ所持者ハ其ノ所持スル砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ種別、數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第七條 本法施行前ヨリ引續キ物品稅法第一條ノ改正規定ニ依リ物品稅ヲ課スルコト、爲リタル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營ム者又ハ同第二種ノ物品若ハサツカリノ製造ヲ爲ス者ガ本法施行後一月以内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ニ於テ物品稅法第十五條ノ規定ニ依リ申告シタルモノト看做ス

第八條 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品又ハ飴、葡萄糖、麥芽糖若ハサツカリノ製造者又ハ販賣者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ

一 該當スル物品ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ之ニ物品稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ從前ノ規定ニ依リ物品稅ヲ課セラレタル物品ニ付テハ其ノ課セラレタル稅額ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額ヲ以テ其ノ稅額トス

一 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品ニシテ同條各號ニ掲グル品名毎ニ價格貳千圓以上ノモノ

二 飴、葡萄糖又ハ麥芽糖ニシテ合計一萬斤以上ノモノ

三 三十斤以上ノサツカリ

前項ノ製造者又ハ販賣者ハ同項第一號ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所、第二號ノ物品又ハサツカリニ付テハ其ノ品名毎ニ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第九條 改正後ノ建築稅法第一條第四號乃至第六號及第四條ノ規定ハ本法施行後竣成スル家屋ノ建築ニ付之ヲ適用ス

本法施行前新築竣成シタル建築稅法第一條第一號乃至第三號ニ掲グル家屋ニシテ建築價額壹萬圓未滿ノモノニ關シ同法第三條第一項ノ規定ニ依リ建築稅ヲ課スル場合ニ於テハ前ノ建築價額ヨリ五千圓ヲ控除シタル金額ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ其ノ建築稅額ヨリ控除ス

本法施行前新築竣成シタル建築稅法第一條第一號乃至第三號ニ掲グル家屋ニシテ建築價額壹萬圓以上ノモノニ關シ同法第

三條ノ規定ニ依リ建築税ヲ課スル場合ニ於テハ従前ノ規定ニ依リ課セラレタル建築税額ノ二倍ニ相當スル金額ヲ其ノ建築税額ヨリ控除ス

建築税法第三條ノ規定ハ改正後ノ同法第一條第四號乃至第六號ニ掲グル家屋ノ新築ガ本法施行前竣成シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十條 本法施行ノ際骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ノ所持ニ係ル骨牌ニハ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ニ於テ骨牌税法第四條ノ改正規定ニ依ル税額ト従前ノ規定ニ依ル税額トノ差額ニ相當スル印紙ヲ増貼スベシ

二 物品税法

(昭和十五年三月二十九日法律第四十號
昭和十六年十一月二十一日法律第八十八號改正)

第一條 左ニ掲グル物品ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニハ本法ニ依リ物品税ヲ課ス

第一種

- 甲 類
 - 一 貴石若ハ半貴石又ハ之ヲ用ヒタル製品
 - 二 眞珠又ハ眞珠ヲ用ヒタル製品
 - 三 貴金屬製品又ハ金若ハ白金ヲ用ヒタル製品
 - 四 龍甲製品
 - 五 珊瑚製品、琥珀製品、象牙製品及七寶製品

- 六 毛皮又ハ毛皮製品
- 七 羽毛製品又ハ羽毛ヲ用ヒタル製品
- 乙 類
 - 八 時計
 - 九 身邊用細貨類
 - 十 化粧用具
 - 十一 喫煙用具
 - 十二 帽子、杖、鞭及傘
 - 十三 靴及トランク類並ニ行李
 - 十四 履物
 - 十五 書畫及骨董
 - 十六 室内裝飾用品
 - 十七 玩具、遊戲具、搖籠及乳母車類
 - 十八 運動具
 - 十九 照明器具
 - 二十 電氣器具及瓦斯器具
 - 二十一 圍碁及將棋用具
 - 二十二 家具
 - 二十三 漆器、陶磁器及硝子製器具ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ
 - 二十四 貴金屬ヲ鍍シ又ハ張りタル製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ
 - 二十五 皮革製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ
 - 二十六 織物、メリヤス、レース、フェルト及同製品並ニ組物

- 二十七 果物
- 二十八 菓子
- 二十九 盆栽、盆石及鉢植類
- 三十 愛玩動物及同用品
- 三十一 庭木並ニ庭園用ノ石材及石工品
- 三十二 籐、釣燈籠及提灯類
- 三十三 鐵板並ニ茶道及香道用具
- 三十四 扇子及團扇
- 三十五 花輪及花束類
- 三十六 釣用具類

丙 類

- 三十七 靴
- 三十八 事務用器具

第二種

- 甲 類
 - 一 寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及附屬品
 - 二 寫眞用ノ乾板、フィルム及感光紙
 - 三 蓄音器及同部分品
 - 四 蓄音器用レコード
 - 五 樂器、同部分品及附屬品
 - 六 雙眼鏡及雙眼鏡
 - 七 銃及同部分品
 - 八 藥莖及彈丸
 - 九 ゴルフ用具、同部分品及附屬品

乙 類

- 十 娛樂用ノモーターボート、スカトル及ヨット
- 十一 撞球用具
- 十二 ネオン管及同變壓器
- 十三 喫煙用ライター
- 十四 乗用自動車
- 十五 化粧品
- 十六 ラヂオ聴取機及同部分品
- 十七 受信用真空管、マイクロフォン、擴聲用增幅器及擴聲器
- 十八 扇風機及同部分品
- 十九 燈房用ノ電氣、瓦斯又ハ礦油ストーブ
- 二十 冷蔵庫及同部分品
- 二十一 金庫及鋼鐵製家具
- 二十二 シャンプー及洗粉
- 二十三 紅茶、烏龍茶、包種茶、咖啡及其ノ代用物並ニココア
- 二十四 嗜好飲料但シ酒類及清涼飲料ヲ除ク
- 二十五 煙火類
- 二十六 薫物及線香類
- 二十七 大理石及之ヲ原料トスル擬石並ニ陶磁器製タイル
- 丙 類
 - 二十八 電球類

- 二十九 携行用ノ電燈、同ケース及電池
 - 三十 電法板、水筒類及同部分品
 - 三十一 計算機
 - 三十二 タイプライター、同部分品及及附屬品
 - 三十三 輪轉謄寫機及同附屬品
 - 三十四 金銭登錄機
 - 三十五 タイムスタンブ及同附屬品
 - 三十六 ミシン及ミシン用針
 - 三十七 板硝子
 - 三十八 紙及セロファン
 - 三十九 齒 磨
 - 四十 綠 茶
 - 四十一 調味料
- 第三種
- 一 燐 寸
 - 二 飴、葡萄酒及麥芽糖
 - 三 サツカリン
- 同一物品ニシテ第一種及第二種ニ該當スルモノハ之ヲ第二種トシ、甲類及乙類若ハ甲類及丙類又ハ甲類、甲類及丙類ニ該當スルモノハ之ヲ甲類トシ、乙類及丙ニ類該當スルニモノハ之ヲ乙類トス
- 第二條 物品稅ノ稅率左ノ如シ
- 第一種
- 甲 類 物品ノ價格百分ノ五十

- 乙 類 物品ノ價格百分ノ二十
 - 丙 類 物品ノ價格百分ノ十
- 第五條ノ規定ニ依ル場合ニアリテハ百分ノ三十
- 第二種
- 甲 類 物品ノ價格百分ノ五十
 - 乙 類 物品ノ價格百分ノ二十
 - 丙 類 物品ノ價格百分ノ十
- 第三種
- 一 燐 寸 千本ニ付 五 錢
 - 二 飴、葡萄酒及麥芽糖
 - イ 麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル飴 百斤ニ付 貳圓五拾錢
 - ロ 其ノ他ノ飴並ニ葡萄酒及麥芽糖 百斤ニ付 參 圓
 - 三 サツカリン 一疋ニ付 拾 圓
- 第三條 前條ノ價格ハ第一種ノ物品ニ付テハ小賣業者ノ販賣價格、第二種ノ物品ニ付テハ製造場ヨリ移出スル時ノ價格トス但シ保稅地域ヨリ引取ララル第一種又ハ第二種ノ物品ニシテ引取人ヨリ税金ヲ徵收スルモノニ付テハ引取ノ際ニ於ケル價格トス
- 前項ノ價格及燐寸ノ本數ノ計算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四條 物品稅ハ第一種ノ物品ニ付テハ販賣セラレタル物品ノ

價格ニ應ジ小賣業者ヨリ、第二種又ハ第三種ノ物品ニ付テハ製造場ヨリ移出セラレタル物品ノ價格又ハ數量ニ應ジ製造者ヨリ之ヲ徵收ス但シ保稅地域ヨリ引取ララル物品ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外引取ラレタル物品ノ價格又ハ數量ニ應ジ引取人ヨリ之ヲ徵收ス

第五條 第一種第十六號ニ掲グル物品ガ入札其ノ他競争ノ方法ニ依リ賣買セラル、場合(強制賣買又ハ之ニ準ズベキ場合ヲ除ク)ハ其ノ札元又ハ之ニ準ズベキ者ガ小賣業者トシテ當該物品ヲ販賣スルモノト看做ス

第六條 製造場以外ノ場所ニ於テ販賣ノ爲化粧品、シヤンプ、洗粉、嗜好飲料、藥物類、線香類、齒磨又ハ調味料ヲ容器ニ充填シ又ハ改裝スルトキハ之ヲ化粧品、シヤンプ、洗粉、嗜好飲料、藥物類、線香類、齒磨又ハ調味料ノ製造ト看做ス

第七條 左ニ掲グル場合ニ於テハ嗜好飲料、飴、葡萄酒亦ハ麥芽糖ハ之ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做ス

- 一 嗜好飲料ヲ製造場内ニ於テ飲用シタルトキ
- 二 飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ヲ製造場内ニ於テ飴、葡萄酒又ハ麥芽糖以外ノ製品ノ原料トシテ使用シタルトキ

第八條 第一種ノ物品ノ小賣業者ハ毎月其ノ販賣シタル物品ニ付其ノ品名毎ニ數量及價格ヲ記載シタル申告書ヲ、第二種ノ物品ノ製造者ハ毎月其ノ製造場ヨリ移出シタル物品ニ付其ノ品名毎ニ數量及價格ヲ記載シタル申告書ヲ、第三種ノ物品ノ製造者ハ毎月其ノ製造場ヨリ移出シタル物品ニ付其ノ品名毎ニ數量ヲ記載シタル申告書ヲ翌月十日迄ニ政府ニ提出スベシ

第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ヲ保稅地域ヨリ引取ル者ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外引取ノ際其ノ物品ニ付前項ニ準ズル申告書ヲ政府ニ提出スベシ

申告書ノ提出ナキトキ又ハ政府ニ於テ申告ヲ不相當ト認メタルトキハ政府ハ其ノ課稅標準額ヲ決定ス

第九條 小賣業者ガ其ノ販賣シタル第一種ノ物品ノ返還ヲ受ケタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ返還ヲ受ケタル月分以降ノ稅額ヨリ其ノ物品ニ課セラレタル物品稅ニ相當スル金額ヲ控除ス製造場ヨリ移出シタル第三種ノ物品ヲ同一製造場内ニ戻入シタル場合亦同ジ

製造場ヨリ移出シタル第三種ノ物品ヲ同一製造場内ニ戻入シタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出スルモ更ニ物品稅ノ徵收ヲ爲サズ

第十條 物品稅ハ毎月分ヲ翌月末日迄ニ納付スベシ但シ第四條但書ノ場合ニ於テハ引取ノ際之ヲ納付スベシ

命令ノ定ムル所ニ依リ第二種又ハ第三種ノ物品ニ付物品稅額ニ相當スル擔保ヲ提供シタルトキハ一月以内物品稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

關稅法第三十四條但書ノ規定ニ依リ保稅地域ヨリ引取ル物品ニ付テハ第一項但書ノ規定ニ拘ラズ輸入免許ヲ受ケタル際物品稅ヲ納付スベシ

此ノ場合ニ於テハ引取ノ際其ノ税金ノ擔保ヲ提供スルコトヲ要ス

第十一條 命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ承認ヲ受ケ他ノ製造場

又ハ設置場ニ移入スル目的ヲ以テ製造場ヨリ移出シ又ハ保税地域ヨリ引取ル第二種又ハ第三種ノ物品ニ付テハ第四條ノ規定ヲ適用セズ

前項ノ場合ニ於テハ移出先又ハ引取先ヲ以テ製造場ト看做シ移出先又ハ引取先ノ營業者ヲ以テ製造者ト看做ス

第一項ノ物品ニシテ政府ノ指定シタル期間内ニ移出先又ハ引取先ニ移入セラレタルコトノ證明ナキモノニ付テハ製造者又ハ引取人ヨリ直ニ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ災害其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ減失シタルモノニ付政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ物品稅ヲ免除ス

第十二條 命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ承認ヲ受ケ製造場ヨリ移出シ又ハ保税地域ヨリ引取ル物品ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ物品稅ヲ免除ス

一 第二種ノ物品ノ製造ノ用ニ供スル第二種ノ物品
二 餡、葡萄酒又ハ麥芽糖ノ製造ノ用ニ供スル餡、葡萄酒又ハ麥芽糖

三 輸出スル菓子、糖果其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ノ製造ノ用ニ供スル餡、葡萄酒又ハ麥芽糖

前條第三項ノ規定ハ前項ノ物品ニシテ政府ノ指定シタル期間内ニ移出先若ハ引取先ニ移入セラレタルコトノ證明ナキモノ又ハ移出先若ハ引取先ニ移入前其ノ用途ヲ變更セラレタルモノニ付之ヲ準用ス

第一項ノ物品ヲ移出先又ハ引取先ニ移入後其ノ用途ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場ト看做シ移出先又ハ

第十六條 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者又ハ販賣者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造、貯藏又ハ販賣ニ關スル事實ヲ帳簿ニ記載スベシ

第一種ノ物品ノ小賣業者又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造又ハ販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ政府ニ申告スベシ

第十七條 收稅官吏ハ第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者又ハ販賣者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ左ニ掲グル物件ニ付検査ヲ爲シ若ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ニシテ製造者又ハ販賣者ノ所持スルモノ
二 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造、貯藏又ハ販賣ニ關スル一切ノ帳簿書類

三 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造、貯藏又ハ販賣上必要ナル建築物、機械、器具、材料其ノ他ノ物件

第十八條 詐偽其ノ他不正ノ行爲ニ依リ物品稅ヲ逃脱シ又ハ逃脱セントシタル者ハ其ノ逃脱シ又ハ逃脱セントシタル稅金ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ稅金ヲ徵收ス但シ罰金額ガ貳拾圓ニ滿タザルトキハ之ヲ貳拾圓トス

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ又ハ詐リタル者
二 政府ニ申告セズシテ第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營ミ又ハ第

引取先ノ營業者ヲ以テ製造者ト看做ス

第一項第三號ノ規定ニ依リ物品稅ヲ免除ヲ受ケタル餡、葡萄酒又ハ麥芽糖ヲ使用シテ菓子、糖果其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ヲ製造シタル者ガ之ヲ政府ノ指定シタル期間内ニ輸出シタルコトヲ證明セザル場合ニ於テハ製造者ヨリ直ニ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ災害其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ減失シタルモノニ付政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 左ニ掲グル物品ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品稅ヲ免除ス

一 輸出スルモノ
二 學術研究用ニ供スルモノ
三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル用途ニ供スルモノ

第十一條第三項ノ規定ハ前項ノ物品ニシテ政府ノ指定シタル期間内ニ輸出シ又ハ其ノ用途ニ供セラレタルコトノ證明ナキモノニ付之ヲ準用ス

第十四條 物品稅ヲ課セラレタル餡、葡萄酒又ハ麥芽糖ヲ原料トシテ製造シタル菓子、糖果其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ヲ輸出シタルトキハ輸出者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ原料トシテ使用シタル餡、葡萄酒又ハ麥芽糖ニ付課セラレタル物品稅ニ相當スル金額以下ノ交付金ヲ交付スルコトヲ得

第十五條 第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營マントスル者又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ヲ製造セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ申告スベシ其ノ小賣業又ハ製造ヲ廢止セントスルトキ亦同ジ

二種若ハ第三種ノ物品ヲ製造シタル者
前項第二號ニ規定スル者ニ付テハ直ニ其ノ小賣シタル第一種ノ物品又ハ製造シタル第二種若ハ第三種ノ物品ニ對スル物品稅ヲ徵收ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十六條第一項ノ規定ニ依ル帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ詐リ又ハ帳簿ヲ隱匿シタル者
二 第十六條第二項ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ又ハ詐リタル者

三 第十七條ノ規定ニ依ル收稅官吏ノ質問ニ對シ答辭ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

第二十一條 第十八條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ規定ヲ適用セズ

第二十二條 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者又ハ販賣者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ其ノ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第二十三條 本法ニ於テ保税地域トハ關稅法ニ定ムル保税地域ヲ謂フ

第二十四條 關稅定率法第七條第十七號ノ規定ハ第十二條第一項第三號ノ規定ニ依リ物品稅ヲ免除セラレタル餡、葡萄酒若ハ麥芽糖ヲ原料トシテ製造シ又ハ第十四條ノ規定ニ依リ交付

金ヲ交付セラレタル菓子、糖果其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ニ對シテハ之ヲ適用セズ

第二十五條 自己又ハ其ノ家族ノ用ニノミ供スル第二種ノ物品又ハ飴ヲ製造スル者ニハ當該物品ニ付本法ヲ適用セズ

附 則

第二十六條 本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十四條ノ規定ハ昭和十五年四月三十日以前ノ輸出ニ係ル菓子、糖果其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ニ付テハ之ヲ適用セズ
第二十七條 第九條ノ適用ニ付テハ支那事變特別稅法ニ依リ課セラレタル物品稅ハ之ヲ本法ニ依リ課セラレタル物品稅ト看做ス

第二十八條 支那事變特別稅法第四十八條第一項、第四十九條第一項又ハ第五十條第一項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル物品ハ各第十一條第一項、第十二條第一項又ハ第十三條第一項ノ規定ノ適用ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十九條 支那事變特別稅法第三十八條ニ掲グル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營ム者又ハ同第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造ヲ爲ス者ニシテ同法ニ依リ其ノ旨ヲ申告シタルモノハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依リ申告シタルモノト看做ス

第三十條 本法施行前ヨリ引續キ琥珀製品、象牙製品、七寶製品、菓子、盆栽盆石及鉢植類並ニ愛玩用動物及同用品ノ小賣業ヲ營ム者本法施行後一月以内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依リ申告シタルモノト看做ス
第三十一條 第一條ニ掲グル第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者

ム者又ハ同第二種ノ物品若ハサツカリノ製造ヲ爲ス者本法施行後一月以内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ニ於テ物品稅法第十五條ノ規定ニ依リ申告シタルモノト看做ス

第八條 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品又ハ飴、葡萄酒、麥芽糖若ハサツカリノ製造者又ハ販賣者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保税地域以外ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ之ニ物品稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ從前ノ規定ニ依リ物品稅ヲ課セラレタル物品ニ付テハ其ノ課セラレタル稅額ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額ヲ以テ其ノ稅額トス

一 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品ニシテ同條各號ニ掲グル品名毎ニ價格二千圓以上ノモノ
二 飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ニシテ合計一萬斤以上ノモノ
三 三十斤以上ノサツカリ
前項ノ製造者又ハ販賣者ハ同項第一號ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所、第二號ノ物品又ハサツカリニ付テハ其ノ品名毎ニ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

又ハ販賣者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保税地域以外ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ之ニ物品稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法ノ日ニ於テ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ第一號ノ物品ニ付テハ第一條各號ニ掲グル品名毎ニ價格參千圓、飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ニ付テハ壹萬斤ヲ超ユル部分ニ付第二條ニ規定スル稅率ニ依リ算出シタル稅額ト支那事變特別稅法第三十九條ニ規定スル稅率ニ依リ算出シタル稅額トノ差額ヲ以テ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品稅ヲ徵收ス
一 第一條ニ掲グル第二種第一號乃至第十五號ノ物品ニシテ同條各號ニ掲グル品名毎ニ價格參千圓ヲ超ユルモノ
二 飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ニシテ合計斤數一萬斤ヲ超ユルモノ
前項ノ製造者又ハ販賣者ハ第二種ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所、飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

附 則

(昭和十六年十一月法律第八十八號) 法律第八十八號(附則)

第一條 本法ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ規定施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法施行前ヨリ引續キ物品稅法第一條ノ改正規定ニ依リ物品稅ヲ課スルコト、爲リタル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營

一九 物品稅法施行規則

昭和十五年三月三十一日勅令第百五十號
昭和十六年三月勅令第二九三號改正
昭和十六年十一月勅令第三十一號改正

第一條 物品稅法第一條ノ規定ニ依リ物品稅ヲ課スベキ物品ハ別表ニ定ムル所ニ依リ
別表ニ於テ貴金屬トハ金、銀、白金及此等ヲ主タル材料トスル合金ヲ謂フ

別表ニ於テ寶石、半寶石、眞珠、金又ハ白金ヲ用ヒタル製品トハ其ノ用ヒタル寶石、半寶石、眞珠、金又ハ白金ノ價格(二種以上ノモノヲ用ヒタルモノニ付テハ其ノ價格ヲ合算ス)ガ壹圓以上ノモノヲ謂フ

第二條 削 除
第三條 物品稅法第一條ニ掲グル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營マントスル者ハ販賣場及販賣スベキ物品ヲ定メ其ノ住所及氏名又ハ名稱ヲ記載シタル申告書ヲ販賣場所轄稅務署ニ提出スベシ

第四條 物品稅法第一條ニ掲グル第二種又ハ第三種ノ物品ヲ製造セントスル者ハ製造場及製造スベキ物品ヲ定メ其ノ住所及氏名又ハ名稱ヲ記載シタル申告書ヲ製造場所轄稅務署ニ提出スベシ

第五條 第一種ノ物品ノ小賣業者又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造者一月以上販賣又ハ製造ヲ休止セントスルトキハ其ノ時期ヲ定メ所轄稅務署ニ申告スベシ

第六條 稅務署長ハ必要ト認ムルトキハ第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者ニ製造場ノ圖面及製造用ノ機械器具ノ目錄ヲ提出セシムルコトヲ得

第七條 第三條乃至第五條ノ規定ニ依リ申告シタル事項又ハ前條ノ規定ニ依リ提出シタル圖面若ハ目錄ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ都度所轄稅務署ニ申告スベシ

第八條 第一種ノ物品ノ小賣業又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造業ヲ相續シタル者ハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申告スベシ

第一種ノ物品ノ小賣業又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造業ヲ讓受ケタル者ハ讓渡人ト連署シテ所轄稅務署ニ申告スベシ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ合併ニ因リテ消滅シタル法人ノ第一種ノ物品ノ小賣業又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造業ヲ承繼シタルトキハ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申告スベシ

第九條 第一種ノ物品ノ小賣業又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造ヲ廢止セントスルトキハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申告スベシ

第十條 第一種ノ物品ノ小賣業者又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造者販賣場又ハ製造場ヲ移轉セントスルトキハ移轉ノ事實ヲ具シ第三條又ハ第四條及前條ノ規定ニ準ジ申告ヲ爲スベシ

第十一條 第一種又ハ第二種ノ物品ニシテ通常容器ト共ニ販賣セラルルモノノ價格ハ其ノ容器ノ價格ヲ加ヘタル金額ニ依ル

規定ニ依ル控除ヲ受ケントスルトキハ當該物品ニ付物品稅ヲ納付シ又ハ徵收ノ猶豫ヲ受ケタルコトヲ證明スベキ書類及返還又ハ戻入ノ事實ヲ證明スベキ書類ヲ呈示シテ當該物品ノ品名、數量、價格及稅額ニ付所轄稅務署ノ承認ヲ受クベシ

第十八條 物品稅第一條ニ掲グル第三種ノ物品ノ製造者戻入シタル物品ニ付同法第九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケントスルトキハ當該物品ニ付物品稅ヲ納付シ又ハ其ノ徵收ノ猶豫ヲ受ケタルコトヲ證明スベキ書類及戻入ノ事實ヲ證明スベキ書類ヲ呈示シテ當該物品ノ品名及數量ニ付所轄稅務署ノ承認ヲ受クベシ

第十九條 擔保物ノ種類ハ金錢又ハ國債ニ限ル
擔保トシテ金錢又ハ無記名國債證券ヲ提供スルトキハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ
擔保トシテ登錄國債ヲ提供スルトキハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノニ在リテハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スベシ
擔保トシテ提供シタル國債ノ償還ヲ受クルニ至リタルトキハ稅務署長ハ擔保提供者ヲシテ之ニ代ルベキ擔保ヲ提供セシムベシ

第二十條 物品稅法第十條第二項ノ規定ニ依リ擔保ヲ提供シタル者期限內ニ稅金ヲ納付セザルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充ツ但シ擔保物國債ナルトキハ之ヲ公賣ニ付シ稅金及公賣ノ費用ニ充テ不足金アルトキハ之ヲ追徴シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

第十二條 保稅地域ヨリ引取ラルル第一種又ハ第二種ノ物品ニシテ引取人ヨリ稅金ヲ徵收スルモノノ價格ハ輸入ノ際ニ於ケル到着價格ニ當該物品ニ課セラルベキ總消費稅及關稅ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額ニ依ル

第十三條 樽寸ノ本數ハ軸木ノ本數ニ依ル但シ二個以上ノ點火裝置ヲ附シタルモノニ付テハ其ノ點火裝置ノ個數ニ依ル

第十四條 第一種ノ物品ノ販賣者又ハ製造者ガ第一種ノ物品ヲ保稅地域ヨリ引取ル場合ニ於テハ物品稅ハ之ヲ徵收セズ

前項ノ場合ニ於テハ販賣場又ハ製造場ノ所轄稅務署ヨリ交付ヲ受ケタル販賣者又ハ製造者タルコトヲ證明スベキ書類ヲ所轄稅關ニ提出スベシ

第一項ノ場合ニ於テハ物品稅法第八條第二項ノ規定ニ依ル申告書ノ提出ヲ要セズ

第十五條 物品稅ノ免除ヲ受ケズシテ輸出シタル物品ヲ再輸入シ之ヲ保稅地域ヨリ引取ル場合ニ於テハ物品稅ヲ徵收セズ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第十六條 物品稅法第八條第一項ノ規定ニ依ル申告書ハ所轄稅務署ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申告書ノ提出ナキトキ又ハ稅務署長其ノ申告ヲ不相當ト認メタルトキハ稅務署長ハ其ノ課稅標準額ヲ決定スベシ

前二項ノ規定ハ物品稅法第八條第二項ノ規定ニ依ル申告ニ付之ヲ準用ス

第十七條 第一種ノ物品ノ小賣業者又ハ第二種ノ物品ノ製造者返還ヲ受ケ又ハ戻入シタル物品ニ付物品稅法第九條第一項ノ

前項ノ規定ハ物品稅法第十條第三項ノ規定ニ依リ提供シタル擔保ニ付之ヲ準用ス

第二十一條 物品稅法第十一條第一項ノ規定ニ依リ第二種又ハ第三種ノ物品ヲ製造場ヨリ移出セントスル者ハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申請シ承認ヲ受クベシ

第二十二條 前條ノ承認ヲ受ケ製造場ヨリ移出シタル第二種又ハ第三種ノ物品ヲ移出先タル製造場又ハ藏置場ニ移入シタルトキハ移出先ノ營業者ハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申告スベシ

第二十三條 物品稅法第十二條第一項第三號ノ物品ハ輸出スル菓子及糖果ノ外輸出スル果實蜜及之ニ類スルモノトス

第二十四條 物品稅法第十二條第一項ノ規定ニ依リ第二種ノ物品又ハ餡、葡萄酒若ハ麥芽糖ヲ製造場ヨリ移出セントスル者ハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申請シ承認ヲ受クベシ

第二十二條ノ規定ハ前項ノ物品ヲ其ノ移出先ニ移入シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 物品稅法第十二條第一項ノ規定ニ依リ物品稅ノ免除ヲ受ケタル物品ニ付其ノ用途ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申請シ承認ヲ受クベシ

第二十六條 物品稅法第十三條第一項第三號ノ規定ニ依リ物品稅ヲ免除スル物品ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 醫藥用ニ供スルモノ但シ第三種ノ物品ヲ除ク

二 機械用又ハ工業用ニ供スルモノ但シ樽寸並ニ飲料又ハ食料品ノ製造ノ用ニ供スル餡、葡萄酒、麥芽糖及サツカリンヲ除ク

三 神社、寺院又ハ教育ニ於テ式典用又ハ禮拜用ニ供スルモノ但シ第三種ノ物品ヲ除ク

四 教育用ニ供スルモノ但シ中等學校又ハ國民學校ニ於テ使用スル寫眞機、映寫機、寫眞用フィルム、蓄音器、蓄音器用レコード、ピアノ、オルガン、箏、三絃、ラヂオ聴取器、マイク、ホーン、擴音用增幅器及擴音器ニ限ル

五 軍用ニ供スルモノ但シ陸海軍ノ購入ニ係ル毛皮、毛皮製品、帽子、靴類、トランク類、行李、靴、履臺、第一種第二十六號ノ皮革製品、織物、織物製品、メリヤス、メリヤス製品、犬、寫眞機、寫眞機部分品、寫眞用乾板、寫眞用フィルム、寫眞用感光紙、雙眼鏡、雙眼鏡、銃部分品、藥莖、彈丸、携行用ノ電燈、同ケース及電池並ニ水筒ニ限ル

六 通信用ニ供スルモノ但シ無線電信又ハ無線電話（放送無線電話ヲ除ク）ノ用ニ供スルラヂオ聴取機及受信用真空管ニ限ル

第二十七條 第一種ノ物品ノ小賣業者又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ノ製造者物品稅法第十三條及前條ノ規定ニ依リ物品稅ノ免除ヲ受ケントスルトキハ第一種ノ物品ヲ引渡シ又ハ第二種若ハ第三種ノ物品ヲ製造場ヨリ移出スル際其ノ旨ヲ所轄稅務署ニ申請シ承認ヲ受ケベシ

第二十八條 物品稅法第十二條第一項第三號ノ規定ニ依リ物品稅ヲ免除セラレタル飴、葡萄酒若ハ麥芽糖ヲ原料トシテ製造シタル菓子、糖果若ハ果實蜜及之ニ類スルモノ又ハ同法第十

三條第一項第一號ノ物品ニ付輸出ノ證明ヲ爲サントスルトキハ輸出免狀又ハ之ニ代ルベキ書類ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ

前項ノ場合ニ於テ所轄稅務署必要アリト認ムルトキハ外國ニ陸揚シタルコトヲ證スベキ書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十九條 物品稅法第十一條第三項、第十二條第二項及第四項並ニ第十三條第二項ノ期間ハ稅務署長之ヲ指定ス

第三十條 物品稅法第十一條第三項但書、第十二條第二項及第四項但書並ニ第十三條第二項ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケントスル者ハ事由ヲ具シ第二十一條、第二十四條第一項又ハ第二十七條ノ稅務署ニ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ減失シタル場所ガ前項ノ稅務署ノ管轄外ナルトキハ最寄稅務署ニ減失ノ事實ヲ申告シテ證明書ノ下付ヲ受ケ前項ノ申請ノ際之ヲ提出スベシ

第三十一條 第二十一條、第二十二條、第二十四條、第二十五條及第二十七條乃至前條ノ規定ハ物品稅法第十一條乃至第十三條ノ規定ノ適用ヲ受ケ保稅地域ヨリ引取ラルル第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ニ付之ヲ準用ス

第三十二條 物品稅法第十四條ノ規定ニ依ル交付金ハ左ノ各號ニ掲グル金額トス但シ飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ノ製造場ヨリ直接引取リタル飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ヲ原料トシテ保稅工場ニ於テ製造シタル菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノニ付テハ其ノ飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ニ對スル物品稅ニ相當スル金額トス

一 麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル飴ヲ使用シタル菓子、

糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノ

菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ中ニ含有スル麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル

二 其ノ他ノ飴ハ葡萄酒若ハ麥芽糖ヲ使用シタル菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノ

菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ中ニ含有スル麥芽糖化以外ノ方法ニ依リ製造シタル飴、葡萄酒又ハ麥芽糖

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ物品稅法第十四條ノ規定ニ依ル交付金ヲ交付セズ

一 菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ輸出後一年以内ニ交付金ノ交付ヲ申請セザルトキ

二 菓子、又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ一回ノ輸出數量ガ三百斤ニ滿タザルトキ

第三十四條 物品稅法第十四條ノ規定ニ依ル交付金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ輸出ノ際關稅法施行規則第三十四條第一項ノ規定ニ依ル申告ノ外菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ種類、毎種類ノ數量、使用原料ノ種類、製造者ノ氏名又ハ名稱及製造ノ場所ヲ稅關ニ申告シ飴、葡萄酒又ハ麥芽糖ノ含有量ニ付檢定ヲ受クベシ但シ第三十二條但書ノ規定ニ依ル交付金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 物品稅法第十四條ノ規定ニ依ル交付金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルベキ稅關ノ證

明書ヲ添附シテ輸出港稅關ニ提出スベシ

第三十二條但書ノ規定ニ依ル交付金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ書類ノ外飴、葡萄酒又ハ麥芽糖製造場所轄稅務署ノ物品稅納稅證明書及保稅工場所轄稅關ノ製造證明書ヲ提出スベシ

第二十八條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ販賣者ハ少クトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スベシ

一 受入レタル物品ノ品名、數量、價格及受入ノ日並ニ其ノ引渡人ノ住所及氏名又ハ名稱

二 販賣シタル物品ノ品名、數量、價格及販賣ノ日並ニ其ノ買受人ノ住所及氏名又ハ名稱

小賣ノ場合ニ於テハ前項第二號ノ買受人ノ住所及氏名又ハ名稱ノ記載ヲ要セズ但シ所轄稅務署監督上必要アリト認メ其ノ記載ヲ命ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條 第一種、第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者ハ少クトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スベシ

一 受入レタル材料ノ種類、數量及受入ノ日並ニ其ノ引渡人ノ住所及氏名又ハ名稱

二 使用シタル材料ノ種類、數量及使用ノ日

三 製造シタル物品ノ品名、數量及製造ノ日

四 販賣シ又ハ移出シタル物品ノ品名、數量、價格及販賣又ハ移出ノ日並ニ其ノ買受人又ハ引取人ノ住所及氏名又ハ名稱

前條第二項ノ規定ハ前項第四號ニ掲グル事項ノ記載ニ付之ヲ準用ス

第三十八條 販賣場ヲ有セズシテ第一種ノ物品ノ小賣業ヲ営ム者ニ在リテハ其ノ住所、住所ナキトキハ居所ヲ以テ販賣場ト看做ス

第三十九條 本令中稅務署ニ屬スル事務ハ保稅地域ヨリ引取ラルル物品ニ關シテハ稅關之ヲ行フ

附 則

第四十條 本令ハ物品稅法施行ノ日(昭和十五年四月一日)ヨリ之ヲ施行ス但シ第三十二條乃至第三十五條ノ規定ハ昭和十五年四月三十日以前ノ輸出ニ係ル菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノニ付テハ之ヲ適用セズ

第四十一條 物品稅法第三十條ノ規定ニ依リ政府ニ申告セントスル者ハ第三條ノ規定ニ準ジテ作成シタル申告書ニ同法施行前ヨリ引續キ琥珀製品、象牙製品、七寶製品、菓子、盆栽盆石及鉢植類並ニ愛玩用動物及同用品ノ小賣業ヲ營ムコトノ事

(別 表)

◎課 稅 物 品 表

品 名	課 稅 最 低 限 格
第一種 甲 類	
一 貴石若ハ半貴石又ハ之ヲ用ヒタル製品但シ理化學用ノモノヲ除ク	
イ 貴石、半貴石	

實ヲ併セ記載シ之ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ

第四十二條 物品稅法第三十一條第一項ノ規定ニ依リ課スベキ物品稅ハ其ノ稅額百圓以下ナルトキハ昭和十五年五月三十一日限、稅額百圓ヲ超ユルトキハ左ノ區分ニ依リ各月ニ等分シ其ノ月末日限之ヲ徵收ス

稅額百圓ヲ超ユルトキ 昭和十五年五月及六月
稅額千圓ヲ超ユルトキ 年五月乃至七月
稅額二千圓ヲ超ユルトキ 年五月乃至八月
稅額五千圓ヲ超ユルトキ 年五月乃至九月

第四十三條 物品稅法第三十一條第二項ノ規定ニ依ル申告ハ第二種ノ物品又ハ飴、葡萄酒若ハ麥芽糖ノ所在地所轄稅務署ニ之ヲ爲スベシ

第四十四條 宗教團體法第三十五條第一項ノ佛堂ニ於テ典用又ハ禮拜用ニ供スル物品(第三種ノ物品ヲ除ク)ハ物品稅法第十三條第二項第三號ノ規定ニ依リ物品稅ヲ免除ス

- ダイヤモンド、ルビー、サファイヤ、アレキサンドライト、クリソペリール、トパーズ、スピネル、エメラルド、アクアマリン、ペリール、トールマリオン、ジルコン、クリソライト、ガーネット、オパール、翡翠、水晶、珊瑚、猫眼石、虎眼石、孔雀石、土耳其玉、月長石、青金石、クンツァイト、ブラッドストーン及ヘマタイト
- 貴石又ハ半貴石ヲ用ヒタル製品
- 眞珠又ハ眞珠ヲ用ヒタル製品
 - イ 天然眞珠及養殖眞珠
 - ロ 眞珠ヲ用ヒタル製品
- 貴金屬製品又ハ金若ハ白金ヲ用ヒタル製品但シ理化學用ノモノ又ハ醫療用ノモノヲ除ク
 - イ 貴金屬製品但シ金ペンヲ除ク
 - ロ 金側又ハ白金側ノ時計但シ金ヲ鍍シ又ハ張りタルモノヲ除ク
 - ハ 金屏風及金衝立
 - ニ 其ノ他金又ハ白金ヲ用ヒタル製品但シ金箔、金絲、金粉又ハ金液ヲ用ヒタルモノ及金ヲ鍍シ又ハ張りタルモノヲ除ク
- 眞珠製品
- 珊瑚製品、琥珀製品、象牙製品及七寶製品
- 琥珀製品
- 琥珀製品但シ電氣絶緣用ノモノヲ除ク
- 象牙製品但シ骨牌稅ヲ課セラルル骨牌ヲ除ク
- 七寶製品
- 毛皮又ハ毛皮製品

一個	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個	壹圓
一個	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個	壹圓
一個	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個又ハ一組	壹圓
一個又ハ一組	壹圓

イ 毛皮製品	一個	貳圓
ロ 羽毛製品又ハ羽毛ヲ用ヒタル製品	一個又ハ一組	貳圓
イ 羽毛製品	一個	貳圓
ロ 羽毛ヲ用ヒタル製品	一個	貳圓
蒲團及座蒲團(鶏ノミノ羽毛ヲ用ヒタルモノヲ除ク)、クッション、枕並ニ被服類	一個	貳圓
乙 類		
八 時計	一個	八圓
懷中時計、腕時計、置時計、掛時計、電氣時計及ストップオッチ		
九 文房具	一個又ハ一組	貳圓
萬年筆、硯箱、文箱、料紙箱、色紙箱、短冊箱、スケッチ箱、畫架、金ペン(軸ヲ附シタルモノヲ含ム)、シャープペンシル、インク入(インクスタンドヲ含ム)、硯、筆、墨、繪具、ペーパーナイフ、筆入、筆立、筆巻、紙狹、書類狹、肉池、水入、ペン立、ペン皿、文鎮、色紙、短冊、アルバム、鉛筆削器、本立、(ブツクエンドヲ含ム)及組合セ文房具		
十 身邊用細貨類	一個又ハ一組	貳圓
指環、腕環、耳飾、頸飾、ペンダント、櫛、笄、簪、頭髪用ピン、ハットピン、ネクタイピン、襟止、帯止、バックル、鎖、カフス釦、根付、メダル、腕時計用バンド、靴下留、バンド、ズボン吊、コルセット、羽織紐、眼鏡紐、ハンドバック、懐入、手袋袋、財布、懷中用書狀入、名刺入、呂泊及シース		
十一 化粧用具	一個又ハ一組	貳圓
化粧用鏡子(頭髪用ノモノヲ含ム)、コンパクト、香水噴、懷中鏡、手鏡、立		

十二 喫煙用具	一個又ハ一組	貳圓
煙管、パイプ類及同ケース、煙草入、灰皿、煙草セット並ニ煙草盆		
十三 帽子、杖、鞭及傘	一個	參圓
イ 帽子	一個	貳圓
ロ 杖及鞭	一個	貳圓
ハ 傘(ビーチパラソルヲ含ム)	一個	五圓
十四 靴及トランク類並ニ行李	一個又ハ一組	貳圓
イ 靴及トランク類	一個	貳圓
ロ 行李	一個	貳圓
十五 履物	一足	參圓
十六 書畫及骨董	一個	拾圓
イ 物品税法第五條ノ規定ニ依ル場合	一個又ハ一組	拾圓
ロ 其ノ他ノ場合	一個又ハ一組	拾圓
(一) 書畫	一個又ハ一組	拾圓
(二) 骨董	一個又ハ一組	拾圓
十七 室内裝飾用品	一個又ハ一組	貳拾圓
置物、花器、香器、風鏡、額縁、柱掛、其ノ他ノ壁面裝飾用品、人形、人形ケース、節句飾物其ノ他ノ飾物及羽子板		
十八 玩具、遊戯具、搖籃及乳母車類	一個又ハ一組	貳拾圓
イ 乳母車類	一個	貳圓
ロ 其ノ他	一個又ハ一組	貳圓

十九・運動具

イ ボール

- (一) 庭球、野球又ハホッケー用ノモノ
- (二) 其ノ他

ロ ネット

ハ グローブ、ミット、マスク、胸當、脛當、甲當、肘當、圓盤、砲丸、槍、鐵槌、フエンシング用劍及バール

ニ バット、ラケット、ガット及ホッケー又ハデツキゴルフ用スチツク

(一) バット及ホッケー又ハデツキゴルフ用スチツク

(二) ラケット

(三) ガット

ホ スケート、スキー、同部分品及附屬品

(一) スケート

(二) スキー

(三) シール

(四) 縮具、金具、スキーエツヂ及スキーストツク

ヘ リュクザツク、ピツケル、アイゼン及コツヘル

ト 卓球臺

二十 照明器具

スタンド、シャンデリヤ、ペンダント、ブラケット、バルベツトシールン

グライト、ボーダーライト、グローブ、シエード及之ニ類スルモノ

二十一 電氣器具及瓦斯器具

イ 湯沸器(珈琲沸器及牛乳器ヲ含ム)、タオル蒸器、調理用器具(七輪、竈及炊

一個 五拾錢

一個 五圓

一個 拾圓

一個又ハ一對 五圓

一個 貳圓

一個 五圓

一張分 貳圓

一對 五圓

一對 拾圓

一對 五圓

一對 貳圓

一個又ハ一 五圓

一個 五拾圓

一個又ハ一組 貳圓

一個又ハ一組 貳圓

飯器ヲ除ク)、アイロン、鏡(半田鏡ヲ除ク)、鏡燒器、毛髮乾燥器、炬燵、

行火、火鉢(電氣炭ヲ含ム)、足温器及蒲團類

ロ パーマネントウエーヴ機及同附屬ドライヤー、洗濯機、掃除機、暖房用ラヂ

エーター、ルームクーラー、温水槽並ニ調理臺

二十二 圍碁及將棋用具

イ 圍碁用具

(一) 碁 盤

(二) 碁 石

(三) 碁 筒

ロ 將棋用具

(一) 將棋盤

(二) 將棋駒及駒臺

二十三 家 具

イ 幅八十五厘米以上ノ箆笥

ロ 机及卓子類

ハ イニ掲グルモノ以外ノ箆笥、棚類、箱類、衣篋、衣篋籠、衣篋、脇息、腰臺、鏡

及鏡臺類(第十一號ニ掲グルモノヲ除ク)、椅子及腰掛類(座椅子ヲ含ム)、

火鉢、臺類、屏風、衝立、凡帳、衣桁、帽子掛並ニ傘立

二十四 漆器、陶磁器及硝子製器具ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ但シ理化學用ノモノ、

醫藥用ノモノ、電氣絶緣用ノモノ及土木建築用ノモノヲ除ク

二十五 貴金屬ヲ鍍シ又ハ張りタル製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ

二十六 皮革製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ

イ 被服類

一個又ハ一組 參圓

一個又ハ一組 貳拾圓

一個 五圓

一個 參圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個 貳圓

一個又ハ一組 參拾圓

一個又ハ一組 拾五圓

一個 拾圓

一個又ハ一組 拾圓

一個又ハ一組 參圓

一個又ハ一組 壹圓

一個 參圓

一個 參圓

一個 參圓

一個 參圓

ロ 座蒲團及クッション
ハ 手袋

二十七 織物、メリヤス、レース、フェルト及同製品並ニ組物
イ 織物但シ帯地及敷物地ヲ除ク

(一) 着尺地、羽尺地、裏地、襦袢地、袴地及夜具地類

(二) 座布團地

(三) 羽裏地、和服用コート裏地、襦袢地及袖地
羽裏地及和服用コート裏地

其ノ他

(四) 其ノ他

幅四十六種未満ノモノ

幅四十六種以上百三十種未満ノモノ

幅百三十種以上ノモノ

ロ メリヤス、レース及フェルトニシテ布帛狀ノモノ但シ敷物地ヲ除ク

ハ 織物、メリヤス、レース及フェルトノ製品並ニ組物

(一) 着物、羽織、襦袢及之ニ類スルモノ

單衣

其ノ他

(二) 袴

(三) 帯(帯地ヲ含ム)

女子用ノ丸帯及袋帯

單帯、名古屋帯、兵兒帯、男帯其ノ他ノ帯

(四) 洋服及國民服

一一八

一個 貳圓
一對 貳圓

一反 拾八圓
五帖分 拾五圓

一枚 拾圓
一枚又ハ一組 七圓

一米 貳圓

一米 四圓

一米 八圓

一平方米 參圓

一個 貳拾圓
一個 貳拾八圓

一個 貳拾圓

一個 參拾圓

一個 拾八圓

男子用ノモノ

一組ノモノ(三ツ揃ノモノ但シ國民服ニ付テハ上衣、中衣及袴ヨリ成ルモノ)

上衣

チヨツキ及國民服ノ中衣

ズボン及國民服ノ袴

女子用ノモノ

一組ノモノ又ハ上下連織シタルモノ

上衣

スカート

(五) 外套、和服用コート、トンビ、ケープ及之ニ類スルモノ

男子用ノモノ

女子用ノモノ

其ノ他ノ被服類

(六) 文化コート及ジャンパー(ジャンパースカートを除ク)

シャツ、ズボン下、スウェーター、ボレロ、パジャマ、ローブ、ガウン、

下着、肌着、襪除及之ニ類スルモノ

服飾附屬品

(七) 襪

襪、襪、伊達巻、伊達縮、帯縮及腰紐

半襪

手筒

ネクタイ

一組 七拾圓

一個 參拾五圓

一個 拾貳圓

一個 貳拾參圓

一組又ハ一個 四拾圓

一個 貳拾貳圓

一個 拾八圓

一個 六拾圓

一個 四拾圓

一個 拾五圓

一個 拾五圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一個 拾圓

一一九

- (一) 犬舎及馬籠
- (二) 金魚及熱帯魚ノ容器
- 三十二 庭木並ニ庭園用ノ石材及石工品
- 三十三 籠、釣燈籠及提灯類
- イ 籠
- ロ 釣燈籠、提灯(油引ノモノヲ除ク)及行燈類
- 三十四 鐵板並ニ茶道及香道用具
- 三十五 扇子及團扇
- 三十六 花輪及花束類
- イ 花輪及楠玉類
- ロ 花束類(容器入ノモノヲ含ム)
- 三十七 釣用具類但シ漁業用ノモノヲ除ク
- イ 釣竿類
- ロ 釣及本テグス
- ハ 其ノ他ノ釣用具
- ニ 釣竿入其ノ他ノ釣用具入
- 類
- 三十八 籠
- 三十九 事務用具
- 番號器、日附器、紙繰器、パンチ類、手形印字器、手形打拔器證券抹消器、手形打出器及之ニ類スルモノ、銀貨機、キヤツシナイリ並ニ數取器

一個	貳圓
一個	貳圓
一個又ハ二組	拾圓
一個又ハ二組	貳圓
一個又ハ二組	參圓
一個	參圓
一個	五拾錢
一個	五圓
一個又ハ二組	五圓
一個又ハ二組	壹圓
一個	拾圓
一個	五拾錢
一個	壹圓
一足	拾貳圓
一個	貳圓

第二種

甲 類

- 一 寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及附屬品
- イ 寫眞機但シ航空機用ノモノ及顯微鏡用ノモノヲ除ク
- ロ 寫眞引伸機
- ハ 映寫機
- ニ 寫眞機部分品附屬品
- レンズ(シヤッター附ノモノヲ含ム)、暗函(蛇腹ノ有無ヲ別タズ)、シヤッター、フィルムバツタホルダー、取替、フラインダー、三脚臺、カラーフィルムター、セルフタイマー、露出計、距離計及寫眞機用又ハ三脚臺用ケース
- ホ 寫眞引伸機部分品
- 暗函、コンデンサー、レンズ及支持臺
- ハ 映寫機部分品及附屬品
- コンデンサー、レンズ、フィルムリール、ランプハウス、映寫機用ランプ、ヘッドマシン、映寫機用モーター、發聲裝置、フィルム巻取機、カライスクリーン及映寫機用ケース
- 二 寫眞用ノ乾板、フィルム及感光紙
- イ 寫眞用乾板但シ航空機用ノモノ及エツクス線用ノモノヲ除ク
- ロ 寫眞用フィルム但シ航空機用ノモノ及エツクス線用ノモノヲ除ク
- ハ 寫眞用感光紙但シエツクス線用ノモノヲ除ク
- 三 蓄音器及同部分品
- イ 蓄音器(ラヂオ聴取裝置ヲ附シタルモノヲ含ム)
- ロ 蓄音器部分品
- 蓄音器類、サウンドボックス、移動腕金、ピツクアップ、蓄音器用モーター、回轉盤、動力用ゼンマイ及蓄

音器用針

四 音器用レコード但シ六吋以下ノ紙製ノモノヲ除ク
五 楽器、同部分品及附屬品

イ 樂器

ピアノ、オルガン、アコーディオン、バンドニオン、ハーモニカ、ヴァイオリン、ヴァイオラ、セロ、コントラバス、マンドリン、マンドラ、マンドリラ、マンドセロ、マンドローネ、ギター、ギタローネ、バラライカ、ウクレレ、バンジョー、フリユイト、ピッコロ、クラリネット、オーボエ、バズーン、ホルネット、トロンボット、トロンボーン、アルト、バリトン、チェンバ、サクソフフォン、スザフフォン、ホルン、バイブラフフォン、喇叭(信號喇叭ヲ除ク)、木琴、鐵琴、ハープ、リラ、箏、三絃、琵琶、明笛、尺八、鼓、ドラム類、タンボリン及シンバル

ロ 楽器部分品及附屬器

絃楽器用ノ絃、弓又ハ撥及楽器用ケース

六 雙眼鏡及雙眼鏡

七 銃及同部分品

イ 銃

獵銃拳銃及空氣銃

ロ 銃部分品

銃身及銃床

八 藥莢(裝藥シタルモノヲ含ム)及彈丸但シ獵銃、拳銃又ハ空氣銃用ノモノニ限ル

九 ゴルフ用具、同部分品及附屬品

イ ゴルフクラブ及ゴルフボール

ロ ゴルフクラブノヘッド及シャフト

ハ ゴルフクラブ用バッグ

十 娛樂用ノモーターボート、スカール及ヨット

十一 撞球用具

撞球臺、キュー、球及チヨーク

十二 ネオン管及同變壓器

十三 喫煙用ライター

十四 乗用自動車但シ普通乗用自動車ニシテ輪距二百八十九釐ヲ超ユルモノニ限ル

十五 化粧品

香水、香紙、香袋、白粉、紅、化粧墨、クリーム、化粧下、化粧水、化粧粉、頭髮用ノ香水、油及煉油、整髮料、染毛料、養毛料、美爪料、脱毛料並ニ脂取料

乙 類

十六 ラヂオ聴取機及同部分品

イ ラヂオ聴取機但シ真空管ヲ使用セザルモノ及大藏大臣ノ指定スルモノヲ除ク

ロ ラヂオ聴取機部分品

ラヂオ聴取機匣、トランスフォーマー、チヨークコイル、コンデンサー、抵抗器、ダイヤル及シャシ

十七 受信用真空管、マイクrohホン、擴聲用增幅器及擴聲器

十八 扇風機及同部分品

イ 扇風機

ロ 扇風機部分品

扇風機用ノ羽根及モーター

十九 燈房用ノ電氣、瓦斯又ハ礦油ストーブ

二十 冷蔵庫及部分品

イ 冷蔵庫

ロ 冷蔵庫部分品

- 希磁器用冷凍機
- 二十一 金庫及鋼鐵製家具
 - イ 金庫(手提金庫ヲ含ム)
 - ロ 鋼鐵製家具
- 鐵筒、糊類、箱類、腰臺、机及卓子類並ニ椅子及腰掛類
- 二十二 シャンプー及洗粉
- 二十三 紅茶、烏龍茶、包種茶、咖啡及其ノ代用物並ニココア
 - 紅茶、烏龍茶、包種茶、マーテ、咖啡、チコリー其ノ他ノ咖啡代用物及ココア
- 二十四 嗜好飲料但シ酒類及清涼飲料ヲ除ク
 - イ 牛乳又ハ乳製品ヲ原料トスル酸性飲料
 - ロ 果實汁、果實蜜、咖啡シロップ、紅茶シロップ及之ニ類スルモノ
- 二十五 煙 火類
- 二十六 薫物及線香類但シ價格四匁ニ付五錢ニ滿タザルモノヲ除ク
- 二十七 大理石及之ヲ原料トスル凝石並ニ陶磁器製タイル
 - イ 大理石及之ヲ原料トスル凝石但シ建築用ノモノニ限ル
 - ロ 硬質陶器製タイル、磁器製タイル及モザイツクタイル
 - ハロニ掲グルモノ以外ノ施釉タイル
- 丙 類
- 二十八 電球類但シ漁業用、嶺山安全燈用、色燈信號用、通信用、測定用、測定器用、抵抗用、耐爆安全用、電話用、航空機用、保體用及燈火管制用電球並ニ豆電球以外ノ集光型線條電球ヲ除ク
 - イ 普通電球但シ十六燭又ハ二十ワット以下ノモノヲ除ク
 - ロ 其ノ他ノ電球類
- 二十九 携行用ノ電燈、同ケース及電池

- 三十 魔法瓶、水筒類及同部分品
 - イ 魔法瓶(ケースヲ附シタルモノヲ含ム)及水筒類
 - ロ 魔法瓶ケース
- 三十一 計算機
- 三十二 タイプライター、同部分品及附屬品
 - イ タイプライター但シ電信用ノモノヲ除ク
 - ロ タイプライター部分品及附屬品
- 三十三 原稿臺、臺机、カバ、リボン、パット、活字、活字貯藏箱及複式金額タイプライター用印、書動輪
 - イ 輪轉寫機
 - ロ 輪轉寫機附屬品
- カバ、スクリーン及インキ布
- 三十四 金銀登錄機
- 三十五 タイムスタンプ及同附屬品
 - イ タイムスタンプ
 - ロ タイムスタンプ附屬品
- マスタートロツク、カード格納箱カバ、リボン
- 三十六 ミシン及ミシン用針
- 三十七 板硝子(波型硝子ヲ含ム)但シ普通板硝子ニシテ厚サ二・五耗以下ノモノ、強化硝子、合せ硝子、防弾硝子及有機硝子ヲ除ク
- 三十八 紙及セロファン但シ紙幣、兌換銀行券、國債證券、郵便切手、郵便葉書又ハ收入印紙用ノモノ及政府ニ於テ製造シ政府ノ用ニ供スルモノヲ除ク
 - イ 紙但シ價格手邊ノモノニ付テハ一封度六十錢其ノ他ノモノニ付テハ一封度三十錢(塵紙及障子紙ニ付テハ一封

- 度六十錢)ニ滿タザルモノヲ除ク
- ロ セロファン
- 三十九 齒磨但シ粉齒磨ヲ除ク
- 四十 綠茶但シ價格一貫ニ付十圓ニ滿タザルモノヲ除ク
- 四十一 調味料但シグルタミシ酸ソーダヲ主成分トスルモノニ限ル
- 第三種
- 一 餅 寸
- 二 飴、葡萄糖及麥芽糖
- 三 サツカリ

附 則 (昭和十六年十一月) 勅令第千三百一十一號

本令ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス、但シ昭和十六年十二月三十一日以前ノ輸出ニ係ル菓子、糖果又ハ果實蜜及之ニ類スルモノノ交付金ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

昭和十六年法律第八十八號附則七條ノ規定ニ依リ政府ニ申告セシトスル者ハ物品稅法施行規則第三條又ハ第四條ノ規定ニ準ジテ作成シタル申告書ニ昭和十六年十一月三十日以前ヨリ引續キ物品稅法第一條ノ改正規定ニ依リ物品稅ヲ課スルコト爲リタル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營ミ又ハ同第二種ノ物品若ハサツカリンヲ製造スルコトノ事實ヲ併セ記載シ之ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ

昭和十六年法律第八十八號附則第八條第一項ノ規定ニ依リ課スベキ物品稅ハ其ノ稅額百圓以下ナルトキハ昭和十七年一月三十

二 物資統制令

(昭和十六年十二月十五日) 勅令第千三百三十號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク國民經濟ノ運行又ハ國民生活ノ安定ヲ確保スル爲統制ヲ必要トスル物資(以下統制物資ト稱ス)ニ關スル統制及其ノ統制事務ニ付テノ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク協力命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 主務大臣ハ統制物資ノ生産(加工ヲ含ム以下同ジ)若ハ修理ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、價格、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ統制物資ノ讓渡ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ニ掲グル者以外ノ者ニシテ統制物資ヲ所有スルモノニ對シ亦前項ニ同ジ

第四條 主務大臣前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ權原ニ基キ

一日限、稅額百圓ヲ超ユルトキハ左ノ區分ニ依リ各月ニ等分シ其ノ月末日限之ヲ徵收ス

稅額百圓ヲ超ユルトキ	昭和十七年一月及二月
稅額千圓ヲ超ユルトキ	同年一月乃至三月
稅額貳千圓ヲ超ユルトキ	同年一月乃至四月
稅額五千圓ヲ超ユルトキ	同年一月乃至五月

昭和十六年法律第八十八號附則第八條第二項ノ規定ニ依ル申告ハ第二種ノ物品又ハ飴、葡萄糖、麥芽糖若ハサツカリンノ所在地所轄稅務署ニ之ヲ爲スベシ

當該統制物資ヲ占有スル者ニ對シ引渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ之ガ引渡ヲ命ズルコトヲ得

第五條 主務大臣統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方ヲシテ其ノ對價ヲ供託セシムベシ此ノ場合ニ於テハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方其ノ供託ヲ爲シタル時當該統制物資ノ讓渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第六條 統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ハ主務大臣ノ指定スル者ガ讓渡ヲ受ケベキ統制物資ノ種類、數量及價格、讓渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ讓渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第七條 權原ニ基キ統制物資ヲ占有スル者ハ前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ガ同條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡ヲ受ケタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ引渡ヲ受ケル統制物資ノ種類及數量、引渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ引渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許

可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ統制物資ノ引渡ヲ受ケルトキハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第五條後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者輸出業者、輸入業者、若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ統制物資ノ讓渡ニ關シ數量、時期、方法、相手方、配給區域其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 主務大臣ハ統制物資ノ讓受ニ關シ數量、時期、方法、相手方其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ統制物資ノ寄託、保管、保有、買入其ノ他ノ處分又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十二條 統制物資ニ關シ強制賣手続、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基テ使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該統制物資ニ關シテハ第二條乃至第四條、第六條、第七條又ハ第九條乃至前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十三條 第三條、第五條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依ル統

業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ帳簿ヲ備ヘ業務ニ關シ必要ナル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者同條又ハ第七條ノ認可ヲ受ケ統制物資ノ讓渡又ハ引渡ヲ求メントスル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ必要ナル報告ヲ求メタル場合ニ於テハ此等ノ者又ハ其ノ團體ハ之ヲ拒ミ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第二條乃至第四條、第六條、第七條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ノ規定ニ基テ處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十九條 主務大臣ハ個人又ハ法人其ノ他ノ團體ヲシテ本令ニ依ル統制物資ノ統制上必要ナル事務ニ協力セシムルコトヲ得
第二十條 主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ヨリ統制物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制事務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ統制物資、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於

制物資ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第三條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求メラレタル統制物資ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ當該統制物資ノ讓渡ヲ受クル者ハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第三條若ハ第六條又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル統制物資ノ讓渡又ハ引渡アリタル場合ニ於テハ當該統制物資ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ所有權移轉ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ

第三條若ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ求メラレタル統制物資ニ付擔保權ヲ有シタル者ハ第五條、第八條又ハ第二項ノ規定ニ依リ供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理、販賣其ノ他配給、保管、保有、移動又ハ使用若ハ消費ニ關シ計畫ノ設定又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 主務大臣ハ統制物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ統制物資ノ使用又ハ消費ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十六條 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者、保管ヲ

テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十一條 主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)又ハ當該主務大臣ノ所轄スル官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ本令ニ依ル統制物資ニ關スル統制ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二十三條 内地ニ於テ本令中第十一條及第十四條ノ規定ニ依ル保管ニ關スル命令又ハ處分及之ニ必要アル他ノ規定ノ施行ニ關スル主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ヲ其ノ業ニ關スル法令ニ依リ監督スル所管大臣アルトキハ當該所管大臣トス

第二十四條 第二十一條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)ニ關スル規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ
第二十五條 本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ第二十一條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
生活必需物資統制令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行

爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前生活必需物資統制令ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ト看做ス

(參照)

昭和十三年四月一日法律第五十五號國家總動員法抄錄

第五條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國、地方公共團體又ハ政府ノ指定スル者ノ行フ總動員業務ニ付協力セシムルコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得

第十三條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ關スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グルモノヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ハ當該施設ニ於

三 國家總動員法

昭和十三年四月五日
法律第五十五號
改正昭和十四年第六八號、一六年第十九號

第一條 本法ニ於テ國家總動員トハ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ總動員物資トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 兵器、艦艇、彈藥其ノ他ノ軍用物資
 - 二 國家總動員上必要ナル被服、食料、飲料及飼料
 - 三 國家總動員上必要ナル醫藥品、醫療機械器具其ノ他ノ衛生、生用物資及家畜衛生用物資
 - 四 國家總動員上必要ナル船舶、航空機、車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
 - 五 國家總動員上必要ナル通信用物資
 - 六 國家總動員上必要ナル土木建築用物資及照明用物資
 - 七 國家總動員上必要ナル燃料及電力
 - 八 前各號ニ掲グルモノノ生産修理、配給又ハ保存ニ要スル原料、材料、機械器具、裝置其ノ他ノ物資
 - 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル物資
- 第三條 本法ニ於テ總動員業務トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ
- 一 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出、輸入又ハ保管ニ

テ現ニ實施スル特許發明若ハ登録實用新案ヲ實施スルコトヲ得

政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務ニ必要ナル土地若ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條、第十四條若ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應募、引受若ハ買入、債務ノ引受若ハ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止若ハ法人ノ目的變更若ハ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

總動員業務ヲ行フ者ハ第十條、第十三條第三項又ハ第十四條ノ規定ニ依リ使用收用又ハ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スベシ

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

昭和十三年五月四日勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル條件ナリ

關スル業務

- 二 國家總動員上必要ナル運輸又ハ通信ニ關スル業務
 - 三 國家總動員上必要ナル金融ニ關スル業務
 - 四 國家總動員上必要ナル衛生、家畜衛生又ハ救護ニ關スル業務
 - 五 國家總動員上必要ナル教育訓練ニ關スル業務
 - 六 國家總動員上必要ナル試驗研究ニ關スル業務
 - 七 國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務
 - 八 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務
 - 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル業務
- 第四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨ゲズ
- 第五條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國地方公共團體又ハ政府ノ指定スル者ノ行フ總動員業務ニ付協力セシムル事ヲ得
- 第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇、就職、從業者ハ退職又ハ賃金、給料其ノ他從業條件ニ付必要ナル命令ヲナスコトヲ得
- 第七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働爭議ノ豫防若ハ解決ニ關シ必要ナル命令

ヲ爲シ、又作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止其ノ他ノ勞働
爭議ニ關スル行爲ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ
定ムル所ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、
使用、消費、所持及ビ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ
得

第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ
定ムル所ニ依リ、輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出
若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税ヲ課シ又ハ輸入税ヲ増課
若ハ減免スルコトヲ得

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ
定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用若ハ收用シ又ハ總動員業務
ヲ行フモノヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得

第十一條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、
社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ
爲シ會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他ノ計理ニ關シ必要ナル
命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ
指定スル者ニ對シ資金ノ運用債務ノ引受若ハ債務ノ保證ニ關
シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動
員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當該事業ニ屬スル設備ノ費用ニ
充ツル爲メ社債ノ募集ニ付商法第二百九十七條ノ規定ニ拘ラ
ズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ
制限若ハ禁止シ又ハ、總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新
設、擴張若ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ
勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡其ノ
他ノ處分、出資、使用又ハ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコ
トヲ得

第十六條ノ三 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ
勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ開始委託、共同經營、讓渡、廢
止若ハ休止又ハ法人ノ目的變更、合併若ハ解散ニ關シ必要ナ
ル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當
該事業ニ關スル統制協定ノ設定變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケ
シメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ
加盟者若ハ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制
協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主又ハ其ノ團體
ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル
團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ設立セラルル團體ハ法人トス
第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザ
ルトキハ政府ノ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ

第十三條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場事業場、
船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又
ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グルモノヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ勅令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ハ當該施設ニ於
テ現ニ實施スル特許發明若ハ登録實用新案ヲ實施スルコトヲ
得

第十四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ
使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ特許發明及登
録實用新案ヲ實施セシメ若ハ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關
スル權利ヲ使用セシムルコトヲ得

第十五條 前二條ノ規定ニヨリ政府ノ收用シタルモノ不用ニ歸
シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキ又
ハ第十三條第三項ノ規定ニ依リ總動員業務ヲ行フ者ノ收用シ
タルモノ收用シタル時ヨリ十年内ニ不用ニ歸シタルトキハ勅
令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ハ舊權利者又ハ其ノ一般承繼
人ハ優先ニ之ヲ買受タルコトヲ得

第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ團體成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
當該團體ノ構成員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ團體ノ構成
員タラシムルコトヲ得

政府ハ第一項ノ團體ニ對シ其ノ構成員ノ事業ニ關スル統制規
程ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設
定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ構成員ニ對シ團體ノ統制規程ニ依
ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム

第十八條ノ二 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ設備若ハ權利ノ讓渡
若ハ出資ヲ命ジ又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ
命ジタル場合ニ於テ讓渡者又ハ出資者ノ負擔スル債務ノ承繼
及其ノ擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條ノ三 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ設備若ハ權利ノ讓渡
若ハ出資、第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ讓渡若ハ法人ノ
合併又ハ第十八條第一項若ハ第三項ノ規定ニ依リ設立セラル
ル團體若ハ會社ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ課税標準ノ計
算ニ關スル特例ヲ設ケ又ハ租税ノ減免ヲ爲スコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料加
工賃修繕料其ノ他ノ財産の給付ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコ
トヲ得

爲スコトヲ得

爲スコトヲ得

第二十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アル時ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ新聞紙其ノ他ノ出版物ノ掲載ニ付制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル新聞紙其ノ他ノ出版物ニシテ國家總動員上支障アルモノノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ併セテ其ノ原版ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ハ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

第二十二條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校、養成所、工場、事業場其ノ他技能者ノ養成ニ適スル施設ノ管理者又ハ養成セラルベキ者ノ雇傭主ニ對シ國家總動員上必要ナル技能者ノ養成ニ關シ必要ナル勅令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、販賣又ハ輸入ヲ業トスル者ヲシテ當該物資又ハ其ノ原料若ハ材料ノ一定數量ヲ保有セシムルコトヲ得

第二十四條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ノ事業主又ハ戰時ニ際シ總動員業務ヲ實施セシムベキ者ヲシテ戰時ニ際シ實施セシムベキ總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシメ又ハ當該計畫ニ基キ必要ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者又ハ試驗研究機關ノ管理者ニ對シ試驗研究ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産又ハ修理ヲ業トスル者ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ補助金ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ政府ハ其ノ者ニ對シ總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ爲サシメ又ハ國家總動員上必要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條、第十四條若ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依リ輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應募、引受若ハ買入債務ノ引受若ハ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規定ニ依リ設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依リ事業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止若ハ法人ノ目的變更若ハ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ總動員業務ヲ行フ者ハ第十條、第十三條第三項又ハ第十四條ノ規定ニ依リ使用、收用又ハ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スベシ

第二十八條 政府ハ第二十二條、第二十三條又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付ス

第二十九條 前二條ノ規定ニ依ル補償ノ金額及第十五條ノ規定ニ依ル買受ノ價格ハ總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ定ム

總動員補償委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條 政府ハ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ利益ノ保證又ハ補助金ノ交付ヲ受クル事業ヲ監督シ之ガ爲必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十一條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十二條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ壹萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收スルコトヲ得、若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第七條ノ規定ニ依ル命令又ハ制限若ハ禁止ニ違反シタル者

二 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸入ヲ爲サザル者

三 第十條ノ規定ニ依ル總動員物資ノ使用又ハ收用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

四 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ハ工作物ノ管理使用若ハ收用又ハ從業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ參千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

二 第十六條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十六條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

五 第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケズシテ統制協定若ハ統制規程ヲ設定、變更若ハ廢止シ又ハ第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

六 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ保有ヲ爲サザル者

七 第二十六條ノ規定ニ違反シ生産、修理又ハ設備ヲ爲サザル者

第三十五條 前四條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰

金ヲ併科スルコトヲ得

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條ノ規定ニ依ル徵用ニ應ゼズ又ハ同條ノ規定ニ依ル業務ニ從事セザル者

二 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ計畫ノ設定又ハ演練ヲ爲サザル者

三 第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ試驗研究ヲ爲サザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ團體又ハ會社ノ設立ヲ爲サザル者

二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第三十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

四 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第三十九條 第二十條第一項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ發行人及編輯人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ發行者及著作者ヲ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又

ハ貳千圓以下ノ罰金ニ處ス

新聞紙ニ在リテハ編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者及掲載ノ記事ニ署名シタル者亦前項ニ同ジ

第四十條 第二十條第二項ノ規定ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 前二條ノ罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ

第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第四十四條 總動員業務ニ從事シタル者ソノ業務遂行ニ關シ知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ貳千圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者職務上知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四十五條 公務員又ハ其職ニ在リタル者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ貳千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條 前條ノ規定ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ本法ノ罰則ハ本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニモ亦之ヲ適用ス

第五十條 本法施行ニ關スル重要事項(軍機ニ關スルモノヲ除ク)ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲メ國家總動員審議會ヲ置ク國家總動員審議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十三年勅令第三百十五號ヲ以テ昭和十三年五月五日ヨリ施行)

軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前軍需工業動員法ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ之ヲ本法中ノ相當規定ニ基キテ爲シタルモノト看做ス

附 則 (昭和十六年法律第十九號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十六年勅令第二百五號ヲ以テ昭和十六年三月二十日ヨリ施行)

除スコトヲ得

第四十八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其

ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十一條ノ二乃至第三十四條第三十六條第二號、第三十七條、第三十八條又

ハ第四十三條前段ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑又ハ科料刑ヲ科

第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的ト

シテ設立セラレタル團體又ハ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依

リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員若ハ使用人又ハ其ノ職

ニ在リタル者其ノ業務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業

務上ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキ亦前項ニ同ジ

第四十六條 第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統

制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又ハ會社其ノ他本法ニ依

ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體、役人又ハ使用人

其ノ擔當スル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ

約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲

シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部

又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ヲ追徴ス

第四十七條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又

商工省令第七七號

許可認可等行政事務簡捷令ノ適用ノ特例ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十六年十二月二十九日

商工大臣 岸 信 介

三 許可認可等行政事務處理簡捷令ノ適用ノ特例

ニ關スル件

第一條 石炭配給調整規則第一條、第四條又ハ第七條ノ規定ニ基キ許可又ハ承認ヲ要スル事項ニ付テハ許可認可等行政事務處理簡捷令第二條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二條 宅地建物等價格統制令ニ基キ許可又ハ認可ヲ要スル事項ニ付テハ許可認可等行政事務簡捷令第二條第一項ノ期間ハ之ヲ六十日トス

附 則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 錄

三ノ一 價格等統制令ニ關スル

認可申請書様式 (九種)

一四〇

イ、協定價格認可申請書

昭和十四年勅令第七百三號價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依ル協定價格左記ノ通相定メ實施致度候條御認可相成度同令施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

組合事務所々所在地

組合名

代表者名

殿

岡山縣知事

一 組合又ハ之ニ準ズルモノノ名稱

二 地 區

三 構成員ノ資格

四 構成員ノ概數

五 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額(別紙ノ通)

六 實施年月日

添付書類

一 定款規約ノ寫

二 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定ムルヲ必要トスル事由書

三 協定價格算定基礎明細書

四 申請ヲ爲スベキ決議書又ハ同意書

備 考

ロ、協定價格認可申請

統制令第四條ノ二但書ノ御許可相成度同令施行規則第一條第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

一 支拂者及受領者ノ業務ノ種類及名稱又ハ氏名

二 修繕スル物品ノ名稱、品種及數量

三 修繕方法及修繕ノ程度ノ詳細

四 指定期日ニ於ケル額及其ノ支拂又ハ受領ノ方法

五 許可ヲ受ケントスル額及其ノ支拂又ハ受領ノ方法

六 許可ヲ受ケントスル額ノ算出基礎

七 許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

八 其ノ他參考トナルベキ事項

年 月 日

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

氏 名 又 ハ 名 稱

殿

商工大臣(何々知事)

(以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト)

註 修繕料ノ例外許可ハ注文者ノ特定セル場合ニ限ラズ修繕スル物品ノ名稱、品種及修繕ノ方法、程度ヲ基礎トシテ包括的ニ許可ヲ爲シ得ベキヲ以テ斯ル許可申請ニ當リテハ前記様式中ノ一ハ記載スルノ要ナシ

ニ、價格等統制令第四條ノ二但書ニ

依ル許可申請書

宿泊料ヲ左記ニ依リ定メ度キヲ以テ價格等統制令第四條ノ二但書ノ御許可相成度同令施行規則第一條第一項ノ規定ニ依リ此段

昭和十四年勅令第七百三號價格等統制令第四條ノ四ノ規定ニ依ル協定價格左記ノ通相定メ實施致度候條御認可相成度同令施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

昭和 年 月 日

組合事務所々所在地

組合名

代表者名

殿

岡山縣知事

一 組合又ハ之ニ準ズルモノノ名稱

二 地 區

三 構成員ノ資格

四 構成員ノ概數

五 統制令第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル額(別紙ノ通)

六 實施年月日

添付書類

一 定款規約ノ寫

二 統制令第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

三 申請ヲ爲スベキ決議書又ハ同意書

參考 本申請書ハ三通ヲ要ス

ハ、價格等統制令第四條ノ三但書ニ

依ル許可申請書

何々ヲ左記ニ依リ修繕(又ハ修繕ヲ依頼)致度キヲ以テ價格等

一四一

及申請候也

記

- 一 申請者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地
- 二 旅館ノ位置、環境概略
- 三 旅館ノ諸施設ノ概略
- 四 指定期日ニ於ケル額
- 五 許可ヲ受ケントスル額及其ノ算出基礎
- 六 許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細
- 七 其他參考トナルベキ事項

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

氏名又ハ名稱

商工大臣(又ハ何々知事)

殿

(以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト)

右申請書ニハ間取、和洋室ノ別及諸設備ノ概略ヲ記載シタル平面略圖ヲ添附シ尙其ノ他參考トナルベキ書類又ハ圖面アルトキハ之ヲ添附スルコト

ホ、價格等統制令施行規則第一條第一號ニ

依ル許可申請書

(イ) 價格統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請書(價格等

ノ支拂者ガ申請スル場合)

輸出セラルベキ何々ヲ左記ニ依リ購入致シ度候條價格等統制令第二條第一項但書(又ハ第七條第一項但書)ノ御許可相成度同令施行規則第一條第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

一四二

記

- 一 購入スル物ノ名稱及品種
- 二 購入數量
- 三 買受先
- 四 豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件
- 五 豫定販賣先
- 六 豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件
- 七 輸出セラルルコトヲ明カナラシムル事項

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

業務ノ種類

氏名又ハ名稱

商工大臣

殿

(以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト)

右者何々聯合會所屬組合タル何々組合ノ組合員タルコトヲ證明ス

何々組合理事長 何 某團

年 月 日

證明書

(ロ) 價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請書(價格

等ノ受領者ガ申請スル場合)

輸出セラルベキ何々ヲ左記ニ依リ販賣致シ度候條價格等統制令第二條第一項但書(又ハ第七條第一項但書)ノ御許可相成度同

令施行規則第一條第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

- 一 販賣スル物ノ名稱及品種
- 二 販賣數量
- 三 販賣先
- 四 豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件
- 五 輸出セラルルコトヲ明カナラシムル事項

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

業務ノ種類

氏名又ハ名稱

商工大臣

殿

(以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト)

右者何々聯合會所屬組合タル何々組合ノ組合員タルコトヲ證明ス

何々組合理事長 何 某團

年 月 日

證明書

(イ) 價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請書(價格

等ノ支拂者ガ申請スル場合)

輸出品何々ヲ左記ニ依リ販賣致シ度候條價格等統制令第二條第

一 購入スル輸入品ノ名稱及品種

二 購入數量

三 買受先

四 豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件

五 輸入價格ノ昂騰特ニ著シキ事情ヲ明カナラシムル事項

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

業務ノ種類

氏名又ハ名稱

商工大臣

殿

(以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト)

右者何々聯合會所屬組合タル何々組合ノ組合員タルコトヲ證明ス

何々組合理事長 何 某團

年 月 日

證明書

(ロ) 價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請書(價格

等ノ受領者ガ申請スル場合)

輸入品何々ヲ左記ニ依リ販賣致シ度候條價格等統制令第二條第

一四三

一項但書（又ハ第七條第一項但書）ノ御許可相成度同令施行規則第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

- 一 輸入品ノ名稱及品種
- 二 販賣數量
- 三 買受先
- 四 豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件
- 五 販賣先
- 六 豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件
- 七 輸入價格ノ昂騰特ニ著シキ事情ヲ明カナラシムル事項

商工大臣

（以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト）

證明書

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

氏名又ハ名稱

右者何々聯合會所屬組合タル何々組合ノ組合員タルコトヲ證明ス

年月日

何々組合理事長 何

某團

ト、價格等統制令施行規則第一條第一項第三號ニ依ル許可申請書

一四四

（イ）價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請書何々ヲ左記ニ依リ購入（又ハ販賣）致シ度候價格等統制令第二條第一項但書（又ハ第七條第一項但書）ノ御許可相成度同令施行規則第一項ノ規定ニ依リ此段及申請候也

- 一 購入（又ハ販賣）スル物ノ名稱及品種
- 二 購入（又ハ販賣）數量
- 三 買受先
- 四 豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件
- 五 豫定販賣先
- 六 豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件
- 七 已ムヲ得ザル事由ノ詳細

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

業務ノ種類

氏名又ハ名稱

岡山縣知事（商工大臣）

（以下必ズ七、八行ノ空欄ヲ設クルコト）

證明書

住所又ハ主タル事務所ノ所在地

氏名又ハ名稱

右者何々聯合會所屬組合タル何々組合ノ組合員タルコトヲ證明ス

年月日

何々組合理事長 何

某團

二 宅地建物等價格統制

令ニ關スル許可申請

書樣式（四種）

◎岡山縣告示第三百四十一號

宅地建物等價格統制令施行規則第二條、第七條、第八條及第十條ニ依ル申請手續左ノ通定ム

昭和十六年四月一日

岡山縣知事

橫 溝 光 暉

記

- 一 宅地建物等價格統制令施行規則（以下規則ト稱ス）第二條ニ依ル申請書ハ別記第一號樣式ニ依リ宅地又ハ建物ノ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ提出スベシ
- 二 規則第七條ニ依ル申請書ハ別記第二號樣式ニ依リ宅地又ハ建物ノ讓渡人ヨリ之ヲ提出スベシ
- 三 規則第八條ニ依ル申請書ハ別記第三號樣式ニ依リ土地分讓ヲ爲ス者ヨリ分讓廣告前豫メ之ヲ提出スベシ
- 四 規則第十條ニ依ル申請書ハ別記第四號樣式ニ依リ土地ノ讓渡人又ハ讓受人ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ提出スベシ
- 五 前各號ノ申請書及之ヲ添付スベキ書類ハ各三通作製シ當該土地又ハ建物所在地ヲ管轄スル市町村長ヲ經由シ之ヲ提

出スベシ

六 代理人申請ヲ爲ス場合ニ於テハ委任狀ヲ添付スベシ

（イ）宅地建物等價格統制令第二條但書ノ許可申請書

宅地（又ハ建物）ヲ左記ニ依リ（讓渡又ハ讓受）度候宅地建物等價格統制令第二條但書ノ御許可相成度同令施行規則第二條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

昭和 年 月 日

住所

氏名

岡山縣知事 氏 名 殿

記

- 一 申請人及讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所）
- 二 宅地（又ハ建物）所在地ノ地番
- 三 宅地ノ坪數及賃賃價格（又ハ建物ノ用途、構造、建坪、延坪及賃賃價格）
- 四 對價（又ハ建築費）
- 五 第三條第一項ニ規定スル額
- 六 讓渡（又ハ讓受）ノ價格
- 七 價格ノ受領（又ハ支拂）ノ方法、其ノ他讓渡（又ハ讓受）ニ關スル條件
- 八 許可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

添付書類

一四五

- 一 土地(又ハ建物)ノ登記簿謄本(未登記土地ニ在リテハ土地臺帳謄本)
 - 二 自己ノ所有權ヲ證スル判決其ノ他官廳若ハ公署ノ書面
 - 三 取得價格ヲ證明スル書面又ハ其ノ寫
 - 四 許可申請事由ガ規則第一條第一號、第二號ノ場合ニ在リテハ之ガ證據書類
 - 五 其ノ他參考トナルベキ書類
- (ロ) 宅地建物等價格統制令第四條第一項ニ依ル許可申請書宅地(又ハ建物)ヲ左記ニ依リ讓渡致度候條宅地建物等價格統制令第四條第一項ノ御認可相成度同令施行規則第七條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

昭和 年 月 日

住 所 氏 名

岡山縣知事 氏 名殿

- 一 申請人及讓受人ノ氏名及住所(法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所)
- 二 宅地(又ハ建物)所在地ノ地番
- 三 宅地ノ坪數及賃賃價格(又ハ建物ノ用途、構造、建坪、延坪及賃賃價格)
- 四 對價(又ハ建築費)
- 五 第三條第一項ニ規定スル額
- 六 讓渡 價 格

- 七 價格ノ受領ノ方法其ノ他讓渡ニ關スル條件
- 八 認可ヲ受ケントスル事由ノ詳細

添 付 書 類

- 一 土地(又ハ建物)ノ登記簿謄本(未登記ノ土地ニ在リテハ土地臺帳謄本)
 - 二 自己ノ所有權ヲ證スル判決其ノ他官廳若ハ公署ノ書面
 - 三 取得價格ヲ證明スル書面又ハ其ノ寫
 - 四 減額事由又ハ價格判定困難ナル事由ニ關スル證據書類
 - 五 其ノ他參考トナルベキ書類
- (ハ) 宅地建物等價格統制令第五條第一項ニ依ル認可申請書宅地ヲ(宅地以外ノ土地ヲ宅地ト爲ス目的ヲ以テ)左記ニ依リ分讓致度候條宅地建物等價格統制令第五條第一項ノ御認可相成度同令施行規則第八條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

昭和 年 月 日

住 所 氏 名

岡山縣知事 氏 名殿

- 一 申請人ノ氏名職業及住所(法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者氏名及住所)
- 二 分讓地所有者ノ氏名及住所(法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所)
- 三 分讓地ニ關スル分讓地所有者ト分讓者トノ間ニ於ケル委託其ノ他ノ關係

- 四 分讓地所在地ノ地番、分讓地ノ地目、坪數及賃賃價格
- 五 分讓地ノ取得原因及取得ノ日
- 六 分讓地ノ取得價格及申請ノ際ノ評價價格

一、取得 價 格

費 目	數 量	單 價	金 額
土地價格			
小作權價格			
作離補償金			
入會權補償金			
立毛補償金			
地上物件補償金			

二、申請ノ際ノ評價額

費 目	數 量	單 價	金 額
原地價格			
取得價格			
受益者負擔金			
附帶價格			
調査費			

取 得 費	稅 金 其 他	不 動 產 取 得 稅	登 錄 稅	登 記 附 帶 費

七 分讓地ニ加ヘタル諸施設及其ノ費用

- 一、分讓地ニ加ヘタル諸施設
- 二、分讓地ニ加ヘタル諸施設ノ費用

費 目	數 量	單 價	金 額
一、測量費			
二、設計監督費			
三、土木工事費			
土 木 費			
土留擁壁費			
道 路 費			
下 水 道 費			
防 空 壕 費			
附帶工事費			

雜工事費				
四、道路敷地補償金				
合計				

八 分譲區別別ノ分譲價格

區劃別	坪數	單價	分譲價格
第何號地			
合計			

九 價格ノ受領ノ方法其ノ他賣却條件

十分 讓 期 間

十二 分讓廣告ノ方法

十三 其ノ他分讓價格ヲ算出スルニ參考ト爲ルベキ事項

費目	數量	單價	金額	備 考
一、申請ノ際ノ評價額				第六項(一)ノ額
二、分讓地ニ加ヘタル諸施設ノ費用				第七項(二)ノ額
三、分讓諸掛費				
公 課 金				
廣 告 費				

- 一 申請人讓渡又ハ讓受ノ相手方ノ氏名、職業及住所(法人ニ在リテハ其ノ名稱、業務ノ種類、主タル事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名及住所)
 - 二 讓渡セラル、土地所在地ノ地番並ニ讓渡セラル、土地ノ地目、坪數及買賃價格
 - 三 讓渡セラル、土地ノ取得原因取得ノ日
 - 四 讓渡セラル、土地ノ取得價格及申請ノ際ノ評價價格
 - 五 讓渡(又ハ讓受)ノ價格
 - 六 價格ノ支拂又ハ受領ノ方法其ノ他讓渡又ハ讓受ニ關スル條件
 - 七 讓渡セラル、土地ノ使用目的
 - 八 其ノ他讓渡價格ヲ算出スルニ參考トナルベキ事項
- 添付書類
- 一 土地ノ登記簿謄本(未登記ノ土地ニ在リテハ土地台帳謄本)
 - 二 自己ノ所有權ヲ證スル判決其ノ他官廳若ハ公署ノ書面
 - 三 取得價格ヲ證明スル書面又ハ其ノ寫
 - 四 附近類似地ノ賣買價格其ノ他改良工事ニ關スル證據書類
 - 五 其ノ他參考トナルベキ書類

三 奢侈品等製造販賣制限

規則ニ關スル許可申請

書樣式(二種)

賣却ニ要スル費用				
四、利 潤				
普通 利子				
營業報酬及損失補償				
計				

添付書類

- 一 土地ノ登記簿謄本(未登記ノ土地ニ在リテハ土地台帳謄本)
- 二 自己ノ所有權ヲ證スル判決其他官廳若ハ公署ノ書面
- 三 取得價格ヲ證明スル書面又ハ其ノ寫
- 四 分讓區別別分讓價格ヲ記載スル分讓計畫圖書
- 五 改良工事費及諸掛費ニ關スル證據書類又ハ寫
- 六 其ノ他參考トナルベキ書類
- (三) 宅地建物等價格統制令第六條第一項ニ依ル認可申請書宅地以外ノ土地(又ハ宅地ニ變更セル土地)ヲ左記ニ依リ讓渡(又ハ讓受)度候補宅地建物等價格統制令第六條第一項ノ認可相成度同令施行規則第十條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

岡山縣知事 氏 名殿

住 所 氏 名

奢侈品販賣許可申請書

(昭和十六年十二月二十五日現在)

奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項但書ノ規定ニ依リ左記物品ノ販賣許可相成度此段及申請候也

年 月 日

主タル事務所所在地(又ハ代行者住所)

業 務 ノ 種 類

團體名(又ハ何某外何名)

代表者 氏 名

岡山縣知事 橫溝光輝殿

記

該當省令	品 名	數 量	備 考

別表内譯書

申請者住所	氏 名	該當省令	品 名	數 量
計				

(備考)

- 一 販賣許可申請書ニハ右ノ通別表トシテ代行ノ内譯書ヲ添附スルモノトス
- 二 各代行者ハ申請ノ委任狀ヲ檢シ代行者ニ於テ保存スルモノトス

昭和十七年一月十三日

岡山縣知事 橫 溝 光 輝

四 企業許可令施行細則

- 第一條 企業許可令施行規則（以下規則ト稱ス）ニ依リ提出スベキ書類ハ左ノ様式ニ依ルベシ
- 一 規則第五條ニ依ル事業開始ノ許可申請書 第一號様式
 - 二 規則第七條ニ依ル事業委託ノ許可申請書 第二號様式
 - 三 規則第八條ニ依ル相續ノ報告書 第三號様式
 - 四 規則第九條ニ依ル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ許可申請書 第四號様式
 - 五 規則第十一條ニ依ル指定事業ノ指定アリタル際現ニ其ノ事業ヲ行フ者ノ報告書 第五號様式
 - 六 規則第十二條ニ依ル事業廢止ノ報告書 第六號様式
 - 七 規則第十三條ニ依ル委託終了ノ報告書 第七號様式
- 第二條 規則ニ依リ行政官廳ニ提出スベキ書類ハ事業場所在地ノ市町村長ヲ經由スベシ、但シ別段ノ定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三條 前條ニ依リ許可申請書ノ提出アリタルトキハ市町村長ハ意見ヲ附シ遲滯ナク之ヲ知事ニ進達スベシ
- 第四條 規則第十一條ニ依リ報告書ノ提出アリタルトキハ市町村長ハ審査ノ上遲滯ナク之ヲ知事ニ進達スベシ
- 第五條 規則ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ書類ハ正副四通、知

事ヲ提出スベキ書類ハ正副三通トス
前項ニ依ル書類ハ其ノ副本一通ヲ市町村ニ保存スベシ
第六條 臨時資金調整法ニ依ル許可又ハ規則ニ依リ統制會ノ承認アリタル場合ニ於テハ許可又ハ承認申請書ノ副本ニ許可又ハ承認書ノ寫ヲ添ヘ知事ニ提出スベシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五 企業許可令ニ關スル

申請書様式（七種）

第一號様式

企業許可令第三條ニ依ル事業開始許可申請書

一 開始セントスル事業	
二 事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域	縣 市 郡 村 町 番地
三 取扱物資ノ種類	
四 事業開始ノ豫定期期	

右企業許可令施行規則第五條ノ規定ニ依リ御許可相成度添附書類相添及申請候也

年 月 日

住所 縣 市 郡 村 町 番地

申請者 氏 名

（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名）

備考

一 一般的注意

- 1 申請書ハ企業許可令施行規則別表ニ定ムル各事業ニ付各指定サレタル行政官廳宛提出スルコト、同一行政官廳宛ノモノハ工場、事業場、店舗等事業ヲ行フ場所毎ニ一括記載シテ提出スルモノナルコト、但シ行商等事業ヲ行フ場所ノ一定セザル業態ニ在リテハ事業ヲ行フ區域毎ニ提出スルコト
 - 2 申請書ハ右施行規則別表記載ノ所管行政官廳別ニ提出スルコト
 - 3 申請書ハ總テ市町村長ヲ經由シテ提出スルコト
 - 4 申請書ハ主務大臣宛ノモノハ正副四通、知事宛ノモノハ正副三通提出スルコト
- 二 記載 注意
- 1 一ノ「開始セントスル」事業ハ企業許可令施行規則別表ノ指定ニ從ヒ開始セントスル指定事業ヲ列記スルコト
 - 2 二ノ「事業ヲ行フ場所」トハ當該事業ヲ行フ工場、事業場、店舗、倉庫、事務所等總テ事業ヲ行フ場所ヲ總稱スルモノナルコト

行商ニ在リテハ行商區域ヲ移動的露店商ニ在リテハ其ノ移動區域ヲ併セ記入スルコト

3 三ノ「取扱物資ノ種類」ハ生産、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ヲ爲ス者ニ限リ記載ヲ要シ、其ノ事業ノ内容トシテ取扱フ物資ノ種類、例ヘバ製造業ニ在リテハ製品ノ種類（醫藥品ニ在リテハ藥局方收載藥品、新藥新製劑ノ各別ニ品目毎）販賣業ニ在リテハ取扱商品ノ種類（醫藥品ニ在リテハ藥局方收載藥品、新藥新製劑、賣藥ノ別）ヲ記載スルコト

4 醫藥品製造業ニ在リテハ藥劑師又ハ製藥者ノ免許アルモノハ其ノ別、醫藥品卸賣業又醫藥品小賣業ニアリテハ藥劑師、藥種商、賣藥營業者又ハ賣藥請賣營業者ノ別ヲ申請者ノ氏名ニ肩書スルコト

三 添 附 書 類

- 申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スルコト
- 1 團體ニ在リテハ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準ズルモノ、財産目錄、貸借對照表、損益計算書、又ハ事業計畫書、個人ニ在リテハ履歴書
 - 2 當該事業以外ノ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書面
 - 3 物資ノ生産、加工、修理、保管又ハ運送ノ事業ニ在リテハ其ノ事業ニ關スル主要設備及其ノ能力（醫藥品ニ在リテハ品目毎一ヶ月ノ最高製造能力）ヲ記載シタル書面
 - 4 事業ヲ開始セントスル事由書及身分證明書

第二號樣式

企業許可令第四條ニ依ル事業委託許可申請書

一 委託セントスル事業ノ種類	
二 委託ノ豫定期間及期間	自 年 月 日 至 年 月 日 月 間
三 委託セントスル事由	
四 受託者ノ氏名名稱及住所	氏名 (法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名) 住所 縣 市 郡 村 町 番地

右企業許可令施行規則第七條ノ規定ニ依リ御許可相成度添附書類相添及申請候也

年 月 日

住所 縣 市 郡 村 町 番地

委託者 氏名 (法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

住所 縣 市 郡 村 町 番地

受託者 氏名 (法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

住所 縣 市 郡 村 町 番地

備考

一 一般的注意

1 申請書ハ委託者及受託者ノ連署ヲ要シ委託者ノ事業ヲ行

フ場所又ハ區域ヲ管轄スル行政官廳ニ提出スルコト

2 其ノ他ニ付テハ第一號樣式ノ一般的注意ニ準ジテ取扱フコト

二 記載 注意

- 一ハ委託セントスル事業ノ種類及其ノ委託ノ範圍ヲ記載スルコト
- 二ハ「召集解除ノ日迄」ノ如ク終期ノ不確定ナル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載スルコト
- 三ハ「應召」「病氣」等ノ如ク委託セントスル事由ヲ具體的ニ記載スルコト

三 添附 書類

- 申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附スルコト
- 1 受託者ノ行フ事業ノ概要ヲ記載シタル書面
- 2 團體タル受託者ニ在リテハ其ノ定款、寄附行爲其ノ他之ニ準ズルモノ、財産目錄、貸借對照表及損益計算書、個人タル受託者ニ在リテハ其ノ履歴書

第三號樣式

企業許可令第五條ニ依ル相續報告書

一 相續セル事業	
二 被相續人ノ氏名	
三 相續人ノ氏名及生年月日	氏 年 月 日 生 名
四 相續發生ノ事由	
五 相續開始ノ時期	

右企業許可令施行規則第八條ノ規定ニ依リ添附書類相添及報告候也

年 月 日

住所 縣 市 郡 村 町 番地

報告者 氏名

備考

一 一般的注意

- 1 報告書ハ相續人ガ自己ノ相續シタル事實ヲ知リタル日ヨリ六十日以内ニ提出スベキコト
- 2 其ノ他ニ付テハ第一號樣式ノ一般的注意ニ準ジテ取扱フコト

二 記載 注意

- 1 四ハ「戸主ノ死亡」「戸主ノ隱居」「母ノ死亡」等ノ如ク記載スルコト
- 2 五ノ相續開始ノ時期トハ相續人ガ相續ノ事實ヲ知リタルト否トヲ問ハズ相續ノ原因タル事實ノ發生セル時期例ヘバ被相續人ノ死亡又ハ隱居ノ時期ヲ云フモノナルコト

三 添附 書類

届出書ニハ相續アリタルコトヲ證スル書面(戶籍抄本又ハ除籍抄本)ヲ添附スルコト

第四號樣式

企業許可令第六條ニ依ル設備ノ新設(擴張又ハ改良)許可申請書

一 新設(擴張又ハ改良)ヲ爲サントスル設備ノ屬スル事業	
二 新設(擴張又ハ改良)ヲ爲サントスル設備及其ノ能力	
三 新設(擴張又ハ改良)ヲ爲サントスル設備ニ依リ生産、加工、修理、又ハ保管ヲ爲スベキ物資ノ種類	
四 工事着手ノ豫定期間	
五 工事完成ノ豫定期間	
六 新設(擴張又ハ改良)ヲ爲サントスル事由	

右企業許可令施行規則第九條ノ規定ニ依リ設備ノ新設(擴張又ハ改良)ノ許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住所 縣 市 郡 村 町 番地

申請者 氏名 (法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

備考

一 一般的注意

- 1 同一ノ事業ヲ行フ場所ニ於ケル設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ付同時ニ二以上ノ許可ヲ受ケントスルトキハ申請書ハ一括シテ提出スルコト
- 2 其ノ他ニ付テハ第一號樣式ノ一般的注意ニ準ジテ取扱フコト

二 記載注意

- 1 一及二ハ主務大臣ノ告示ニ記載サレタル指定ニ従フコト
- 2 二ハ新設、擴張又ハ改良セントスル設備ヲ列記スルコト
能力ハ新設、擴張又ハ改良ニ由リ増加スベキ能力ヲ記載スルコト
- 3 三ハ許可ヲ申請セル設備ニ依リ生産、加工、修理又ハ保管ヲ爲スベキ物品ノ種類ヲ列記スルコト

第五號様式
企業許可令第七條ニ依ル事業報告書

一 現ニ行フ事業	
二 事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域	
三 取扱物資ノ種類	
四 當該事業ヲ開始シタル時期	

右企業許可令施行規則第十一條ノ規定ニ依リ及報告候也
年 月 日

住所 縣 市郡 村町 番地
報告者 氏 名
(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

備考

- 1 報告書ハ閣令ニ依リ事業ノ指定アリタル日ヨリ六十日以内

内ニ提出スルコト

- 2 委託關係ノ場合ハ委託者及受託者連署ノ上提出スルコト
- 3 其ノ他ニ付テハ第一號様式ノ一般の注意ニ準ジテ取扱フコト

二 記載注意

- 1 一ノ「現ニ行フ事業」ハ企業許可令施行規則別表ノ指定ニ従ヒ現ニ行フ指定事業ヲ列記スルコト
- 2 二ノ「事業ヲ行フ場所」トハ當該事業ヲ行フ工場、事業場、店舗、倉庫、事務所等總テ事業ヲ行フ場所ヲ總稱スルモノナルコト
- 3 三ノ「取扱物資ノ種類」ハ其ノ生産、加工、修理、販賣又ハ保管ノ事業ヲ爲ス者ニ限リ記載ヲ要シ、其ノ事業ノ内容トシテ取扱物資ノ種類、例ヘバ製造業ニ在リテハ製品ノ種類(醫藥品ニ在リテハ藥局方收載藥品、新藥新製劑ノ各別ニ品目毎)販賣業ニ在リテハ取扱商品ノ種類(醫藥品ニ在リテハ藥局方收載藥品、新藥新製劑、賣藥ノ別)ヲ記載スルコト
- 4 指定事業ニ屬スル設備ニシテ主務大臣ノ指定アリタルモノニ付テハ當該設備ノ數ヲ三ノ「取扱物資ノ種類」ノ欄ニ括弧書スルコト
- 5 醫藥品製造業ニ在リテハ藥劑師又ハ製藥者ノ免許アル者ハ其ノ別、醫藥品販賣業及醫藥品小賣業ニ在リテハ藥劑師、

藥種商、賣藥營業者又ハ賣藥請賣營業者ノ別ヲ報告者ノ氏名ニ同書スルコト
三 添附書・類
石炭販賣業者又ハ煉炭(豆炭ヲ含ム)販賣業者ハ當該商業組合又ハ指定仲買團體及指定小賣團體ノ組合員又ハ株主タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコト
第六號様式
企業許可令第八條ニ依ル事業廢止報告書

一 廢止セル事業	
二 事業ヲ行フ場所ノ位置又ハ事業ヲ行フ區域	
三 事業廢止ノ事由	
四 事業廢止ノ時期	

右企業許可令第三條ノ事業ヲ廢止致候條同施行規則第十二條ノ規定ニ依リ此段及報告候也
年 月 日

住所 縣 市郡 村町 番地
報告者 氏 名
(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

第七號様式

企業許可令第八條ニ依ル委託終了報告書

一 委託セル事業	
二 委託開始ノ時期	年 月 日
三 委託者ノ氏名、名稱及住所	

右委託終了致候條企業許可令施行規則第十三條ノ規定ニ依リ及報告候也
年 月 日

住所 縣 市郡 村町 番地
委託者 氏 名
(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)

物價統制協力會議叢書索引

物價統制協力會議ニ就テ	一五、五	第一輯
價格等統制令	一五、一〇	第二輯
奢侈品等製造販賣制限規則ニ依ル禁制品解説	一五、一一	第三輯
消費家庭燃料ノ智識	一五、一二、一五	第四輯
官民合同物價政策懇談會記錄	一五、一二、一一	第五輯
經濟新體制講演錄	一五、一二、二〇	第六輯
生活必需品價格一覽表	一六、一	第七輯
企業合同卜適限經營講演錄	一六、四、二七	第八輯
生活必需品ノ公定價格拔萃	一六、六	第九輯
生活必需品價格一覽表	一六、九	第一〇輯
價格等統制令	一六、九	第一一輯
切符制物資一覽表	一六、一〇	第一二輯
經濟統制機關所管事務一覽表	一六、一〇	第一三輯
經濟關係法令要目蒐錄	一六、二二	第一四輯
價格等諸法令蒐錄	一七、一	第一五輯

昭和十七年二月四日代贈寫印刷
昭和十七年二月七日發行

【非賣品】

岡山縣物價統制協力會議
 編輯人 秋山博
 發行人 岡山市瀧本町一〇ノ二
 印刷人 假谷信夫
 岡山市上伊福一〇九ノ六
 印刷所 合同新聞社印刷所
 岡山縣物價統制協力會議
 發行所 岡山縣商工課內
 (電話六七七一ノ六七番)

(四百五十部限定刊)
領布價格金壹圓

413
530

3/3/3M22



